

美のさと・美郷・協働プロジェクト

美



 MISATO

町

島根県
美郷町第1次長期総合計画

美のさと・美郷・協働プロジェクト

美郷町第1次長期総合計画



平成18年9月

島根県美郷町



はじめに

現在国内では、本格的に地方分権の実行段階を迎えています。

このため、それぞれの町が、主体的に地域の活力を生かした魅力ある町づくり・地域づくりを進めることが求められています。

平成16年10月に、旧邑智町と旧大和村が合併して、新しい町「美郷町」が誕生しましたが、この美郷町を取り巻く社会情勢は、平成17年10月の国勢調査の結果にも表れており、少子・高齢社会、人口減少社会の到来、さらに財政の硬直化、本格的なIT社会の到来など大きな時代の転換期を迎えています。

こうした情勢の中、町の将来に確かな希望を持ち、町民の皆様一人ひとりが将来に「夢と希望」を持つ“自立と協働の地域社会”を進めることができるよう、ここに「美郷町第1次長期総合計画」を策定いたしました。

この総合計画は、新町建設計画から受け継いだ「水と緑 いきいき輝く 夢あふれる協働のまち」の基本理念のもと、自ら考え行動すること、住民と行政が協働すること、地域の個性を生かし連携することの、3つの基本方針を設定しました。

この基本理念・基本方針のもと、行政経営の考え方を「住民とともに歩む行政づくり」とし、住民の皆様信頼される行政づくりを進めていきます。

また、この総合計画の中には、「町づくり委員会」でご検討いただいた重点プロジェクトや、各連合自治会単位で作成していただいた地域コミュニティ計画を盛り込んだほか、初めての試みとして、各施策に「指標」や「協働の役割分担」を設定いたしました。

以上のことから、住民と行政による協働のまちづくりが、将来の美郷町を持続的に発展させていくことができるよう願いを込めて、本計画のキャッチフレーズを「美のさと・美郷・協働プロジェクト」としました。

住民の皆様が住み続けたいと思えるような、来訪者の方が住んでみたいと思えるような、そんな美郷町をともにつくっていきましょう。

おわりに、本計画の策定にあたって、ご指導とご協力をいただきました住民の皆様をはじめ、関係機関に心から感謝申し上げます。

平成18年9月

美郷町長 沖野 健

Contents

目次

第1章

序論

1 計画策定の意義	3
2 計画の構成	4
(1) 基本構想の概要と期間	4
(2) 基本計画の概要と期間	4
(3) 実施計画の概要と期間	4
3 計画策定のポイント	6
4 美郷町をとりまく社会動向	7
(1) 人口減少・少子高齢化	7
(2) 地方分権時代における主体的なまちづくりの必要性	8
(3) グローバル経済のなかの地域産業の構造変化	9
(4) 環境に配慮した生活空間の創造	10
(5) 本格的な ICT 社会の到来	11
(6) ユニバーサル社会の実現	12
5 美郷町の地域特性	13
(1) 地勢と歴史	13
(2) 人口	15
6 美郷町の地域特性とまちづくりの課題	17
(1) 地域特性	17
(2) まちづくりの課題	18
(3) 住民の意識	20

第2章

基本構想

1 美郷町のめざすまちづくり	25
(1) まちづくりの理念	25
(2) 行政経営の考え方	28
(3) めざすべき将来像	30
2 基本構想の構成	34
(1) 基本構想の構成	34
(2) 本計画（基本構想・基本計画）の特徴	35
基本構想 体系図.....	36
3 重点施策の方針	38
(1) 重点施策の考え方	38
(2) 重点施策の基本方針	40
4 分野別施策の方針	55
5 将来人口	66

第3章

(1) 将来人口推計	66
(2) 就業人口の見通し	67
(3) 将来人口指標の設定	67
6 地域整備構想	68
(1) 地域整備の考え方	68
(2) 地域整備の方向性	69
(3) 土地利用のイメージ図	70

基本計画

1 重点施策の展開	74
(1) 重点施策協働プロジェクトの基本計画体系図 ...	74
(2) 協働プロジェクトの展開	76
2 基本施策の展開	84
重点4分野の考え方	84
生活基盤.....	86
産業・雇用.....	109
教育・交流.....	129
健康・福祉.....	144
住民自治.....	163
3 地域コミュニティ計画	171
(1) 地域コミュニティ計画の位置づけ	171
(2) 地域コミュニティ計画検討の経緯	171
(3) 地域コミュニティ計画(13地域)	172

資料編

美郷町まちづくりアンケート単純集計結果.....	205
「美郷町のまちづくりのための中学生アンケート」	211
中学校別クロス集計表	
美郷町町づくり委員会委員.....	222
美郷町総合計画審議会委員.....	223
美郷町総合計画策定委員会委員.....	224
美郷町第1次長期総合計画策定経過.....	225
美郷町第1次長期総合計画案について(答申)	226

第1章

序論

1	計画策定の意義	3
2	計画の構成	4
3	計画策定のポイント	6
4	美郷町をとりまく社会動向	7
5	美郷町の地域特性	13
6	美郷町の地域特性とまちづくりの課題	17

第1章 序論

1 計画策定の意義

美郷町は、平成16年10月1日に、邑智町・大和村の1町1村の合併により誕生しました。新しく誕生した美郷町では、合併前に邑智町・大和村とも取り組んできた個性豊かなまちづくりの成果を引き継ぐとともに、広範となった町域の貴重な資源を連携し、町の均衡ある発展や一体感を醸成していく取り組みが必要となっています。

近年の社会経済の潮流は、国・地方の財政の硬直化、本格的なIT社会の到来、経済のグローバル化の急速な進展、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来など、大きな時代の転換期を迎えています。一方で地域の活力と存在価値を高めながら、住民とともに地域の振興やコミュニティの課題解決に取り組み、協働のまちづくりを推進することが求められています。

本計画は、こうした時代の潮流に対応するとともに、地域資源と人材を活かし、住民みんなの知恵と行動によるまちづくりを進めるための指針として策定するものです。



2 計画の構成

本計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」によって構成します。

1 基本構想の概要と期間

基本構想の概要

本町のめざす将来像を明らかにするとともに、その達成のためのまちづくりの理念や方針、政策の大綱について示したものです。

基本構想の期間

基本構想の期間は、10年とし、平成18(2006)年度～平成27(2015)年度とします。

2 基本計画の概要と期間

基本計画の概要

基本構想で定めた本町の将来像を達成するための具体的な施策として、重点施策、分野別施策の体系を示すものです。また、それぞれの取り組みについて、協働の役割分担、達成目標を明らかにします。

基本計画の期間

基本計画は、5年ごとに改定を行うものとします。前期基本計画は、平成18(2006)年度～平成22(2010)年度とします。

3 実施計画の概要と期間

実施計画の概要

基本計画で定めた施策の具体的な展開を図るため、毎年の行財政運営を踏まえ、事業の実施計画を示します。

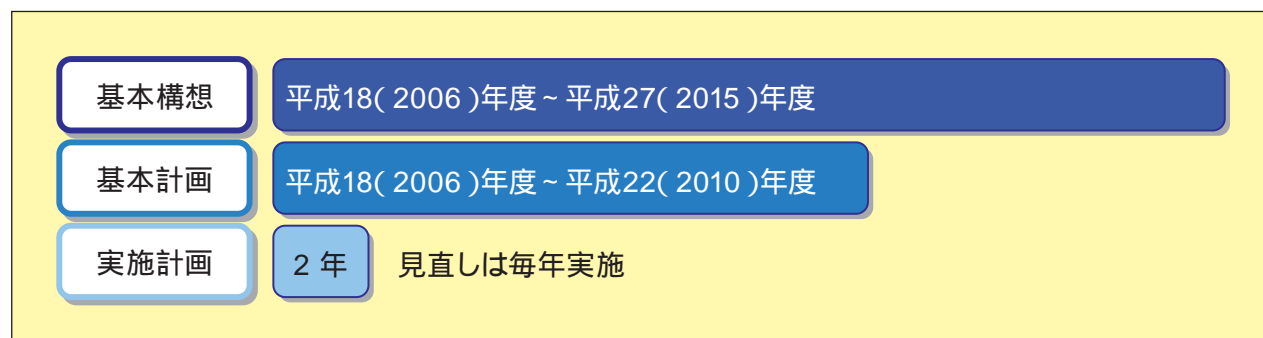
実施計画の期間

実施計画の期間は2年とし、見直しは毎年度実施します。

【重点施策とは？】

本計画の実効性を高め、地域経営の実践と協働のまちづくりをめざして導入する施策の枠組み。詳しくは第2章基本構想「2 基本構想の構成」を参照。

図 1-1 総合計画の構成と期間



3 計画策定のポイント

美郷町総合計画は、『みんなの知恵を集めた計画』です。
～住民・行政の協働による計画づくり～

本計画は、新しいまちづくりの目標とその達成のための手法を戦略的に明らかにするものです。目標づくりにあたっては、コミュニティブロック会議、町づくり委員会の開催、合併時の住民アンケート調査の分析、職員意識調査の実施、行政評価ワークショップの実施など、住民と行政の協働機会を大切にして策定しました。

美郷町総合計画は、『みんなが主役になるための計画』です。
～地域の自立計画づくり～

本計画は、地域の自立を実現するための指針となるものです。コミュニティブロック会議では、住民みんなが主役になることをめざし、「行政への要望型」の提言ではなく、「地域で、仲間で自主活動をはじめるための自立型の活動計画」を検討しました。

美郷町総合計画は、『進化する計画』です。
～指標設定による目標の共有と柔軟な運用～

本計画は、実施段階での目標達成状況や、効果の検証などを常に行うことで、効率的・効果的な計画となるよう工夫しました。

主な取り組みには、その指標となる現状値と目標値を設定しています。

これにより、住民と行政が目標を共有しながら、必要に応じて見直すことのできる柔軟な計画管理が可能になります。いわば、成長し、進化する計画といえます。

【指標とは？】

計画で明らかにした取り組みの目的に応じて、どの程度成果があがったかを測る「めやす」となる基準として機能するものです。

4

美郷町をとりまく社会動向

1 人口減少・少子高齢化

人口減少社会

わが国は、すでに人口減少社会に転じようとしています。これまでのいわゆる右肩上がりの社会を支えてきた人口の持続的な増加が終わり、長い人口減少過程に入ろうとしています。

高齢化

わが国では、世界の先進国のなかでも類をみない速度で、高齢化が進行しています。平成 26 年におけるわが国の高齢化率は、25%を超え、超高齢社会に移行することが見込まれています。

少子化

未婚化・晩婚化傾向が進むなか、急速な少子化が進行しています。平成 16 年度の合計特殊出生率は、1.288 となり、過去最低を更新しました。

この数値は、先進国のなかでももっとも低い水準であり、わが国の少子化の進行が極めて深刻な状況となっていることを示しているといえます。

国の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所の推計）

年次	人口（千人）	割合（％）		
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成12年度	126,926	14.6%	68.1%	17.4%
平成17年度	127,708	13.9%	66.2%	19.9%
平成22年度	127,473	13.4%	64.1%	22.5%
平成27年度	126,266	12.8%	61.2%	26.0%

合計特殊出生率

合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした時の子ども数に相当します。

2 地方分権時代における主体的なまちづくりの必要性

自治の確立

著しい社会環境の変化に対応できる地域社会を創るためには、地域に住んでいる人自らが、創意工夫をもってまちづくりに取り組んでいくことが重要となっています。

地方分権

住民の生活に関わる福祉・文化・教育・産業・生活環境などさまざまな分野における行財政の権限や責任を、国から地方公共団体に移譲させていく地方分権が進みつつあります。地方公共団体が引き続き発展していくためには、地方分権時代の大きな潮流をふまえ、行政機構の革新や地域社会をリードする人材の育成に努め、自主的なまちづくりに向けた分権型行財政システムを確立していくことが必要となっています。

地域間連携

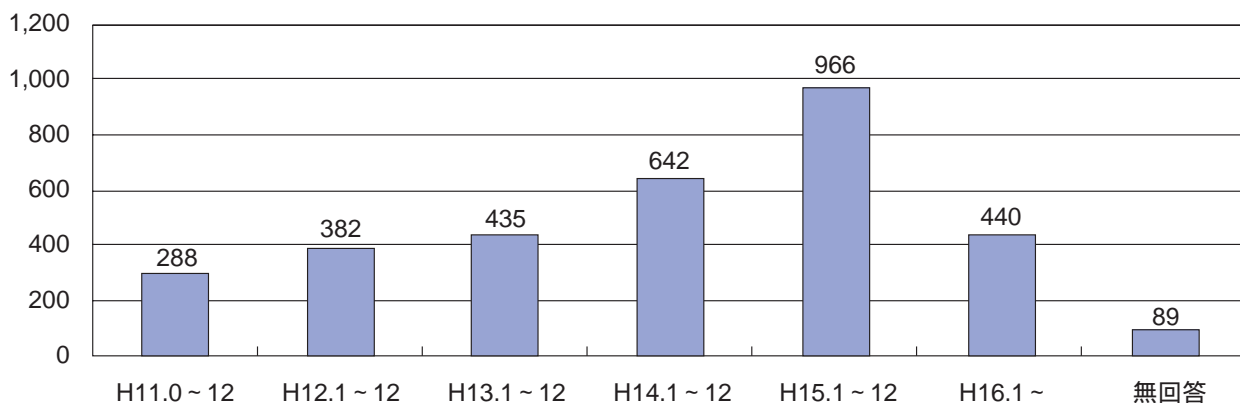
本格的な地方分権の進展、経済活動のいっそうの広域化などを踏まえ、高度医療機能、研究開発機能、高速交通機能など、都市機能の集積状況に応じ、近隣地域との機能分担や連携を積極的に推進することで、より効率的で効果的な広域行政に取り組むことが必要です。

多参画社会の形成

今後のまちづくりには、地域住民のほかボランティア団体・NPO など組織化された団体の参加と連携が重要になっています。

わが国の NPO 法人の認定状況（内閣府調べ 単位：団体）

（法人数）



3 グローバル経済のなかの地域産業の構造変化

経済のグローバル化

世界における経済的な結びつきが強まる中、わが国の産業構造も、市場ルールの国際化の影響を受け、大きく再編していくことが求められています。特に、製造業においては、海外生産拠点のシフトによる国内産業の空洞化が進んでおり、従来の企業誘致中心の産業振興は難しい情勢です。

地域間競争の激化

地域自らの創意工夫を發揮したまちづくりが全国各地で進むことにより、地域間競争の激化が予想されています。

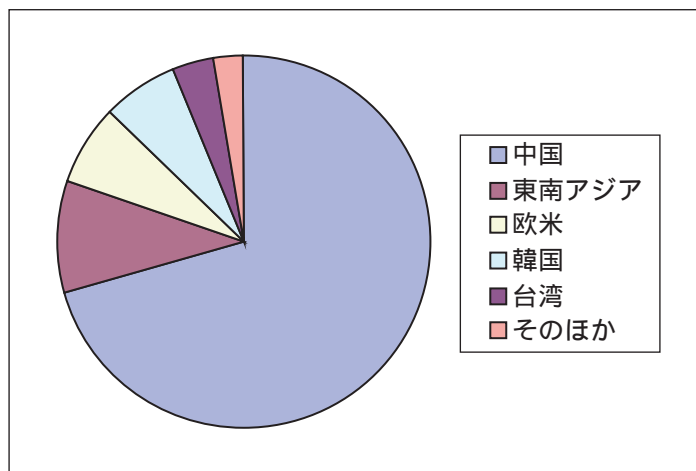
今後、地域産業が発展していくためには、企業の経営力・技術力の革新、産業支援に向けたインフラ整備や研究開発のほか、地域の発意による特化した取り組みなど、ソフト面を重視した対策が求められています。

わが国の中小企業における海外製品との競合による影響（平成16年度版中小企業白書）

	ある	ない
海外生産との競合により販売量の減少または販売単価の下落の経験	51.6%	48.4%

中小企業における競合相手の国（平成16年度版中小企業白書）

	中国	東南アジア	欧米	韓国	台湾	そのほか
競合相手の国・地域	70.6%	9.5%	7.0%	6.6%	3.7%	2.5%



グローバル化

世界的規模に広がること。政治・経済・文化などが国境を越えて地球規模で拡大すること。

インフラ

インフラストラクチャーの略。道路・橋・学校・病院・公園などの社会的生産基盤。

4 環境に配慮した生活空間の創造

環境意識の高揚

世界の人口増加は、オゾン層の破壊や温暖化を導き、地球の環境に大きな影響を及ぼしています。また、発展途上国といわれた国々の生産活動の向上に伴って、環境問題はより深刻化しています。そのため、食糧やエネルギーなどの資源の有効活用へ配慮した環境保全に対する認識は高まっています。

環境保全 景観保全

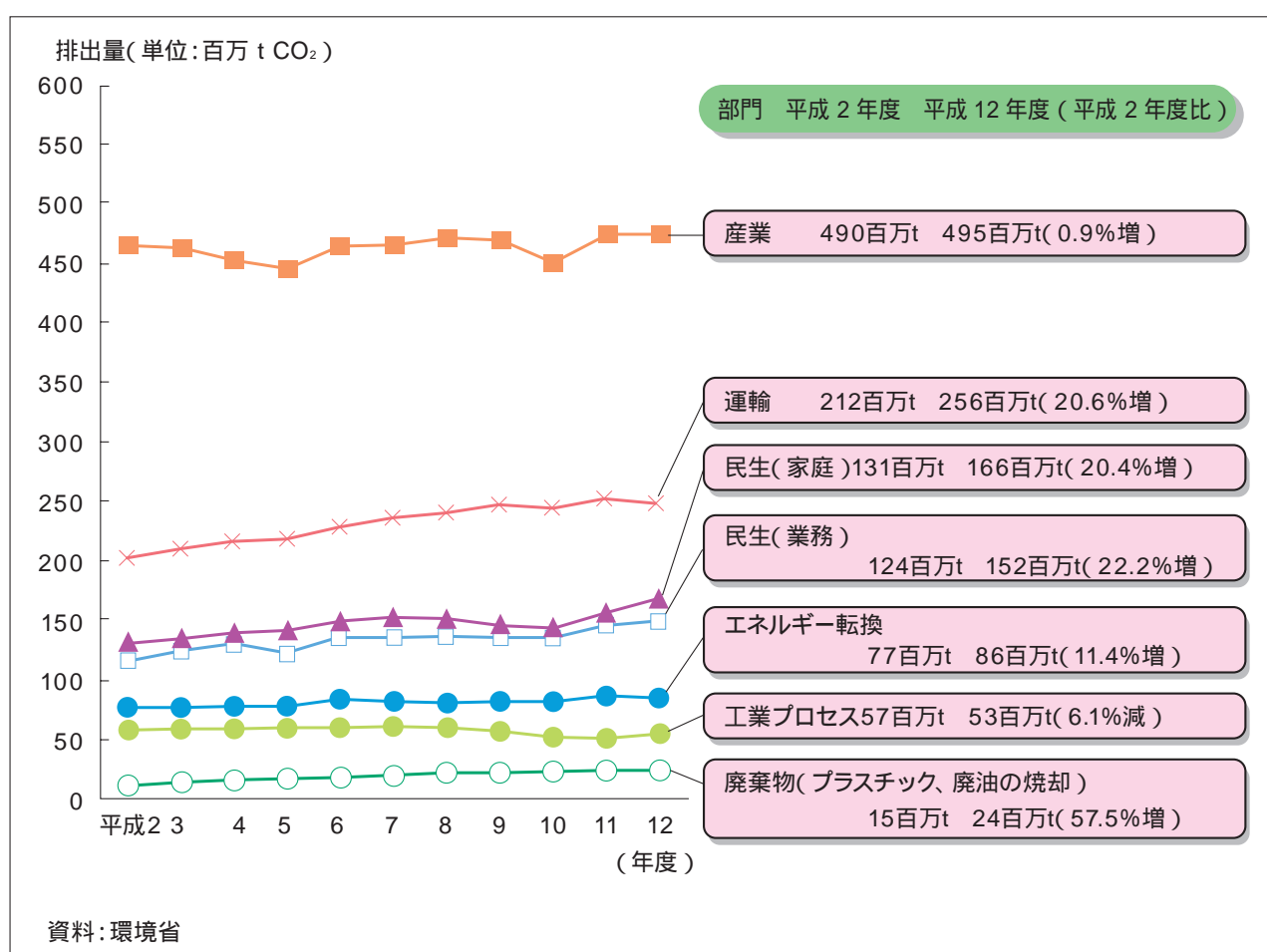
環境をめぐる課題の解決には、私たちの生活のあり方を見直し、人と自然の共生や環境との調和したまちづくり、省資源・循環社会の形成などに努める必要があります。加えて、環境面への配慮を含めた地域環境・景観などの生活空間の高質化に対するニーズが高まっています。

環境・健康に配慮したライフスタイルの浸透

環境や健康に関する意識が世界的に高まるなか、健康を重視し持続可能な社会生活を心がけようとするライフスタイルが注目されています。

そうしたライフスタイルはLOHAS（ロハス = Lifestyles of Health And Sustainability の略）と呼ばれ、環境問題に前向きな企業への支持が高まるなど、その市場も拡大しています。

わが国の二酸化炭素排出量（平成15年度版環境白書より）



5 本格的な ICT 社会の到来

ユビキタス・ネット社会（次世代情報技術の実現）

デジタル技術や光ファイバーなど情報通信技術の進歩と基盤整備の推進により、高速で大容量の情報通信が本格化し、情報を多様な形態で、いつでも・どこでも・何でも・誰でも利用できるユビキタス・ネット社会が実現します。

情報リテラシー（情報活用能力の向上）

情報通信技術の急速な普及にとともに、インターネットを利用したさまざまなサービスにより生活が便利になる一方で、情報への不正アクセスなどによるハイテク犯罪の脅威・個人情報の流出・プライバシーの侵害などの危険性が急速に増加しています。また、情報へのアクセスに関する能力の違いなどに起因する個人や地域間の情報格差（デジタル・デバイド）と、それに基づく社会の階層化の発生などが懸念されています。

わが国のブロードバンド契約数の推移（平成 16 年度版情報通信白書 単位：万契約）

（年度末）	平成 11	12	13	14	15
無線（FWA 等）		0.09	0.8	3	3
FTTH		0.02	2.6	31	114
ケーブルインターネット	22	78	146	207	258
DSL	0.02	7.1	238	702	1,120
合計	22	86	387	943	1,495

ブロードバンド：高速通信回線の普及によるコンピュータネットワークと、その上で提供される大容量のデータを活用した通信サービス。

FWA：固定無線アクセス。ブロードバンドアクセスを無線で行うもの。

FTTH：光ファイバーを家庭に引込み、電話、インターネット、テレビなどを統合するサービス

DSL：電話線を使って高速なデジタルデータ通信をする技術の総称。

ICT (Information and Communication Technology)

情報通信技術。IT に「Communication (コミュニケーション)」を加えた表現。ユビキタス社会においては、情報通信におけるコミュニケーションの重要性が増大することからこの呼称が用いられるようになり、総務省の「IT 政策大綱」も、2004 年度より「ICT 政策大綱」に名称変更しました。

ユビキタス

時や場所を問わずインターネットなどの情報ネットワークに接続できる次世代の情報技術環境。国は、平成 17 年度 ICT 政策大綱の中で、IT インフラ整備中心の政策から、「いつでも・どこでも・何でも・誰でも」という次世代ユビキタス・ネット社会の実現に向けた政策の転換を示しています。

情報リテラシー

「コンピュータなどの情報機器を操作する上で必要となる知識や能力」のこと。「職員が業務システムを使いこなす知識や能力」「住民が電子申請などを利用する際に必要とされる知識や能力」などの意味で使われます。

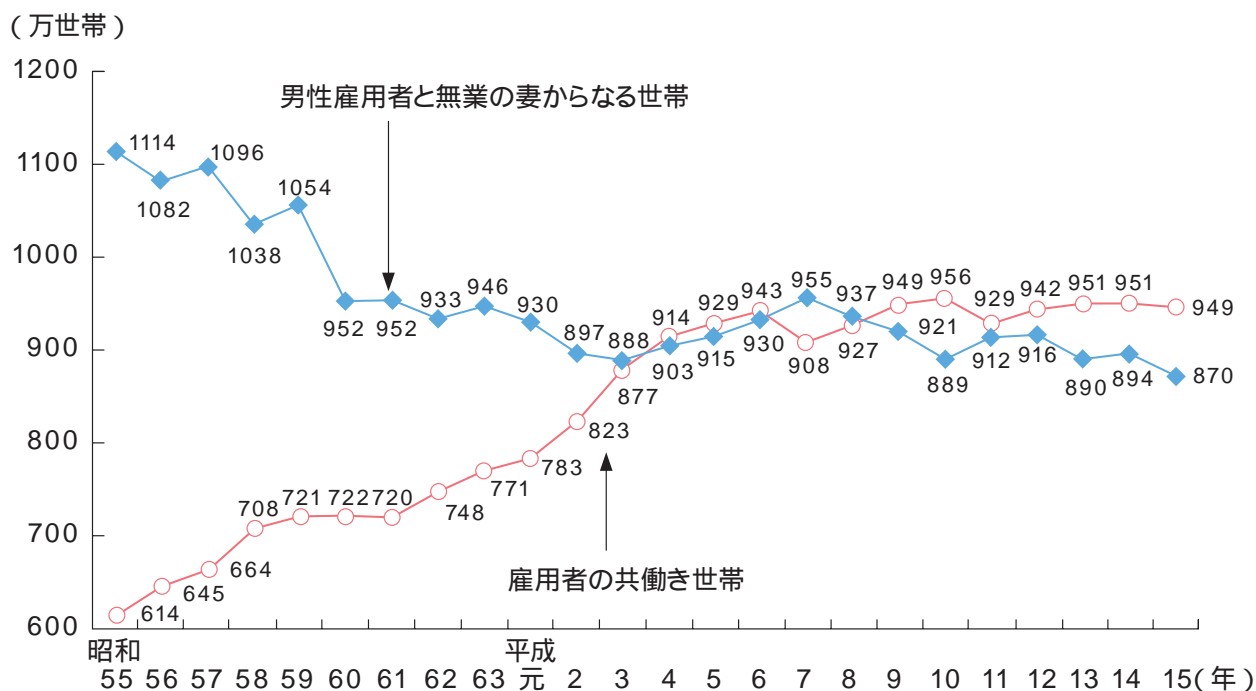
6 ユニバーサル社会の実現

ライフスタイル・価値観の多様化

ICT社会の進展、経済・文化のグローバル化、女性の社会参加の進展などを背景に、人々のライフスタイルは多様化しています。このような中、人々が真に豊かさを実感できるためには、障害の有無や年齢、国籍や言語、性別など質的要素の違いを越えて、すべての人が暮らしやすく、自由度の高い社会をつくっていくことが求められます。このため、社会を構成するあらゆる人々にとって暮らしやすい、ユニバーサル・デザインの考え方に立った社会づくりを進めていかななくてはなりません。

特に、生涯学習活動、ボランティア活動など、誰もが自己実現できる機会の充実、住民主体のまちづくりに欠かせない要素になるといえます。

わが国の共稼ぎ等世帯数の推移（平成16年度版男女共同参画白書 内閣府）



ライフスタイル

生き方。単なる生活様式を超えて、その人の人生観・生活観までを含めて示す際に用いられます。

ユニバーサル・デザイン

「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障害の有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人々が利用可能であるようにデザインすることをいいます。

5 美郷町の地域特性

1 地勢と歴史

位置・面積

美郷町は、島根県のほぼ中央に位置し、広島県から島根県にかけて流れる江の川（別名「中国太郎」）の中流域にあたります。東を飯南町、北を大田市、西を川本町、南を邑南町に接しています。

総面積は 282.92 km²で、島根県の総面積 6,707.294 km²の 4.2%にあたります。江の川の沿岸部及びその支流の浸食によって形成された急峻な地形が多いことから、総面積の大半を山林が占め、居住可能地の面積はわずかです。

地勢

美郷町内を中国地方随一の江の川（総延長 194.0 km）が大きく蛇行しながら貫流しています。江の川の沿岸部では、浸食によって形成された急峻で起伏に富んだ地形になっており、その谷間や氾濫原に集落が形成されています。北西部には標高 200m 前後の平坦地が広がり、南西部には標高 300m 前後の丘陵地帯が広がっています。また、東部には標高 400 ~ 700m の山々が中国山地へと連なっています。

土地利用状況

区分	面積（10a）
田	6,261
畑	2,465
宅地	1,344
池沼	372
山林	106,413
牧場	5
原野	3,699
雑種地	1,600
合計	122,159

平成 15 年度版島根県統計書

気候

気象は、山陰特有の低温多湿型で、年間の平均気温は13.5程度、降水量は年間1,700mm前後です。12月～3月の初旬にかけて積雪があり、近年の最深積雪量は江の川沿岸部で15cm程度となっています。また、南部の高原地帯では年平均気温が1～2低く、最深積雪量も江の川沿岸に比較して多くなっています。

歴史

美郷町の古代の歴史は、大和地域の縄文時代早期の遺物から約8,000年前にさかのぼることができます。また、滝原・乙原・築瀬地区からは縄文時代後期の遺跡が出土しているほか、都賀行地区をはじめ江の川流域周辺からは、弥生時代後期を中心とした遺構や遺物が多数出土しています。

戦国時代には、江の川沿岸部が陰陽連絡の要衝や出雲国と石見国の接点として重要視され、さらに石見銀山が開発されると、その支配をめぐる戦いの最前線となりました。江戸時代には、邑智地域の江の川から北の地域と大和地域の大半が幕府直轄の石見銀山領となり、銀の精錬に必要な炭の供給地として、また銀や物資を運ぶ陸路の宿場町や江の川舟運の中継地として発達しました。

その後、明治24年頃には、竹地区の銅が丸鉱山が最盛期をむかえ、発電所、銀行など経済開発が早くから行われてきました。さらに昭和28年には、中国電力の浜原ダム、明塚発電所が完成し、電力供給が始まりました。

昭和30年代に入ると、燃料革命により主要産業であった木炭産業が打撃を受け、高度経済成長とともに多くの若者が都市部に流出するなど、社会経済情勢が大きく変化しました。また、昭和38年には豪雪災害、昭和40年、47年、58年には豪雨災害などの自然災害もあり、人口流出と過疎化が急激に進みました。

近年は、社会基盤整備の着実な進展により、生活環境の充実が図られると同時に、豊かな自然環境や豊富な地域資源を活かした地域間交流や定住環境の充実が進みつつあります。

2 人口

人口の推移

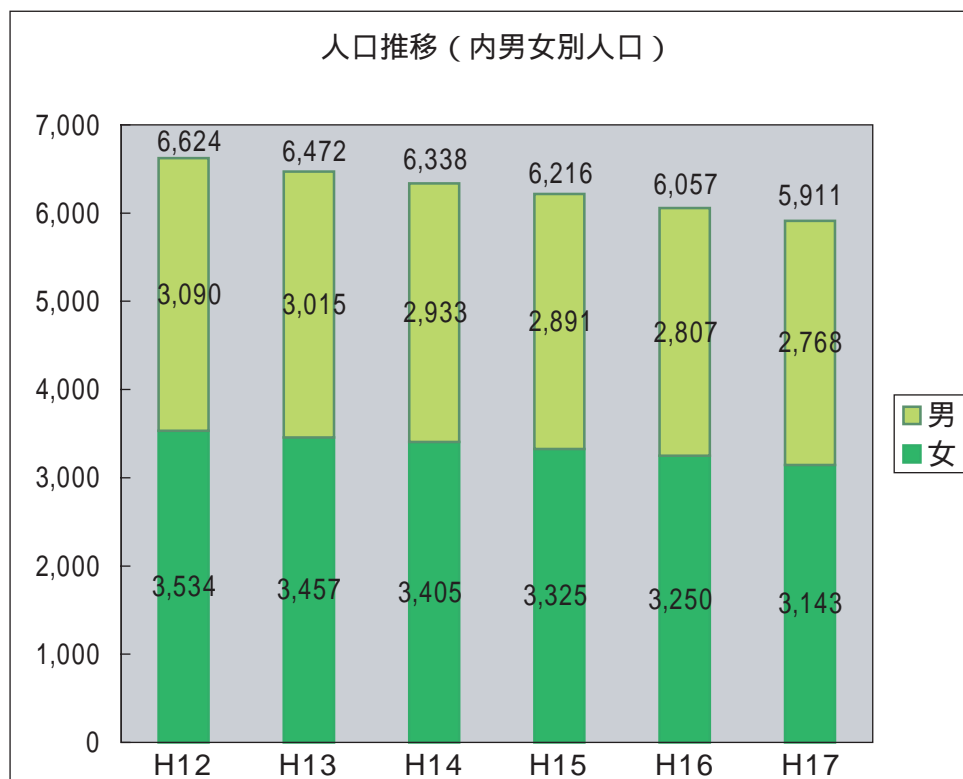
人口は平成 17 年国勢調査によると 5,911 人、世帯数は 2,310 世帯です。平成 12 年の前回調査時と比較すると、人口では 713 人、世帯では 226 世帯とそれぞれが減少しています。

平成 13 年から平成 16 年までの「島根の人口移動と推計人口」、平成 17 年国勢調査においても同様の傾向を示しており、依然人口の減少が止まらない状況です。平成 17 年の国勢調査では、美郷町の人口は前回調査より 713 人減の 5,911 人（- 10.8%）で、県内でも最も減少率が高くなっています。

人口推移

	平成 12 年	平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年
美郷町	6,624	6,472	6,338	6,216	6,057	5,911
男	3,090	3,015	2,933	2,891	2,807	2,768
女	3,534	3,457	3,405	3,325	3,250	3,143

国勢調査、島根の人口移動と推計人口



人口の年齢構成

人口の年齢構成は、平成 17 年国勢調査では 0 ~ 14 歳 10.3%、15 ~ 64 歳 48.2%、65 歳以上 41.4%であり、3 人に 1 人が 65 歳以上と高齢化が進んでいます。また、5 歳ごとの年齢構成をみると、若年層の流出傾向が顕著です。

人口に占める 65 歳以上の割合（高齢化率）は、県平均 27.1%を大きく上回るとともに、子どもを産む世代の減少と出生率の低下にともなって子どもの数が減少しており、0 ~ 14 歳の年少人口比率は 10.3%で県平均の 13.5%を下回っています。

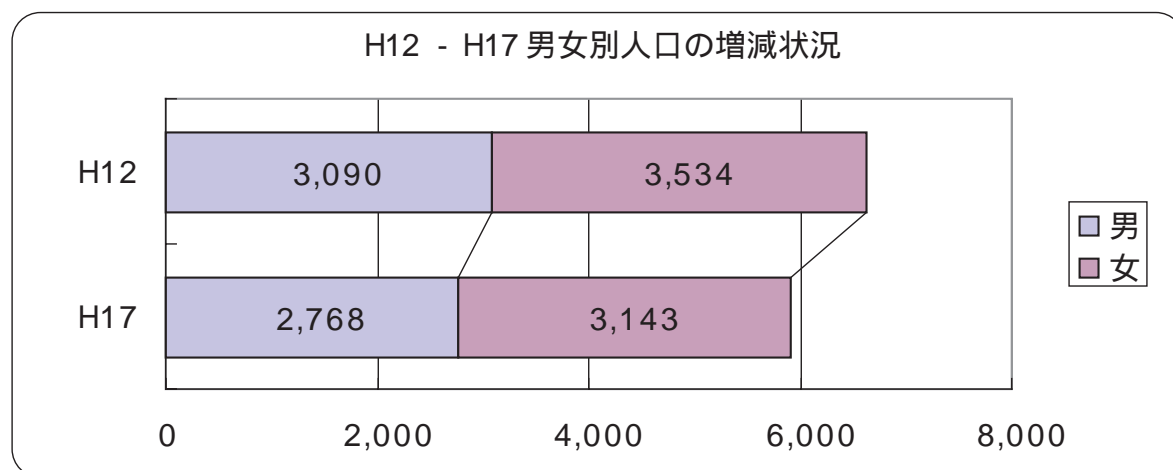
また、実数で増加していた 65 歳以上人口も減少に転じており、今後人口減少がさらに進むことが予想されます。

	年少人口 (14 歳以下)	生産年齢人口 (15 ~ 64 歳)	老年人口 (65 歳以上)	不詳	総数
昭和 55 年	1,624	5,430	1,784		8,838
昭和 60 年	1,417	4,938	2,017		8,372
平成 2 年	1,107	4,225	2,273	1	7,606
平成 7 年	959	3,759	2,493		7,211
平成 12 年	790	3,248	2,586		6,624
平成 17 年	611	2,851	2,449		5,911

国勢調査

市町村名	平成 17 年国勢調査			平成 12 年国勢調査			増加数 (17 年 - 12 年)		
	人口			人口			人口		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
美郷町	5,911	2,768	3,143	6,624	3,090	3,534	713	322	391
県計	742,223	353,703	388,520	761,503	363,994	397,509	19,280	10,291	8,989

国勢調査



6

美郷町の地域特性とまちづくりの課題

1 地域特性

江の川と豊かな自然を共有する地域

本町は、江の川流域に位置しており、古くから江の川の水運によって発展してきた歴史をもちます。現在も江の川でのアユ漁が行なわれているほか、江の川を活用したカヌー体験や江の川遊覧船などさまざまな交流が生まれています。

広大な森林面積と豊富な森林資源をもつ地域

本町は、中国山地に連なる広大な山々を有しており、豊富な森林資源を背景として林業や製材業が盛んに行われてきました。現在、環境保全の側面から、森林のもつ多面的機能や森林資源の活用が注目されており、豊富な森林資源の活用への期待が高まっています。

鉄道による交通ネットワークを形成している地域

町内には早くから鉄道による交通ネットワークが確立されており、JR 三江線が町内と近隣市町とを結んでいます。町内には10の駅があり、公共交通機関として日常生活における通学や通院等に広く利用されています。

自然環境を活かした農業が基幹産業となっている地域

本町の基幹産業は農業であり、大規模な牧野を活かした畜産や県内初の特定農業法人による農業経営など、多様な農業が展開されています。山くじらや三瓶そば、マタタビ加工品などの特産品も豊富で、特産品販売拠点での販売や商品化に向けた取り組みが行われています。

地域性を活かした特色ある教育が行われている地域

本町では、国際交流やカヌー、食育など、地域性を活かしながら、まちづくりと結びついた特色ある教育が行われています。

元気で知恵と技術をもつ高齢者が多い地域

本町は、高齢化が進んでいますが、知恵や技術をもつ高齢者の多くが元気で、さまざまな郷土芸能や伝統工芸の担い手として、また集落生活の担い手として活躍しています。

2 まちづくりの課題

人口減少・少子高齢化の深刻化

本町では若年層の流出や少子化の進行による人口減少と高齢化現象が、地場産業等の後継者不足、集落機能の低下など、地域生活にも多大な影響を及ぼす要因となっており、今後も人口減少、少子高齢化問題の深刻化が予測されます。

極端な年少人口の減少は、地域における学校教育にも影響を及ぼすことが懸念されるものであり、緊急の地域課題となっています。

今後、定住促進に向けた雇用の場の確保、子育て支援の充実、医療・保健サービスの強化、地域福祉の充実、バリアフリーの推進、生きがいづくりなど、さまざまな視点からの対策が必要です。

道路の整備不足と公共交通網の不足

町内の道路は、邑智～大和間で改良が進みつつありますが、地域内各地を結ぶ道路が整備不足です。近隣市町と結ぶ道路整備も遅れています。

また、町内における公共交通機関は、JR 三江線とバス路線がありますが、便数の減少や路線の廃止等によって利便性が低下しています。

災害に強いまちづくりの必要性

本町ではこれまで、度重なる江の川の増水による水害や集中豪雨にともなう災害等が発生しており、住民の暮らしに深刻な被害を及ぼしてきました。

住民の生命と財産を守るため、治水、治山及び土砂災害対策事業の推進や防災体制の充実により、地域防災力の強化が図られましたが、今後も災害に強いまちづくりを積極的に推進することが求められます。

地域産業の停滞と雇用の不足

本町の産業構造は、建設業中心の公共事業依存型であり、公共工事が減少する中、雇用機会に対する不満や不安が高まりつつあります。特に地場産業では後継者不足の一方で、就業機会の不足が若者の流出につながっているため、地域産業の活性化と産業の創出を図り、地域における雇用の確保が求められています。

総合的な地域医療体制の不足と福祉充実への期待

町内には中核的な病院がないため近隣市町の医療機関を利用するケースが多く、救急医療や緊急時の医療体制が不足しています。したがって、少子高齢化が進行する中、福祉の充実したまちづくりが望まれています。

自治会組織における集落機能や活力の低下

本町では人口流出に加えて少子高齢化が進行しており、地域によっては構成員の高齢化や減少、またリーダーとなる人材不足にともなって、自治会組織における集落機能や活力の低下が危惧されています。

今後は、まちづくりリーダーの確保・育成を図るとともに、ボランティア活動の促進、男女共同参画の推進などさまざまな取り組みが必要です。また、周辺住民などで一体的に取り組むイベントの開催、地域内における助け合い活動の充実などによるコミュニティの形成が必要です。

地方交付税に依存する厳しい財政運営

本町の財政状況は、いずれも自主財源に乏しく今後、制度の見直しにともなって削減が進むとされる地方交付税に依存する厳しい財政運営となっています。

3 住民の意識

新しいまちづくりと合併に関するアンケート調査における住民意向

本計画策定にあたり、H14年に実施した「新しいまちづくりと合併に関するアンケート調査」の傾向を、【満足度】【期待度】を基準として整理しました。

新しいまちづくりと合併に関するアンケート調査

調査対象：川本町、邑智町、大和村にお住まいの満18歳以上の全住民9,697人

回収結果：有効回収数7,171件から、邑智町および大和村分4,473件を抽出

調査期間：平成14年8～9月

まちづくりの満足度

現状の満足度については、日常生活におけるサービスや施設の中で、簡易水道、可燃・不燃ゴミの収集、し尿処理、公民館・集会所などに対しては、一定の満足度が得られています。

しかしながら、道路の改良・整備の遅れや公共交通における便数や路線の減少、地域内に総合病院がないといった現状から、幹線道路（地域の主要道路）、鉄道やバス等の公共交通、病院・救急医療機関等、雇用の機会、下水道などへの満足度が低くなっています。

まちづくりの期待度

合併後の新しいまちの将来像としては、福祉が充実した地域という回答が最も多く、少子化や高齢化に対応したまちづくりが期待されています。次いで、公共交通網の充実した地域、快適な居住空間に恵まれた地域、教育や子育て環境が充実した地域など、生活環境の利便性や快適性、教育や子育て環境の充実など、暮らしの質を高めるまちづくりへの期待も高くなっています。

また、合併後のまちに特に力を入れて欲しい施策については、国道や県道などの幹線道路網の整備をはじめとして、路線バスなどの公共交通網の整備、生活道路の整備など道路交通に関連する項目が上位となっており、道路交通に関する施策に対して多くの住民が期待を寄せています。次いで、高齢者・障害者・児童の福祉対策、健康を支える体制整備など、福祉の充実や高齢社会対策が続いているほか、雇用の確保など勤労者対策への期待も高くなっています。

項目別

【満足度】

居住地域での住民生活において、満足している項目として上位3位にあがったのは、以下のとおりです。

- 1位 可燃・不燃ゴミの収集
- 2位 簡易水道
- 3位 公民館・集会所

一方、満足度が低い項目としては以下のとおりです。

- 1位 病院・救急医療機関等
- 2位 鉄道やバス等の公共交通
- 3位 幹線道路（地域を結ぶ主要道路）

【期待度】

居住地域での住民生活において、合併後の自治体に期待している項目として上位3位にあがったのは、以下のとおりです。

- 1位 国道や県道などの幹線道路網の整備
- 2位 高齢者・障害者・児童の福祉対策
- 3位 路線バスなどの公共交通網の整備

年代別

【満足度】

満足度を年代で見ると、簡易水道、ゴミ収集など、基礎的な生活環境への評価分かれ、老年層で満足度が高く、若年層・中年層で満足度が低い傾向にあります。

また、若年層・中年層で病院・救急医療、雇用機会、公園、商業施設、文化・芸術環境への満足度が低くなっています。

【期待度】

期待度を年代で見ると、路線バスなどの公共交通網の整備、高齢者・障害者・児童の福祉対策などの項目が老年層で高く、若年層・中年層では、国道や県道などの幹線道路網の整備、雇用の確保が高くなっています。

また、若年層では、子育て支援や教育、住宅など、中年層では、企業誘致や地場産業の育成対策が特に高くなっています。

新町建設計画の基本方針別

【満足度】【期待度】

利便性の高い快適な暮らしを実感できるまち	
住民の満足度	特に住民の期待の高い項目
【高い】生活環境の整備 衛生環境の充実 自然環境の保全	全般的に期待度が高く、特に道路交通網の整備が高い
【低い】道路交通網の整備 生活環境の整備	
人と地域の個性を活かした産業を創出するまち	
住民の満足度	特に住民の期待の高い項目
【低い】新産業の創出	特に雇用対策に期待が高い
人が輝き交流が生まれる学びのまち	
住民の満足度	特に住民の期待の高い項目
【低い】文化・スポーツの充実	特に期待度が高い項目はなし
生涯を通じて健康で安心できるまち	
住民の満足度	特に住民の期待の高い項目
【低い】保健・医療の充実	全般的に期待が高く、特に病院の充実、福祉サービスの充実、少子高齢化対策が高い
連帯の絆で支え合うコミュニティのまち	
住民の満足度	特に住民の期待の高い項目
該当する設問なし	行政の効率化に期待が高く、特に議員数や職員数の削減が高い

第2章

基本構想

1	美郷町のめざすまちづくり	25
2	基本構想の構成	34
3	重点施策の方針	38
4	分野別施策の方針	55
5	将来人口	66
6	地域整備構想	68

1 美郷町のめざすまちづくり

1 まちづくりの理念

まちづくりの基本理念

水と緑 いきいき輝く 夢あふれる協働のまち

■まちづくりの基本理念

本町の恵まれた森林資源や江の川の清流など豊かな水と緑は、地域固有の魅力と可能性をもった資源として位置付けることができます。そして、水や緑を積極的に活用することで、ゆとりとおいのある生活環境づくり、特色ある農業の展開や森林資源の活用、伝統文化の再評価、都市農村の交流等において、地域ブランド力を発揮するまちづくりの展開が可能となります。

また、本町のまちづくりにおいては、住民と行政の協働を一層すすめ、地域の子どもから高齢者まで誰もが積極的にまちづくりに参加して、地域が一体となってよりよいまちを目指すことが重要です。

こうした点をふまえて、本町のまちづくりの基本理念を「水と緑 いきいき輝く 夢あふれる協働のまち」と設定します。

この基本理念には、以下のような思いが込められています。

【基本理念設定のポイント】

「水と緑」

本町の豊かな自然環境を象徴的に表しており、地域の貴重な資源として大切にすると同時に、地域の暮らしのさまざまな場面で積極的に活用することによって、その価値や魅力を高めていくという意味を込めています。

「いきいき輝く」

多彩な活動や交流、自然なふれあいや支え合いがひろがり、誰もが安心して満ちた笑顔で楽しく暮らし、一人ひとりが地域でいきいき輝くことによって、まち全体がいきいきと輝く様子を表しています。

「夢あふれる協働のまち」

住民福祉の充実や生活環境の整備を図りながら、本町のまちづくりに向けて一人ひとりが夢を描き、住民と行政が一体となって協働のまちづくりに力強く取り組むことによって、夢あふれる地域社会の実現を目指していこうという意味を込めています。

■まちづくりの基本方針

まちづくりの基本理念のもと、本町の特性と、住民一人ひとりの個性を生かしたまちづくりをめざし、以下のとおりの基本方針を設定します。

まちづくりの基本方針

①自ら考え行動する、自立[※]・自律[※]のためのまちづくり

本格化する地方分権社会に適合し、活力あるまちを実現するため、住民・行政・民間などが一体となり、地域の自立・自律をめざします。

②住民と行政の協働[※]と補完[※]によるまちづくり

住民と行政が、互いの特性を生かし、まちづくりを進めるための基本的な役割を明確にした上で、まちづくりの取り組みごとに、『住民・地域でできること、住民・地域が行うことで、より大きな効果を生み出せること』と、『行政で行うこと』を設定し、地域の自律をめざします。

③地域の個性を生かす連携によるまちづくり

個性豊かな地域資源や、人材を生かし、地域と人の連携を進め、有効で、相乗効果を導くまちづくりをめざします。

※自立

自らの力でものごとを進めること。公共事業など他の力に頼らず、自らの地域の内発的な力で住民生活を成り立たせることのできる状態を指す。

※自律

自分のことは、自らの自覚と責任で取り組むことを意味する。地域内のさまざまな意見や対立を認め合いながらも、課題解決のための方向を地域住民が自己決定していくことを指す。

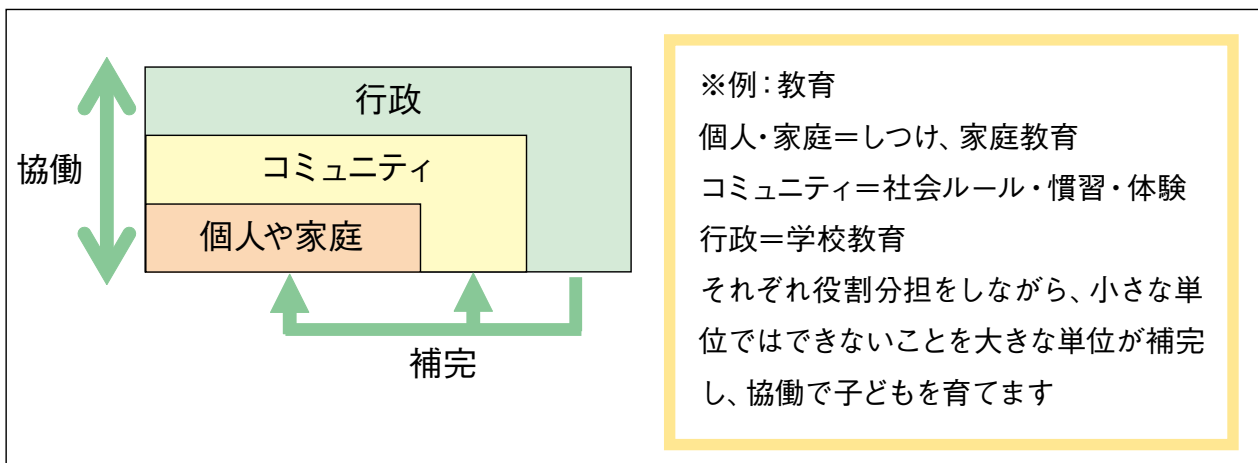
※協働

立場の異なるもの（住民、NPO、企業、行政など）が共通の目標を立てて、それぞれの個性や特性に応じた役割を十分に果たし、お互いに協力、連携してより良い社会づくりに取り組むこと。

※補完

個人や家庭、地域など小さな単位でできることは国や自治体などが行うべきではなく、その小さな単位に任せる。その小さな単位で不可能あるいは非効率なことのみを自治体や国などのより大きな単位が行うこと。ただし、補完は地域住民の自律（活動）が前提である。

※協働と補完イメージ



まちづくりフォーラム

2 行政経営の考え方

行政経営の考え方

まちづくりの基本理念・基本方針のもと、住民に信頼される行政づくりを進めるため、行政経営の基本的な考え方を『住民とともに歩む行政づくり』とします。

行政経営の考え方

『住民とともに歩む行政づくり』

行政経営の基本方針

行政経営の基本的な考え方を具体化する上での基本方針として、以下の3つの基本方針を設定します。

行政経営の基本方針

①住民との情報共有を積極的に進めます

地域課題の発見から政策立案、事業の実施に至るまで、多くの住民の参画による行政経営を進めるため、わかりやすく、迅速な行政情報の公開・発信に取り組みます。

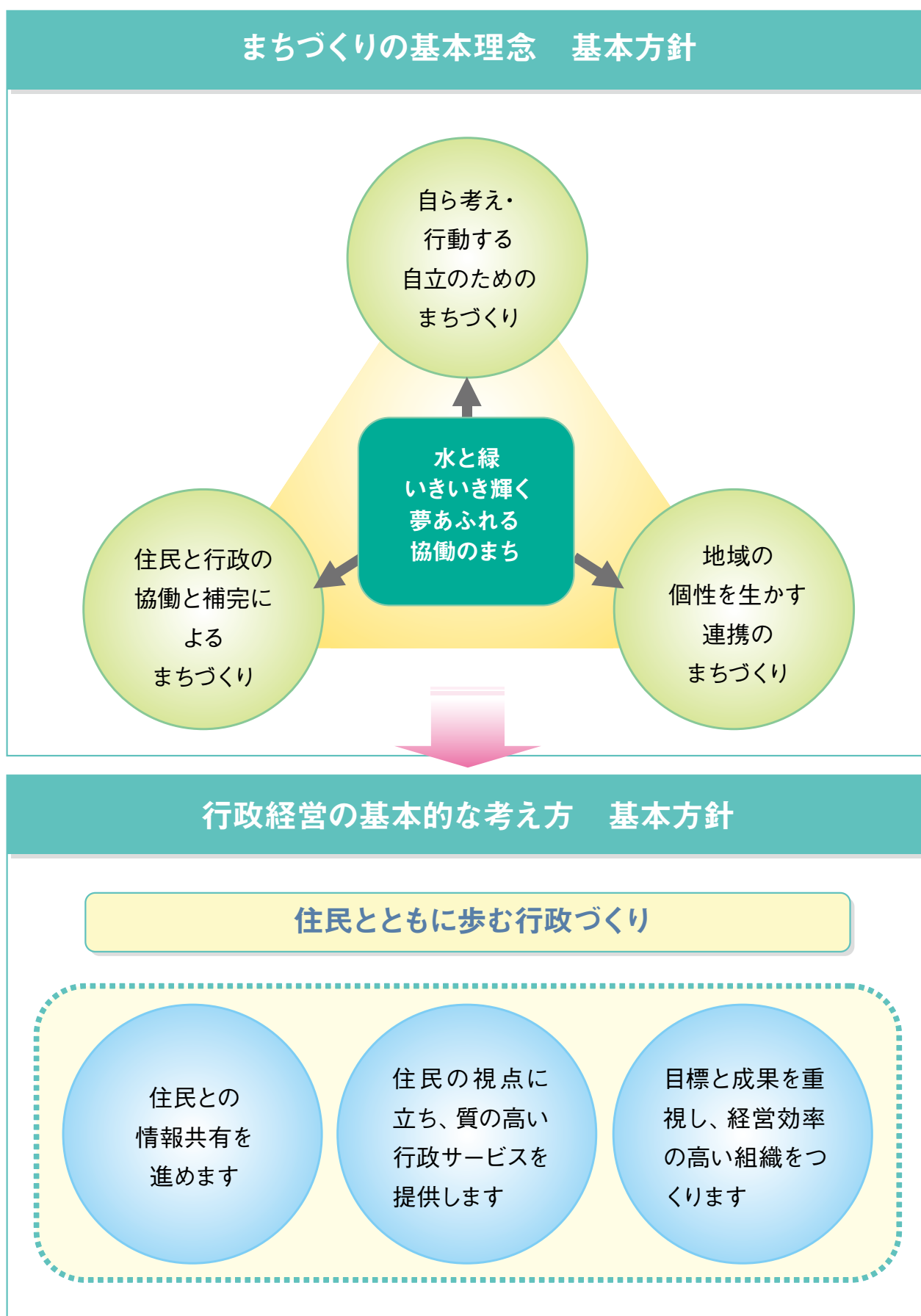
②住民の視点に立ち、質の高い行政サービスを提供します

地域の主役である住民の立場に立った行政経営を進めるため、住民との対話を大切にし、住民参加を促しながら、満足度の高い行政経営に取り組みます。

③目標と成果を重視し、経営効率の高い組織をつくります

まちづくりの目標を住民と共有し、実践した取り組みの検証・改善を行うことで、政策推進と財政健全化のバランスのとれた行政経営に取り組みます。

■図 2-1 美郷町のめざすすがた



3 めざすべき将来像

将来像設定の背景

本町将来像は、以下のような前提を踏まえて設定します。

□美郷らしさへの愛着

多くの住民が、自然環境、歴史文化、地域社会環境、住民間・地域間の連帯感など、「心豊かな美郷らしい暮らし」に深い愛着と誇りをもっています。

□安心できる美しいまちへの期待

多くの住民が、子育て環境、消防体制の充実、循環型社会づくりなど、安心できる、美しい地域環境の実現を期待しています。

□本町の特性を生かしたまちづくり戦略の必要性

国全体の少子化の進行などに伴い、激しくなる地域間競争の時代に適合できる地域特性・歴史的資源を生かしたまちづくり戦略が必要になっています。

□本格的な選択的定住化の時代

価値観の多様化、いわゆる団塊の世代が高齢期に入ることなどを要因として、本格的な選択的定住化の時代を迎えつつあります。

将来像設定のためのまちづくり戦略

上記のような背景を踏まえ、以下のような「まちづくり戦略」を描きます。

〔第1段階〕まちづくりの基本理念と施策体系に基づき、本計画に基づく新しいまちづくりを協働により進めます。

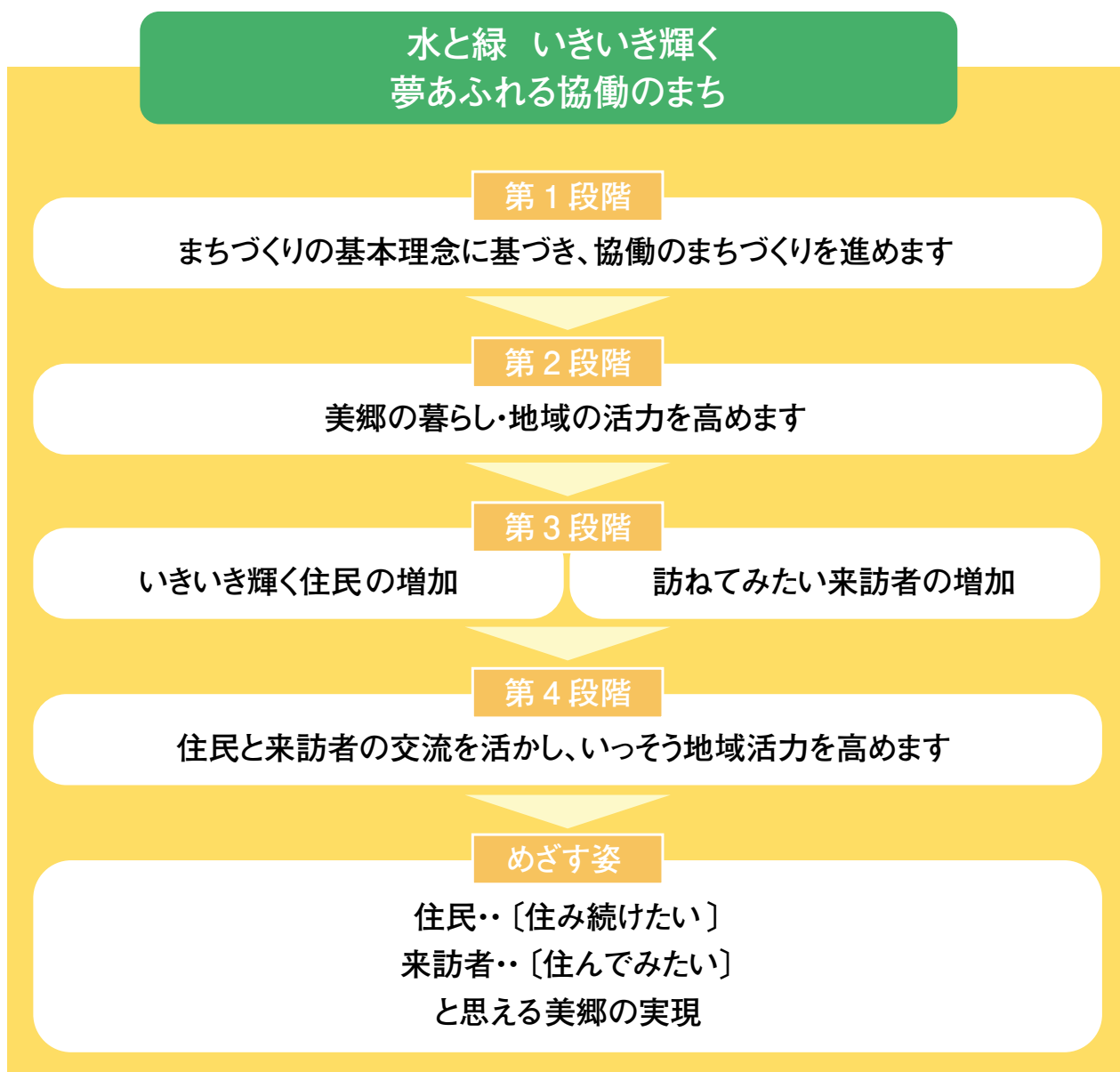
〔第2段階〕本計画に基づく新しい協働のまちづくりを推進することにより、本町の暮らしと地域の活力を高めます。

〔第3段階〕さまざまなまちづくりの活動を通じて、住民の自己実現への意欲の増加と、交流・来訪機会の拡充を促進します。

〔第4段階〕自己実現に積極的に取り組む元気な住民と、美郷の魅力に共感する来訪者との間に、多様な交流を生み出します。

〔めざす姿〕以上のまちづくり戦略により、住民にとっては〔いつまでも住み続けたいなるまち〕、来訪者にとっては〔住んでみたくなるまち〕でありつづけることのできる美郷を実現します。

■将来像設定のためのまちづくり戦略のイメージ



■ 将来像の設定

美郷町がめざす地域の将来像を次のように設定します。

- 【生活基盤】 利便性の高い快適な暮らしを実感できるまち
- 【産業 雇用】 人と地域の個性を活かした産業を創出するまち
- 【教育 交流】 人が輝き交流が生まれる学びのまち
- 【健康 福祉】 生涯を通じて健康で安心できるまち
- 【住民自治】 連帯の絆で支え合うコミュニティのまち

① 【生活基盤】 利便性の高い快適な暮らしを実感できるまち

快適で暮らしやすい生活基盤を確保するため、道路交通網の整備を進め、また地域のシンボルである江の川の環境保全と災害防止策に取り組みます。また、豊かな森林資源を活かした木質バイオマスなどクリーンエネルギーの導入を促進し、利便性の高い快適な暮らしを実感できるまち・美郷町の実現をめざします。

② 【産業 雇用】 人と地域の個性を活かした産業を創出するまち

江の川流域で生産される食材を活かした「健康の食」のブランド化や農業法人の育成、農業分野の構造改革特区の導入検討、木質バイオマスや森林の認証制度導入など、農林業ビジネスの可能性を拓くとともに、市街地のにぎわいづくり、地域の人材や資源を活かした新しいビジネスの起業を支援し、人と地域の個性を活かした産業を創出するまち・美郷町の実現をめざします。

③ 【教育 交流】 人が輝き交流が生まれる学びのまち

地域の個性を活かした教育を推進するとともに、学校・地域が連携して幼～小・中までの地域一貫教育体制の構築をめざします。また、伝統文化や自然を活かした交流を促進するなかで、高齢者や女性、若者が活躍できる場をつくります。こうした交流の機会や学びの機会を提供するなかで次代の地域を担う人材の育成を図り、人が輝き交流が生まれる学びのまち・美郷町の実現をめざします。

④【健康 福祉】生涯を通じて健康で安心できるまち

町内医療機関、近隣市町と連携した救急医療、高度医療、医療サービスの充実を図るとともに、地域ぐるみの健康づくり、福祉サービスの充実を推進します。また、少子化対策として田舎らしさを活かした子育て環境の充実を図り、生涯を通じて健康で安心できるまち・美郷町の実現をめざします。

⑤【住民自治】連帯の絆で支え合うコミュニティのまち

コミュニティにおける住民自治活動を進めていくため、コミュニティの支援体制を整え、相互扶助と地域分権に基づくコミュニティの自主的な活動を促進します。また、UJI ターンを広く受け入れるため、相談窓口の設置、情報提供の充実など総合的な定住促進対策を実施し、連帯の絆で支え合うコミュニティのまち・美郷町の実現をめざします。

施策の目標達成度を客観的に評価・管理するため、行政評価システムの導入を図ります。また、行政組織内における意思決定の迅速化や事業運営の柔軟化、職員の意識改革と自立的・創造的な業務遂行を目指した行政組織をつくり、住民との協働を進めることで、連帯の絆で支え合うコミュニティのまち・美郷町の実現をめざします。



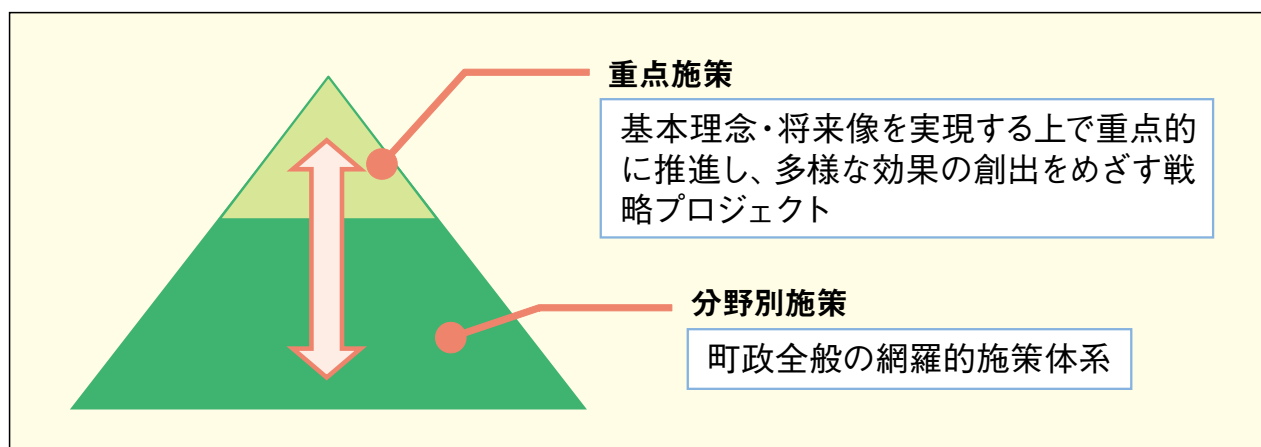
開庁記念式典

2 基本構想の構成

1 基本構想の構成

本計画（基本構想）の構成は、重点施策と分野別施策の二層構造とします。また、地域経営の戦略化をめざすため、分野別の計画と横断的に連携しながら、協働のまちづくりを推進できる体系としています。

●二層構造の考え方



重点施策

本町の将来像を実現するため、まちづくりの重点テーマに基づき、分野横断的な重点課題も踏まえてプロジェクト化を図ることにより、地域社会への多様な効果の創出をめざす戦略的な施策です。

分野別施策

町政全般を網羅する取り組みで、新町建設計画との整合を踏まえて立案・推進する分野別の基本施策です。

2 本計画（基本構想・基本計画）の特徴

■指標による目標管理

本計画では、まちづくりの指針である総合計画が、いつまでに、どの程度の達成をめざして取り組むのか明らかにするため、主な施策ごとに「指標」を設定し、住民のみなさんに公表します。

「指標」を設定することで、達成状況だけでなく、取り組みの成果、住民のみなさんの満足度の変化などを定期的に検証することが可能になります。

■住民・行政の役割分担

本計画では、これからの地域政策の要といえる「協働のまちづくり」を推進するため、主な施策ごとに「役割分担表」を設定します。

「役割分担表」を設定することで、住民（個人・家庭）・行政・地域・NPO等活動団体・企業・事業所など、さまざまな主体の連携方針を明らかにします。

●記載イメージ

単位施策	指 標		現状値	目標値 (3年後)	目標値 (5年後)
例 地産地消の推進	直売所での農林畜産 水産物の年間販売額		千円	千円	千円
役割分担	住民	地域	行政	民間 (企業・団体)	
	◎	○	○	◎	

【表の見方】

◎：主体的に取り組むことが求められる層

○：支援と連携を行うことが求められる層

美郷町のめざすまちづくり

まちづくりの
基本理念

水と緑 いきいき輝く

まちづくりの
基本方針

自ら考え行動する、
自立・自律のためのまちづくり

住民と行政の協働と
補完によるまちづくり

行政経営の考え方
住民とともに歩む行政づくり

住民との情報共有を
積極的に進めます

住民の視点に立ち、質の高い
行政サービスを提供します

地域の
将来像

生活基盤

利便性の高い
快適な暮らしを
実感できるまち

産業 雇用

人と地域の個性を
活かした産業を
創出するまち

教育 交流

人が輝き
交流が生まれる
学びのまち

政策体系

分野別
施策

生活基盤

- ①道路交通網の整備
- ②土地利用と市街地の整備
- ③生活環境の整備
- ④情報・通信の整備
- ⑤環境衛生の充実
- ⑥消防・防災・防犯の強化
- ⑦自然環境の保全と活用

産業 雇用

- ①地域産業の活性化と新産業の創出
- ②農林水産畜産業の振興
- ③商業・工業の振興
- ④観光・レクリエーションの振興

教育 交流

- ①生涯学習の推進
- ②学校教育の充実
- ③文化・スポーツの充実
- ④国際化の推進
- ⑤地域内、地域間交流の促進
- ⑥男女共同参画社会の推進

分野別施策を横断的に連携して展開する協働による重点施策

1

美(び)の生業
薬草・薬樹・山野草の郷づくり

2

美(び)の水辺
潤いの郷づくり

夢あふれる協働のまち

地域の個性を生かす
連携による まちづくり

目標と成果を重視し、
経営効率の高い組織をつくります

健康 福祉

生涯を通じて
健康で安心
できるまち

住民自治

連帯の絆で
支え合う
コミュニティのまち

健康 福祉

- ①保健・医療の充実
- ②社会福祉の充実
- ③高齢者福祉の充実
- ④障害者（児）福祉の充実
- ⑤児童福祉の充実
- ⑥母子・父子世帯福祉の充実
- ⑦生活困窮者福祉の充実

住民自治

- ①効率的な行政運営の推進
- ②財政基盤の強化

「美(び)のさと・美郷」 協働プロジェクト

③ 美(び)の暮らし
魅力ある
定住の郷づくり

④ 美(び)と健康
安心の郷づくり

新町建設計画 基本理念

水と緑 いきいき輝く
夢あふれる協働のまち

財政計画

地域コミュニティ計画

政策評価による目標管理

住民・行政の役割分担

③ 重点施策の方針

1 重点施策の考え方

重点施策の特徴

重点施策とは、本町の将来像の実現をめざして、重点的に進める取り組みです。本計画における重点施策の特徴は以下のとおりです。

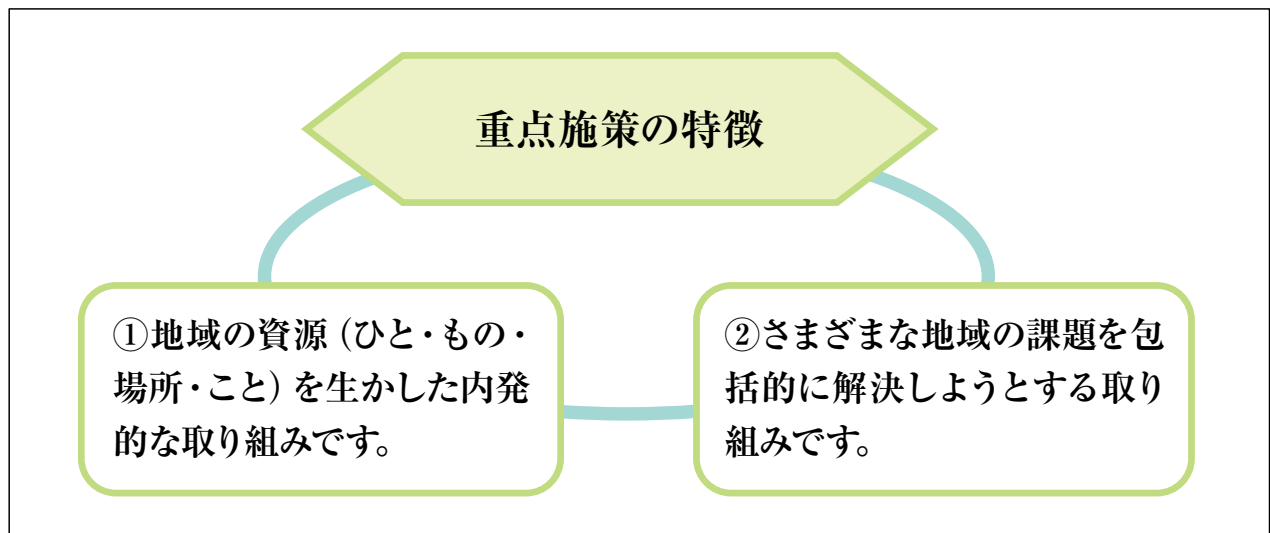
①地域の資源（ひと・もの・場所・こと）を生かした内発的な取り組み

地域外からの動きに頼る取り組みでなく、地域の自然、歴史文化、人材などの特性や資源を生かした取り組みです。

②さまざまな地域の課題を包括的に解決しようとする取り組み

特定の課題に対する個別的な対策でなく、さまざまな分野を組み合わせることで相乗的な効果の創出を図り、複数の課題に対して包括的、複合的な解決を図ることをめざす取り組みです。

〔重点施策の特徴〕



■重点施策の展開

将来像を実現するため、効果的な重点施策の展開を図ります。

[重点施策の展開イメージ]

1

美郷の資源のもつ可能性を検討します。

地域資源を再評価し、資源ネットワークの可能性を検討します。

2

資源を生かして地域を元気にする取り組みを検討します。

地域資源を生かし、その価値を高める方向性を明らかにします。

3

資源を生かした地域づくりを進めます。

各地域固有の資源や人材を生かし、地域づくりに取り組みます。

4

町全体で相乗効果を生み出す仕組みをつくります。

町全体で相乗効果を生み出すため、「産業振興と雇用」「住民生活の向上」をテーマとする仕組みをつくります。

■重点施策を推進する主役

重点施策は、地域に根ざした取り組みであり、検討や推進にあたっては、地域の総合力を結集して取り組むことが望まれます。

そこで、住民・地域・各種団体・民間企業・行政がそれぞれの役割を分担・協働することで、最小コストで最大効果を生み出すことをめざします。

2 重点施策の基本方針

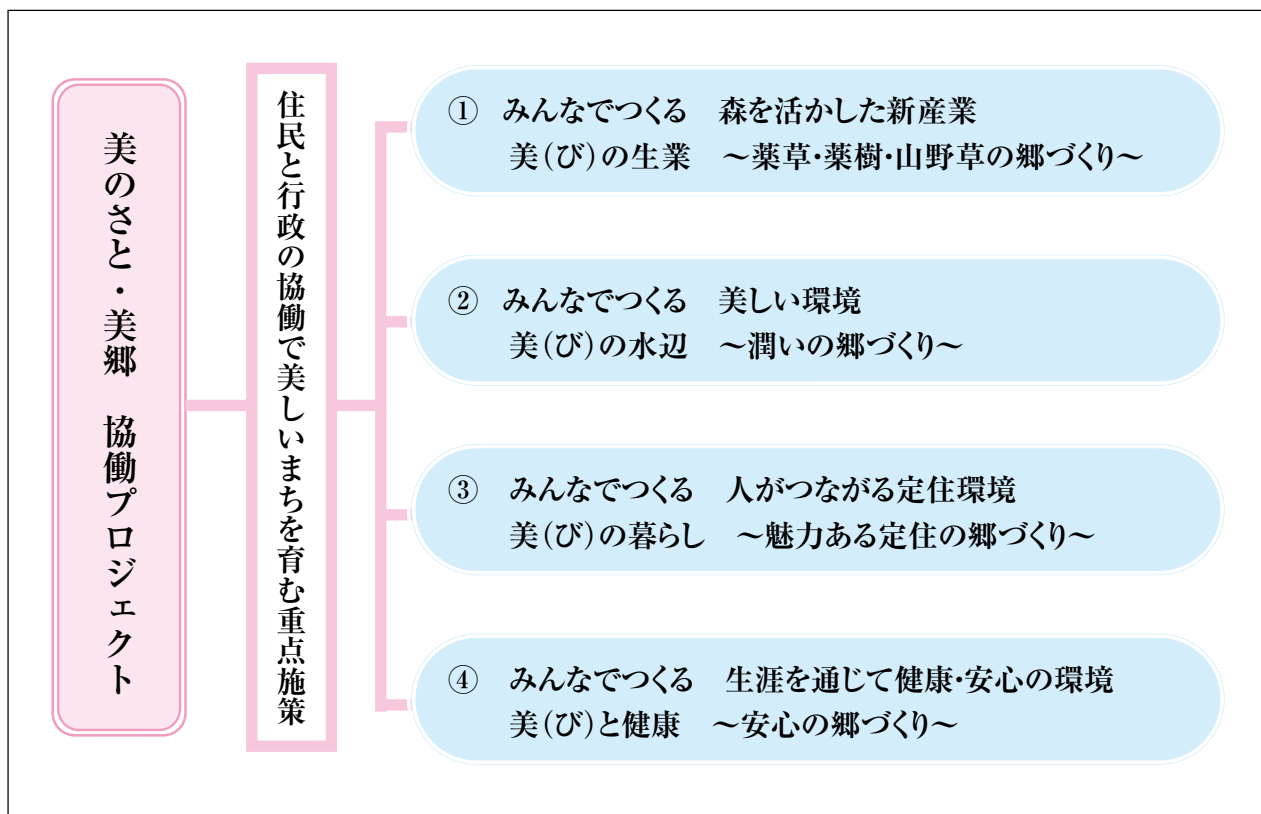
重点施策のテーマ

『みんなで磨こう！美郷らしさ』

重点施策のテーマは、『みんなで磨こう！美郷らしさ』とします。これは、住民や美郷を愛する人々が、「美郷らしい」と感じ、大切にしていきたいと考える『地域資源』『地域イメージ』『美郷の暮らしぶり』を素材に、磨きをかける取り組みを進めることで、A「美のさと・美郷 協働プロジェクト」と、B「重点分野プロジェクト」により、効果的な地域課題の解決を図ろうとするものです。

A. 「美のさと・美郷協働プロジェクト」

住民がまちづくりの主役となり、行政とともに、考え、行動できる重点施策として、住民によるまちづくりワークショップにおける提言に基づき、「美のさと・美郷」協働プロジェクトを設定します。



①

みんなでつくる 森を活かした新産業 美(び)の生業 ～薬草・薬樹・山野草の郷づくり～

森林資源に恵まれた本町の特性を活かした新しい地域産業づくりを進めます。森林資源のひとつで、本町の山野に豊富に存在する、さまざまな薬草・薬樹を資源としてとらえ、交流拠点となる薬草の森づくり田舎ツーリズム事業とのネットワーク化、健康や美容の視点から、機能性に優れた商品開発に取り組みます。

その上で、環境保全性や健康志向の高い、壮年世代、高齢世代に対する需要創造をめざした事業開発をめざします。

重点
施策

① 美(び)の生業 ～薬草・薬樹・山野草の郷づくり～

単位
施策

①-1. 食プロジェクト

①-2. 販売プロジェクト

①-3. 学びプロジェクト

①-4. 体験プロジェクト

①-5. 健康プロジェクト



恵まれた森林資源

②

みんなで作る 美しい環境 美(び)の水辺 ～潤いの郷づくり～

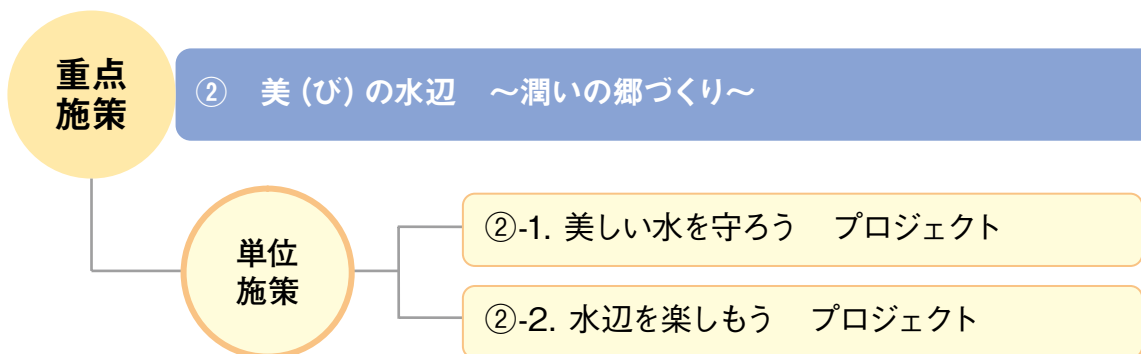
中国地方随一の大河・江の川など、美しい水辺環境に恵まれた本町の特性を活かした水辺環境づくりを進めます。

このプロジェクトは、保全と活用の両面から構成します。

保全のテーマを「美しい水を守ろう」とし、河川環境の浄化に取り組むとともに、循環型社会をめざした、計画的な下水道（公共下水道・集落排水・合併浄化槽）の整備の推進と接続の促進を図ります。

活用のテーマは、「水辺を楽しもう」とし、「見る＝美しい水辺の風景の発見」「遊ぶ＝子どもたちが楽しめる水辺の教室の開講」「憩う＝のんびりできる水辺の空間づくり」を基本に、「水辺のみどころマップ」の作成など、さまざまな水辺の表情を生かした身近な暮らしの環境づくりを進めます。

■取り組みの体系



親水公園

③

みんなでつくる 人がつながる定住環境 美(び)の暮らし ～魅力ある定住の郷づくり～

地域の伝統や住民相互のつながりなど、本町の住民生活や地域のつながりの強さを活かした、美郷らしさを大切にした定住環境づくりを進めます。

子どもたちが、元気で心豊かに成長していくことのできる環境を守る上で、本町の自然環境や地域住民相互のつながり、固有の伝統文化などは、重要な資源となるものです。そこで、町内の自然や歴史文化、地域のつながりを活かし、心身ともに健康な子どもたちの成長を支援する指針となる「すくすく！げんきっずプログラム」の立案、推進を図ります。

また、住民自治の取り組みを進める上から、人材育成・リーダー育成に取り組むほか、結婚対策の充実を図ります。

加えて、田舎暮らしコーディネーター制度のいっそうの充実を図り、来訪機会の拡充によるUJI ターンの促進に努めることとします。

■取り組みの体系

重点
施策

③ 美(び)の暮らし ～魅力ある定住の郷づくり～

単位
施策

③-1. 定住の魅力向上 プロジェクト



楽打ち

④

みんなでつくる 生涯を通じて健康・安心の環境 美(び)と健康 ～安心の郷づくり～

その土地で収穫された作物を、その土地に合った調理法で食べることは、そこで暮らす人の健康を守り、環境にやさしい食の流通を実現するものです。

本町では、これまでに大和地域において、生産組合による学校給食への地産食材の提供などを行ってきました。この取り組みをモデルとして、JA 等関係機関と協力して全町的な展開を図るとともに、各種交流施設等や家庭における地産地消を促進していきます。

また、町をあげて食育を推進する上から、その指針となる食育推進計画を策定するほか、高齢者をはじめ、さまざまな世代と子どもたちが、美郷で取れた旬の食材を用いて料理体験や食の世代間交流に参加できる機会を拡充することで、食を通じた生涯学習、健康づくりを推進します。

食育、健康づくり、世代間交流などの住民活動を支えるためには、地域の人材育成が重要になります。地域リーダーやボランティアの育成と組織化を進めるとともに、住民活動の拠点となる公民館機能の充実を図ります。

いわゆる団塊の世代が定年を迎える 2007 年以降は、これまで以上に社会参加意識の高い高齢者が増加するといわれています。地域の名人の掘り起こしや、活躍できる場・機会の拡充、生涯学習プログラムの作成など、地域の人材活用による美郷らしい生涯現役社会づくりに取り組みます。

子どもから高齢者まで、さまざまな形での社会参加を促し、住民誰もが生きがいを持って、健康に暮らすことのできるコミュニティづくりを進めます。

■取り組みの体系

重点
施策

④ 美(び)と健康 ～安心の郷づくり～

単位
施策

④-1. 健やかに暮らそう プロジェクト

④-2. 生き生きと暮らそう プロジェクト



大和小学校の地産地消給食

B. 「重点分野プロジェクト」

新町建設計画における重点施策の枠組みを踏まえ、選択と集中による効果的なまちづくりを進める観点から、特に改善が求められる取り組みについて、優先的な展開を図る、「重点分野プロジェクト」を設定します。

① 【生活基盤】 利便性の高い快適な暮らしを実感できるまち

■ 利便性の高い道路網の整備

○ 道路ネットワークの整備

町内各地域を結ぶ道路網として、川本町～邑智間の主要地方道川本波多線改良工事の早期完成や、邑智～大和間の国道 375 号道路改良及び川本町～大和間の道路の整備促進を県に要望し、町内を安全・快適に結ぶ道路ネットワークの構築をめざします。

○ 30 分都市連携軸の充実

町内各地域の中心部と近隣の大田市、三次市等を約 30 分で結ぶ道路の改良整備によって、30 分都市連携軸の充実を図ります。そして、これらの都市との連携を強化し、医療等の機能補完や観光・レクリエーションなどにおける交流人口の拡大を図ります。

○ 集落における生活道路の充実

集落における生活道路の舗装や改良をすすめるとともに、住民活動と連携した環境美化活動の推進など、行政と住民の協働による道路の維持・管理の推進を図ります。

■ 暮らしを支える公共交通網の充実

○ 公共交通の利便性の向上

バス路線や便数の充実を図るとともに、JR 三江線との連携を強化し、通勤・通学、通院・見舞い、買い物など、住民生活に密着した公共交通としての利便性の向上を図ります。

○ コミュニティバスの運行

本町におけるバス路線の有機的な連携を図るため、スクールバス等の保有車両を有効に活用して集落間を結ぶコミュニティバスを運行します。

■自然環境と共生する安全な生活環境の整備

○江の川流域の治水・治山及び土砂災害対策の推進

これまでの水害や集中豪雨にともなう災害等の経験に立ち、住民の生命と財産を守ると同時に地域の豊かな自然を守っていくため、災害防止と環境保全の両面から江の川流域の治水・治山及び土砂災害対策の推進を図ります。

○水質保全の推進

この地域の自然を代表する存在であり、町民共通のシンボルでもある江の川の水質保全を図るため、公共下水や農業集落排水・合併浄化槽など下水道施設の整備を進め、江の川の水質浄化に取り組めます。

○クリーンエネルギーの導入促進

森林や農地、河川など恵まれた自然環境を守り、今後も引き続き活用していくために、木質バイオマスエネルギーや太陽エネルギーといったクリーンエネルギーの導入促進を図り、環境保全と循環型システムづくりを推進します。



作木・大和道路開通式

健康で安全な農林水産物の生産とブランド化の推進

○健康の食ブランドづくり

食における健康や安全への関心の高まりに対応し、江の川流域で生産される農林水産物やマタタビ・霊芝等を原料とした機能性食品として特産品開発を進めるとともに、江の川を活かした地域イメージの形成によって健康や安全への関心が高い都市消費者をターゲットとした健康の食ブランドづくりを推進します。

○集落営農組織・農業法人の育成

農地の保全と農業の生産振興を図るため、集落単位や複数の集落の連携による取り組みを推進し、集落営農組織の育成を図ります。また、農業経営に取り組む農業法人の育成を図ります。

○中山間地域における農業分野への構造改革特区の導入

農業における担い手不足や収益性の悪化を克服し、一層の農業振興を図るため、既に始まっている建設業等の農業参入による担い手の確保や、グリーンツーリズムによる農家の副収入の確保など、農業に関連する事業への参入や事業を展開する上での規制や条件を緩和する、中山間地域における農業分野への構造改革特区の導入を検討します。

豊富な森林を活かした循環型産業の開発

○木質バイオマスエネルギーの導入促進

豊富な森林資源の有効活用に向けて、研究機関等との連携によって木質バイオマスに関する調査・研究開発を推進し、循環型のクリーンエネルギーとして木質バイオマスエネルギーの導入促進を図ります。

○江の川森林認証制度の導入

森林の保全と利用との両立を図り、木材利用をはじめ環境保全や体験交流等の森林に対する多様なニーズに永続的に対応していくために、流域住民や都市住民が参画した持続可能な江の川の森づくりを促進し、このような森を認証する仕組みを創設することにより、江の川ブランドを活かした森林経営に取り組んでいきます。

○森林空間を活かしたグリーンツーリズムの推進

森林や林業に対する理解促進と森林文化の情報発信に向けて、都市住民や子どもを対象とした炭焼きや間伐等の体験事業のほか、森林浴や自然観察会、自然体験学習など、森林空間を活かした多様な体験学習講座の開設によるグリーンツーリズムを推進します。

■地域の特性を活かした新しい産業の創出

○伝統技術や手工芸等を活かしたビジネスの起業

農業や林業における生産技術や加工技術、また木彫りや竹細工など、地域に根ざした伝統技術や手工芸等を活かしたビジネスの起業を支援します。

○田舎の暮らしを活かしたビジネスの起業

自然環境や農地を活かした体験事業の受け入れなど、自然環境や人とのふれあいといった田舎の暮らしを活かしたビジネスの起業を支援します。

○江の川のカヌー等を活かしたビジネスの起業

都市農村交流を中心として、カヌー愛好者、自然や環境に興味をもつ人等を対象としながら、江の川のカヌー等を活かしたビジネスの起業を支援します。

○ICTや芸術文化を活かしたSOHOビジネスの起業

町内におけるICTの専門的知識・技術を活かした活動や芸術文化の創作活動など、ICTや芸術文化を活かしたSOHOビジネスの起業を支援します。

■にぎわいのある商業の振興

○にぎわいのある商店街づくり

生活利便性の向上とともに、町の顔として地域の活力を生み出すにぎわいの場を創出するため、中心市街地の形成等によってにぎわいのある商店街づくりを促進します。

○利用しやすい商業サービスの促進

今後も少子高齢化が一層進むことから、高齢者やその家族、子育て中の家庭等の利用に配慮した店舗のバリアフリー化や宅配サービス、注文販売、移動販売、またICTを活用した生活支援サービスなど、高齢者等が利用しやすい商業サービスの提供を促進します。

■地域個性を活かした教育の推進

○個性豊かな教育カリキュラムの導入

小中学校における地域の特性を活かした環境教育や福祉教育、国際化やICTへの対応などを取り入れた個性豊かな教育カリキュラムの導入を促進します。

○地域一貫教育体制の構築

保育所、小・中学校の相互連携により、授業や校外活動、年間行事等における相互の交流や体験学習等の充実を図り、地域一貫教育体制の構築を推進します。

■地域個性を活かした教育の推進

○エコツーリズムの推進

森林、農地、河川など自然や農村景観、地域に根ざした生活文化や伝統文化などを題材として、地域全体をフィールドとして地域の人材や活動の連携のもとで取り組む江の川の自然や文化を学び楽しむエコツーリズムを推進します。

○伝統文化・芸能ツーリズムの推進

脈々と受け継がれている神楽やシャギリ、楽打ち、地芝居などの郷土芸能、火振漁やヤナ漁などの川漁文化、これらの地域に根ざした固有の文化を核にした、伝統文化・芸能のツーリズムを推進します。

○シニアツーリズムの推進

田舎暮らしの知恵や環境に調和した暮らしの仕組み、また郷土に伝わる加工技術や伝統工芸の技術など、高齢者の知恵や技術、経験等を交流活動や体験学習など、実際の活動を通じて高齢者から学ぶシニアツーリズムを推進します。

○交流活動を促進する人材の育成

交流活動を高齢者や若者の能力発揮や女性グループの活躍の機会、また地域におけるビジネスチャンスとして位置付け、交流活動の受け入れや指導、活動の充実等に参画し、交流活動を促進する人材の育成を図ります。

■生涯学習の推進による人材育成

○生涯学習環境の充実と地域リーダーの育成

地域住民一人ひとりの自己実現や身近な地域課題の解決を目指す主体的な取り組みのための場づくりとまちづくりに主体的に参画する人づくりを進めるため、公民館等の生涯学習環境の充実と地域リーダーの育成を図ります。

○専門的な知識・技術をもつ人材育成

情報通信環境や充実した文化施設等を有効に活用して、IT講習会や専門的な知識・技術習得の機会、また芸術鑑賞や伝統芸能の伝承機会等の充実を図り、ICTや文化芸術等に対応できる人材育成を図ります。



長寿大学

■総合的な地域医療ネットワークの充実

○救急、高度医療への対応強化

江津邑智消防組合に対し、救急救命士や高性能救急自動車の配置等による搬送体制の充実を要望するとともに、道路整備の促進によって、近隣都市の医療機関等との連携による救急医療や高度医療への対応の強化を図ります。

○地域医療サービスの充実

地域における医師会・保健所・福祉施設等の連携や連絡調整機能の充実によって、疾病の予防・早期発見・早期治療への取り組みや専門的な相談・指導の実施など、地域に密着した医療サービスの充実を図ります。

■高齢者ニーズに対応した福祉サービスの充実

○在宅福祉・介護サービスの充実

高齢化が一層進行する中、高齢者が地域や家庭の一員として、個人の健康状態や身体能力にあわせて地域社会への参画を促し、自立した家庭生活ができるよう、在宅での福祉・介護サービスの充実を図ります。

○連携による福祉サービスの提供

地域の実情や利用者ニーズに沿った多様な福祉サービスや質の高いサービスの提供が図られるよう、事業者、ボランティア団体やNPO、社会福祉協議会、行政等が連携して福祉サービスの提供を図ります。

■子育てがしやすい少子化対策の充実

○三世代がふれあう地域子育て支援拠点の開設

公民館等の既存施設を地域の実情に沿った子育てサービスの提供や子育て支援活動の場として利用することによって、三世代がふれあう地域子育て拠点の開設を推進します。

○田舎らしさを活かした子育て環境の充実

本町独自の子育て支援施策として、第1子・2子等が18才未満の場合の第3子以降の保育料の無料化、並びに子育て環境の充実を図り少子化対策に取り組めます。

また、森林や農地、河川等を活かした公園・遊び場の充実・伝統芸能や昔の生活文化・遊びを体験できる場づくりなど、自然環境や三世代のふれあいなど田舎らしさを活かした子育て環境の充実を図ります。



療育音楽

■コミュニティの支援体制の強化

○コミュニティ総合支援拠点の充実

身近な行政サービス窓口であり、地域に密着した公民館活動やコミュニティにおける住民自治活動を支援する「地域交流センター」の機能充実を図ります。

○行政職員の地域担当制の充実

「地域交流センター」に配置している職員により、行政サービスの提供や公民館活動を積極的に推進します。また、専任の担当職員を配置する地域担当制による住民活動支援の一層の充実を図ります。

■コミュニティの活性化

○新たなコミュニティエリアの創設

地域交流センターや公民館・集会所施設を拠点とした多様な集落機能を相互補完し合い、人口の減少や高齢化にともなう地域の課題への対応や、地域の拠点施設を中心とした住民自治活動を展開する新たなコミュニティエリアの創設を推進します。

○集落における地域リーダーの育成

住民自治活動の推進や住民と行政との協働の取り組みを一層推進するために、各種の取り組み事例の情報提供や研修会・人材交流等を推進し、集落における地域リーダーの育成を図ります。



君谷交流センター

■定住対策の充実

○定住促進のための体制の充実

U・J・Iターンに関する相談や地域情報・雇用情報・住宅情報等の幅広い情報提供に積極的に取り組んでいくため、田舎暮らしコーディネーターの配置をはじめとする相談窓口の充実と関係機関との広域的な連携によって、定住促進のための体制充実を図ります。

○定住対策の総合的な推進

行政担当課や関係機関等の円滑な連携のもと、定住する上で必要となる住宅・雇用・教育・コミュニティなどの相談や情報提供に総合的に対応するとともに、生活環境の整備や職場環境づくり、また地域への受け入れや交流の場づくりなど、町全体の取り組みとしての定住対策を推進します。

⑥ 【住民自治】 連帯の絆で支え合うコミュニティのまち（行財政）

■新しい行政システムの構築

○支所機能の充実

大和事務所、地域交流センターによって、より身近なコミュニティにおける窓口サービスの提供、地域振興の充実を図ります。

○横断的行政システムへの取り組み

行政組織内における意思決定の迅速化や事業運営の柔軟化、職員の意識改革と自立的・創造的な業務遂行を目指して、横断的行政システムを検討します。

■効率的な行財政運営の推進

○行政評価システムの導入

効率的な事業運営と行政の説明責任の確立に向けて、事業効果や目標達成度を客観的に評価する事務事業、施策評価等の行政評価システムの導入を図ります。

○財政シミュレーションに基づく財政運営

限られた財源を有効に活用するために効率的で有効な事業実施を図り、財政の健全化を促進するために、財政計画及び事業計画を策定して財政シミュレーションに基づく財政運営に取り組みます。

4 分野別施策の方針

1 生活基盤	利便性の高い快適な暮らしを実感できるまち
<ul style="list-style-type: none">(1) 道路交通網の整備(2) 土地利用と市街地の整備(3) 生活環境の整備(4) 情報・通信の整備(5) 環境衛生の充実(6) 消防・防災・防犯の強化(7) 自然環境の保全と活用	
2 産業 雇用	人と地域の個性を活かした産業を創出するまち
<ul style="list-style-type: none">(1) 地域産業の活性化と新産業の創出(2) 農林水産畜産業の振興(3) 商業・工業の振興(4) 観光・レクリエーションの振興	
3 教育 交流	人が輝き交流が生まれる学びのまち
<ul style="list-style-type: none">(1) 生涯学習の推進(2) 学校教育の充実(3) 文化・スポーツの充実(4) 国際化の推進(5) 地域内、地域間交流の促進(6) 男女共同参画社会の推進	
4 健康 福祉	生涯を通じて健康で安心できるまち
<ul style="list-style-type: none">(1) 保健・医療の充実(2) 社会福祉の充実(3) 高齢者福祉の充実(4) 障害者（児）福祉の充実(5) 児童福祉の充実(6) 母子・父子世帯福祉の充実(7) 生活困窮者福祉の充実	
5 住民自治	連帯の絆で支え合うコミュニティのまち
<ul style="list-style-type: none">(1) 効率的な行政運営の推進(2) 財政基盤の強化	

1 生活基盤 利便性の高い快適な暮らしを実感できるまち

- (1) 道路交通網の整備
- (2) 土地利用と市街地の整備
- (3) 生活環境の整備
- (4) 情報・通信の整備
- (5) 環境衛生の充実
- (6) 消防・防災・防犯の強化
- (7) 自然環境の保全と活用

【現状と課題】

全国的に都市型生活様式が進む中で、生活環境への質的要求が高くなっています。本町への定住を促していくためにも、幹線道路をはじめとする道路網の整備、公共交通機関の利便性の向上、計画的な土地利用による市街地への都市機能の整備、上下水道や住宅などの生活基盤の整備、ICT社会に対応した情報基盤の整備と有効活用、消防・防災の充実による安全性の確保などにより、暮らしやすく快適な生活環境を創りだしていくことが求められています。

こうした快適で安全な生活環境の整備とともに、多様化する環境衛生問題に対応し、資源循環型の取り組みを進めていく必要があります。

また、21世紀が環境の世紀といわれるなか、人々の環境志向はますます高まっています。中国地方一の大河である江の川の中流域にあり、広葉樹も多く残された森林資源に恵まれた本町の自然は、その重要性がますます大きくなっているといえます。

こうした本町の状況から、自然との調和を図りながら利便性が高く快適に暮らしていける生活環境の整備に取り組み、持続可能な社会システムをつくっていくことが求められます。

【施策方針】

(1) 道路交通網の整備

道路整備は、町民の生活道路の確保、日用雑貨や地場産業のための物流輸送路、一日行動圏の拡大など住民の暮らしの様々な面で必要不可欠なものであり、大局的観点に立って計画的に整備していく必要があります。また、幹線道路の整備は、交流人口拡大にも重要なポイントとなります。

地域の資源、施設の機能分担を図り、均衡ある地域の発展を促進するため、国・県道を中心とした幹線道路網のネットワークの整備を促進します。町道などの生活道の整備や維持・補修についても計画的に実施します。

また、利便性ばかりでなく、子どもや高齢者・障害者など、全ての人々が安心して利用できる快適で安全な道路空間の形成を図ります。

公共交通については、JR三江線やバス路線、コミュニティバスの連携により、個々の集落を結ぶ循環型の地域公共交通体系の構築を図ります。

(2) 土地利用と市街地の整備

これまで市街地を中心に街路や下水道などの基盤施設の整備を進めていますが、非効率的な土地利用などの問題を有しています。

地域の自立と美しい町土の創造に向けた土地利用計画を定め、計画的な土地の有効利用を進めます。

そして、定住を促進していく上で欠かせない中心市街地への都市機能の集積と魅力ある都市空間の形成により、地域拠点における市街地の再構築を推進します。

また、水や自然が豊かな環境を活かし、住民も参画した景観づくりを進めます。

(3) 生活環境の整備

住民の快適な生活に欠かせない基本的な生活基盤として、上下水道の整備は欠かせないものとなっています。

また、緑地・公園などは、うるおいある生活空間を形成するとともに、災害時の緊急避難所としての役割も担っています。

こうした快適でうるおいある生活環境の整備に加え、定住を促すための受け皿として、また高齢者・障害者などのニーズに応えるため、公営住宅の充実を図ります。

(4) 情報・通信網の整備

これからの社会は情報通信技術を根幹としていることから、地理的な地域間格差を是正できる高度情報通信技術を活用した環境整備を促進し、地域からの情報受・発信を積極的に行うとともに、社会福祉や医療支援、文化振興、定住促進、交流機会の拡大、新産業の起業家支援など様々な分野への活用を促進します。

また、こうした情報基盤を活かすための情報教育の充実や指導者の育成を図ります。

(5) 環境衛生の充実

産業廃棄物の不法投棄防止やゴミの減量化が大きな課題となっているなか、廃棄物の適正処理を進める必要があります。

住民や事業者の環境保全に対する意識を高め、3R（廃棄物の減量・再使用・再利用の推進）を徹底することにより、ゴミの減量化や廃棄物ゼロを目指した資源再生に積極的に取り組み、省資源に向けた資源循環型のまちづくりを進めます。

(6) 消防・防災・防犯の強化

防災対策の強化については、計画的な治山・治水工事や防災設備の整備を進めるとともに、地域防災計画に基づく防災体制の確立、平時における防災意識の高揚、的確な防災情報の伝達や防災知識の普及などにより地域防災力の強化を図り、災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりを積極的に推進します。

消防体制については、常備消防と非常備消防の相互応援体制の構築が求められています。そのため、江津邑智消防組合の機能強化を促進するとともに、地域拠点として防災センターの整備を進め、消防施設の整備などとともに、消防体制の充実を図ります。

防犯については、全国的に犯罪の国際化、凶悪化が進み、治安の悪化が懸念されるため、警察・行政・地域の協働による安全・安心なまちづくりを進めます。

(7) 自然環境の保全と活用

近年、地球規模で様々な環境問題が発生し、自然環境保全への意識はますます高まっています。住民参画による積極的な自然環境の保全活動を支援するとともに、行政においても自然や環境への負荷の少ない建設工法の導入、下水道整備や合併浄化槽の導入促進による河川浄化、クリーンエネルギーの導入など、自然環境の保全に取り組みます。

また、本町の豊かな自然環境を活用するため、江の川の親水空間や森林空間を利用した自然体験、環境学習などの交流活動を進めるとともに、都市住民とも連携した森林や里山の多面的機能の保全、下水道や農業集落排水・合併処理浄化槽の普及による河川の水質浄化につとめます。



下水処理場

2 産業 雇用 人と地域の個性を活かした産業を創出するまち

- (1) 地域産業の活性化と新産業の創出
- (2) 農林水産畜産業の振興
- (3) 商業・工業の振興
- (4) 観光・レクリエーションの振興

【現状と課題】

少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少するなか、基幹産業である農業、林業、江の川における内水面漁業などの第一次産業は、担い手の高齢化や後継者不足が課題となり、生産額、就業者数とも減少傾向にあります。

また、町内産業最大の総生産額を占める建設業は、地域の主要な雇用の場となっていますが、国・地方自治体の財政悪化による公共事業の縮小傾向にともない、厳しい環境に置かれています。

製造業や商業も、厳しい地域間競争に直面し、活力が低下しつつあります。観光・レクリエーション産業も地域の雇用を支えるまでには至っていません。

こうした状況のなか、本町の産業活力を高めるためには、特定農業法人の設立、特産品づくり、江の川やカヌーをテーマとして確実に定着してきた都市農村交流活動といった、これまでの多様な取り組みによって蓄積されてきた、さまざまな技術、経験、人材、ネットワークの連携・活用により、地域の資源を地域の技術で開発する産業の創出を推進していく必要があります。

また、町の顔となるにぎわいの場を創り出すため、中心市街地における商業の活性化や新たな商業サービスの開発に取り組む必要があります。

このように、本町の産業政策においては、これまで培ってきた地域の人材や個性を活かした産業づくりと雇用の場の確保が重要な政策課題となっています。

【施策方針】

(1) 地域産業の活性化と新産業の創出

長引く不況や公共事業の縮小などにより、本町の産業は概ね停滞傾向にあり、この状況を打破するためには、地域に内在する産業の活性化と、新たな付加価値を有する産業の創出が求められています。そのため、新しい発想のできる人材育成と異業種間交流や連携による新規事業および新分野への進出等を支援し、本町が有する潜在的な力を引き出して地域における新産業の創出を進めます。

こうした新産業の創出は、既存の地域産業への波及効果をもたらし、地域全体の雇用力を高めることとなります。雇用を確保することは、生産年齢人口の定住を促し、地域の活力を生み出すことにもなります。

(2) 農林水産畜産業の振興

農林水産畜産業においては、消費者の健康志向・安全志向の高まりを捉え、生産過程が適切に管理された安全・安心な農林水産畜産物の生産、地域の独自性を活かした特産品の開発、産直ネットワークへの参加、観光との連携やグリーンツーリズムの展開など生産から加工・流通・サービスまでを包含した6次産業としての農林水産畜産業の振興を図ります。

また、そうした総合的な地域産業として振興を図る基盤となる生産基盤や生産体制の強化に取り組めます。

(3) 商業・工業の振興

商業・サービス業は住民生活への影響が大きく、特に交通弱者である高齢者や子どもにとって買物がしやすい近隣の商店は必要不可欠であり、高齢者福祉や定住促進の観点からも、商業機能の維持は本町における重要課題の一つであり、にぎわいある中心市街地の整備を進めるとともに、商店街の活性化や新しい商業サービスの開発を促進します。

工業については、建設業を主体とした産業構造から、地域資源を活用した製造業へ緩やかな構造転換を図ることが課題となります。異業種間交流や産官学連携による技術開発、商品開発を支援します。また、企業誘致については、ICTを活用する情報通信産業など、本町の立地条件に合った新分野の産業誘致に努めます。

(4) 観光・レクリエーションの振興

本町の豊かな自然環境や生活空間を活かした交流産業を育成し、通過型観光から滞在型観光への転換を進めるために、既存の観光施設の連携強化と魅力づくり、滞在ソフトの充実を図るとともに、来訪客と住民の交流の場を創出するグリーンツーリズムのより一層の推進や本町の最大の観光資源である自然環境と江の川を利用した都市住民との新たな交流事業の展開を推進します。

さらに、効果的なPR及び石見銀山・三瓶山といった集客力の高い近隣観光地との広域的な連携を進めます。



(有)有機の美郷の加工の様子

3 教育 交流 人が輝き交流が生まれる学びのまち

- (1) 生涯学習の推進
- (2) 学校教育の充実
- (3) 文化・スポーツの充実
- (4) 国際化の推進
- (5) 地域内、地域間交流の促進
- (6) 男女共同参画社会の推進

【現状と課題】

人間性豊かで、創造性に富んだ元気な子どもたちを育む教育環境づくりは、わが国や地域の未来を担う大切な人づくりの柱となるものであり、教育システムづくり、また、新しい時代にふさわしい学校づくりを目指した、戦後最大の教育改革が進められています。学校教育においては、少子化の進行を踏まえ、少人数授業のメリットを生かした教育プログラムの検討や、地域、住民に開かれた学校運営を進めていくことが求められます。

こうした状況を踏まえながら、これまで本町で取り組んできた特色と魅力ある学校づくりを活かした教育環境の充実に取り組む必要があります。

近年の余暇時間の増大や健康づくりへの関心の高まりは、生活水準の向上などによる長寿社会を背景に、生涯学習やスポーツ・レクリエーション活動への需要を高めています。いつでも、誰でも生涯学習やスポーツに取り組むことのできる環境づくり、生涯学習により習得した技能や知識を発揮できる機会づくりが求められています。

このほか、国際化への対応や人権の尊重、男女共同参画の推進も重要な政策課題となっています。

【施策方針】

(1) 生涯学習の推進

生涯学習や生涯スポーツは、地域のなかで自己実現を図るための重要な活動です。そこで、身近な場所で、気軽に、自由に生涯学習や生涯スポーツに取り組むことのできる環境づくりと、参加したくなるプログラムの開発を進め、誰もが意欲に応じて自主的に学ぶことができる多様な学習機会を提供します。

また、町内の社会教育施設の充実を図り、それらを拠点として、優れた指導者の育成・確保を進め、生涯学習の支援体制の充実を図ります。

近年、青少年による非行や重大な犯罪への関与、いじめによる不登校や学級崩壊などを要因とする、青少年問題が深刻な状況となっています。青少年の心の問題の相談・支援体制の充実を図るとともに、地域における教育や社会活動を通じて、青少年の健全育成を図ります。

また、人権・同和問題の解決に向け、人権尊重の啓発や人権・同和問題についての学習機会を設け、人権を尊重する人づくりを推進します。

(2) 学校教育の充実

少子化が進展する一方で、核家族化・高学歴化・女性の社会進出などにより、教育に対する需要も多様化・高度化する傾向にあります。

幼児教育・小中学校の連携、家庭・学校・地域の連携を強化し、地域における一貫した教育体制の充実を図るとともに、学校施設の整備や通学の安全性の確保、安全な学校給食の充実など、教育環境の向上を図ります。

教育内容においては、ふるさと学習、カヌー、芸術、環境、IT など特色ある教育を推進します。

また、山村留学やふるさと留学などによる都市に住む子どもたちの受け入れ、外国との交流による国際理解の促進など、経験を通じて幅広い知識と生きる力を身につけた人材の育成を図ります。

(3) 文化・スポーツの充実

歴史的文化遺産や郷土芸能などを後世に正しく伝えていくため、学術的調査や記録保存を行うとともに、高齢者の知恵や技術、経験等に学ぶ体験学習や交流活動、また江の川の自然や生活文化を学び楽しむエコツーリズムなどを通じて、地域文化の幅広い後継者の育成に努めます。

また、優れた芸術・芸能を通じて、豊かな感性を醸成できる積極的な施策の展開を図り、優れた地域文化の創造につなげます。

スポーツ活動についても、住民が生涯にわたって自分の能力や体力にあった多様なスポーツを気軽に楽しめるように、総合型地域スポーツクラブの設立・運営を支援し、スポーツ施設の整備、指導者の養成、情報の提供などを進めます。

(4) 国際化の推進

グローバル化の進展により、「地球規模で考え、地域で行動する」という考え方が重要になっています。こうした新しい時代に相応しいまちづくりをめざすため、教育をはじめ様々な分野における多彩な国際交流活動を推進し、国際感覚を持つ人材を育成します。

(5) 地域内、地域間交流の促進

次世代育成の環境づくりにおいては、地域内外での交流機会の創出と参加の促進に努めることが重要です。

そのため、コミュニティ組織の充実とコミュニティ活動の促進、地域リーダーの育成により、地域内交流を促進するとともに、都市農村交流をはじめ広域交流の機会の拡充を支援し、地域外との交流を促進します。

(6) 男女共同参画社会の推進

女性の高学歴化や晩婚化、仕事に対する意識など、女性のライフスタイルにおける価値観は大きく変化しています。

地域社会における女性の地位の向上を図るとともに、男女が性別にとらわれずに社会の対等な構成員として、あらゆる活動に共同で参画できる社会の構築を推進します。



地域リーダー養成講座「元気塾」

4 健康 福祉 生涯を通じて健康で安心できるまち

- (1) 保健・医療の充実
- (2) 社会福祉の充実
- (3) 高齢者福祉の充実
- (4) 障害者（児）福祉の充実
- (5) 児童福祉の充実
- (6) 母子・父子世帯福祉の充実
- (7) 生活困窮者福祉の充実

【現状と課題】

国民生活が豊かになる反面、核家族化の進展、中高年層を中心に生活習慣病や心の病が増加しています。こうした、生活習慣や環境の変化が急速に進む中で、一人ひとりが自分の健康は自分自身で守る意識を高め、住み慣れた地域で安心していつまでも健康に暮らせることが求められます。

また、少子・高齢化の中で、高齢者の閉じこもり、子育ての孤立化、児童虐待の増加、ひきこもりなどが新しい社会問題となっています。

医療についても、診療科目が限定されることや公共交通機関の利便性などの問題から、町外の医療機関に依存する部分が多いのが現状です。

本町の平成16年10月現在の高齢化率は40%を超え、全国平均を大きく上回り、急速に高齢化が進行しています。このまま少子・高齢化が進むと、地域活力に大きな影響を与えることが懸念されます。

こうした現状から、地域福祉、医療、子育てや教育、就業環境など多様な分野を横断的につなぐ取り組みを進めることで、子育て環境と地域福祉環境、医療環境などが相乗的に向上できる、保健・医療・福祉の連携システムが求められています。

【施策方針】

(1) 保健・医療の充実

超高齢社会の到来の中で、住民の誰もが生涯を通じて心身ともに健康で生きがいのある生活を送れるように「自分の健康は自分で守る」という健康づくりの基本原則に対する意識を持ち、地域ぐるみの健康づくり活動を促進・支援します。

住民が生涯を通じて安心して生活を送れるように、近隣医療機関との連携強化による医療体制の整備・充実を図ります。また、緊急医療体制の充実のため、休日夜間救急医療体制の充実や救急救命士の配置など搬送体制の充実を進めます。

(2) 社会福祉の充実

年齢や性別あるいは障害等に関係なく、全ての人々が普通に暮らし、ともに生きていくことができる社会こそ普通の社会である、というノーマライゼーションの理念を普及啓発するとともに、具体的な道路や公共施設のバリアフリー化、高齢者や障害者の社会参画の促進などに取り組みます。

また、高齢化や核家族化などの進行により、地域が一体となった福祉体制の充実が求められています。社会福祉協議会など関係機関と連携したボランティア活動のネットワーク化やボランティアに参加する人材の育成など、地域福祉活動の推進体制の充実を図ります。

(3) 高齢者福祉の充実

超高齢社会にあって、地域の高齢者が生きがいと誇りを持って暮らせるよう、これまでに培ってきた知識や技術などを活用することができる社会参加や自己実現の機会を提供できる環境づくりを進めます。

また、介護保険事業の適正な運営や生活支援サービスの充実を図り、高齢者が心身ともに健康で、住み慣れた町で安心して暮らすことのできる地域社会づくりを進めます。

(4) 障害者（児）福祉の充実

平成18年度に成立した障害者自立支援法を基本とし、障害者の社会参加の促進と自立を支援するため、健常者と障害者との交流の場の拡大、社会福祉施設の拡充、バリアフリーやユニバーサルデザインの導入、就労の場の確保などを推進します。

また、地域において身近な福祉サービスが提供できる体制の充実を図ります。

(5) 児童福祉の充実

定住の重要な条件でもある、安心して子育てのできる環境整備のために、延長保育や学童保育など保育サービスの充実を図るとともに、子育て支援組織のネットワークづくり、子育て支援センターの整備、職場における育児休業制度の普及など、地域や関係機関が一体となった子育て支援体制の整備を進めます。

(6) ひとり親世帯福祉の充実

ひとり親世帯が抱えている、就労と子育てが両立できる環境の充実や、さまざまな課題に適切かつ、きめ細やかに対応できる相談体制を整えるなど、関係機関と連携して、総合的な支援体制の整備を進めます。

(7) 生活困窮者福祉の充実

生活困窮者世帯の実態に即した、年金・医療・生活保護などの各種社会保障制度の活用を図るとともに、生活相談・指導体制を充実し、経済的自立への支援を推進します。



子育てグループほっとらんど

5 住民自治 連帯の絆で支え合うコミュニティのまち

- (1) 効率的な行政運営の推進
- (2) 財政基盤の強化

【現状と課題】

国・地方ともに厳しい財政運営を迫られている現在、国においては、地方交付税制度や国庫補助金の見直しを進めており、今後の自治体運営は、さらに厳しさを増すことが予測されます。

一方、地方分権の推進が求められるなか、効率性に優れ、投資効果の高い地域経営を進めるため、行政経営の発想に立った自治体改革が求められています。

本町では、合併時に一部分庁方式を導入し、住民の利便性の確保を図るなど、公共サービスの維持に努めてきました。しかし、財政制度をはじめとする自治体を取り巻く環境の変化は、予想を上回る速さで進行しています。今後は、財政状況と住民ニーズを十分勘案し、行政機能の見直しを含めた効率的な組織改革を進めることが求められます。

加えて、複雑化・多様化する地域課題の解決に取り組み、より住民の満足度を高めていくには、行政がサービスを提供し、住民が受益者となってきた従来の行政と住民の関係を、協働と補完の原則に基づき、住民と行政の協働の関係へと転換することが必要です。

このため、情報公開によるまちづくり情報の共有、目的志向・成果重視の行政づくり、住民が主体となって行うまちづくりへの支援、協働のまちづくりを確実に進めるための仕組みづくりが求められています。

【施策方針】

(1) 効率的な行政運営の推進

合併後も、地方分権時代における住民の様々な行政需要を的確に把握し、迅速で質の高い対応を行っていくため、行政運営の効率化・各部門の専門化・総合的な組織体制の機能整備・諸施策の複合化・統合化など、柔軟で能率的な行政運営の推進体制を確立していく必要があります。また、効率的な行政運営のためには、住民の要望や社会経済情勢に的確に対応できる職員養成に向けた計画的な教育・研修の実施、職員の適正配置、執務環境の改善、職場におけるコミュニケーションの徹底など、人事管理と教育面においてもさらなる充実が求められます。

そのため、効率的で有効性の高い新たな行政システムの構築を図ります。

また今後は、地方分権にともなう行政の住民への説明責任により、町政情報の共有化を図るとともに、住民の町政へのより積極的参加を促進し、町の将来像の実現に向けた協働によるまちづくりを進めます。

(2) 財政基盤の強化

厳しい財政運営が続くなか、最小コストで最大の効果を生み出すことで、住民満足を高める「行政経営」の視点に立った行財政運営が必要になっています。

本町のように自主財源の乏しい町では、これまで国・県の補助金や起債などに頼ってきましたが、今後ますます財政事情が厳しくなる事が予測されるため、住民の要望にできる限り応えながらも、事業の効率性や費用対効果などを的確に把握し、事業の優先順位に基づく効率的な財政運営により、財政基盤の強化を図ります。

5 将来人口

1 将来人口推計

本町の人口は、平成12年国勢調査の6,624人から10年後の平成22年には5,322人、15年後の平成27年には4,690人に減少すると予測されています。また、年少人口は平成22年に10.0%、平成27年に9.4%と予測され、老年人口は平成22年に42.0%、平成27年に45.7%と予測されています。

この人口減少予測は、全国的な少子化傾向が一つの要因でもありますが、本町のような中山間地域における構造的な少子高齢化の進行が大きな要因となっています。継続的な人口減少は、本町のまちづくりや住民生活にこれまで以上に大きな影響を及ぼすものと考えられます。

このため、本町では地域の資源や人材を活かした産業づくりを推進し、雇用機会の増加や所得の確保を進めることにより、若者を中心とする定住化に努めます。あわせて、地域イメージの向上を図り、交流や教育、福祉、文化、住宅、生活環境等の充実を進めることにより、UJIターナーの定住促進に取り組みます。

●将来人口と人口構成比の推計

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
総数(人)	7,211	6,624	5,981	5,322	4,690
0～14歳 割合	13.3%	11.9%	10.5%	10.0%	9.4%
15～64歳 割合	52.1%	49.0%	48.5%	48.0%	44.9%
65歳以上 割合	34.6%	39.0%	40.9%	42.0%	45.7%

国立社会保障・人口問題研究所

【推計方法】

同年(同期間)に出生した集団(コーホート)ごとに、時間変化を軸に人口の変化をとらえるコーホート要因法による。平成12年国勢調査(速報値)を基準人口とし、合計特殊出生率、生命表数値等の推計前提データが、2000年のまま推移した場合の予測。

2 就業人口の見通し

本町の平成 12 年の就業人口は 3,273 人で、近年の推移は減少傾向となっており、人口の高齢化にともなって総人口に占める生産年齢人口（15～64 歳）の割合が低下してきています。

そのため、地域産業の振興や雇用創出に取り組み、高齢者及び女性の社会参画や就業を推進すると同時に、若年層や UJI ターン者の定住促進を図り、就業人口を確保する必要があります。

●総人口と 15 歳以上就業人口の推移

単位：人

区 分	昭和 55 年	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年
総人口	8,838	8,372	7,606	7,211	6,624
15 歳以上就業人口	4,965	4,702	4,100	3,998	3,273
就業割合 (%)	56.2	56.2	53.9	55.4	49.4

資料：国勢調査

3 将来人口指標の設定

国勢調査に基づく将来人口の推計結果によれば、平成 27 年度における本町人口は、約 4,690 人にまで減少する見込みです。

しかし、本計画において掲げた将来像に基づき、重点施策を柱とする、戦略的な施策の推進により、定住環境の充実を図り、平成 27 年における目標人口を 5,000 人とします。

6 地域整備構想

1 地域整備の考え方

本町の各地域の社会的、経済的、自然的条件、防災等に十分配慮しながら、以下の基本方針に基づき、長期的展望に立った計画的な土地利用を進めます。

①地域の生活環境整備による一体的かつ均衡ある発展

通勤・通学・買い物・教育・生きがい・医療など、日常生活の環境整備を進めるとともに、町内の道路交通網や情報ネットワークの充実により、一体的かつ均衡ある発展を図ります。また、町内4箇所に設置した交流センターにより、行政サービスの提供や地域活動の充実を図ります。

②生活環境の利便性を高める近隣都市等の周辺地域との広域連携ネットワークの構築

道路・交通・情報等における近隣都市との広域連携ネットワークの構築を進め、救急医療や都市農村交流など、周辺地域との相互連携の強化によって、生活環境の利便性の向上を図ります。

③自然環境と調和したうるおいのある生活空間の創造

自然保護や環境保全への取り組みによって豊かな自然環境の保全を図り、自然と調和した利便性の高い生活環境の整備を進めます。そして、豊かな自然環境やうるおいのある生活空間など、地域特性を活かした交流の展開とUJIターン等の定住促進を図ります。

④防災に配慮した計画的な土地利用

これまでの水害や集中豪雨にともなう災害等の経験に立ち、治山・治水対策などの災害防止を進めるとともに、防災に配慮した計画的な土地利用を図り、住民の生命と財産を守る安全な生活環境の創出を図ります。

2 地域整備の方向性

本町のまちづくりにおいては、新町建設計画の方針を受け継ぎ、地域の特性やこれまで取り組んできたまちづくりの成果をふまえて地域別の整備方針を明らかにし、各地域の連携を図りながら、町の均衡ある発展を図るための効果的な地域整備を進めます。

○邑智地域

庁舎周辺における交通拠点の充実やにぎわいの場の創出によって都市的機能の充実や生活利便性の向上を図り、本町における行政拠点としての機能を高めます。また、ゴールデンユートピアおおちを高齢者から子どもまでの健康づくりや生涯学習の拠点として活用するとともに、カヌーの里や齋藤茂吉鴨山記念館、ふるさとおおち伝承館など活用し、自然や歴史文化などの地域資源を活かした交流や文化活動の拠点としての機能を高めます。



カヌーの里

○大和地域

循環型農業や森林資源の活用、また第3セクターを中心とした特産品開発や販売・サービスへの取り組みを推進し、本町の農業振興や特産品開発の拠点としての機能を高めます。また、福祉・医療の連携による地域ケアの充実と自然環境に調和した生活環境の整備によって、うるおいある住環境づくりを進めるとともに、豊かな自然や優れた景観などの地域資源を活かした交流活動の拠点としての機能を高めます。



特産品販売の拠点 グリーンロード375

3 土地利用のイメージ図

地域整備の考え方と地域整備の方向性にもとづき、道路ネットワーク・拠点・ゾーンを設定して有効な土地利用を進めます。

①道路ネットワーク

美郷町道路ネットワーク

本町の南北を結ぶ国道375号と東西を結ぶ主要地方道川本波多線、大規模林道や県道邑南飯南線を軸として、集落間を結ぶ道路や生活道路の整備を促進し、町内を安全・快適に移動できる道路ネットワークを形成します。

30分都市連携軸

本町と近隣都市（大田市・三次市）を30分で結び、救急医療体制や買物・通院など、暮らしにおける機能補完を強化する連携軸を構築します。

広域交流軸

本町と近隣自治体とを結び、同時に高規格幹線道路の中国縦貫自動車道や中国横断自動車道（浜田道及び松江道）及び県が推進する山陰道等のICへのアクセス道となる主要地方道川本波多線、県道邑南飯南線の早期改良を要望し、様々な分野における活用を図ります。

②拠点

本 庁

町の行政サービス拠点として、道路交通など都市的機能の充実やにぎわいの創出を図ります。

大和事務所

大和地区の窓口サービス提供および地域活性化拠点として、地域農業の活性化や特産振興を推進します。

農業活性化拠点

農業活性化ゾーンの拠点として、農業振興担当の職員による地域ブランド力を活かした特産品開発や循環型農業を推進します。

定住促進拠点

本計画における最重要政策課題である定住促進を図る拠点として、定住促進住宅の整備をはじめとする、定住環境の充実のための取り組みを推進します。

③ゾーン設定

□健康福祉ゾーン

病院、福祉施設などの連携強化によって、安心して暮らせる健康福祉の機能充実を図ります。

□農業活性化ゾーン

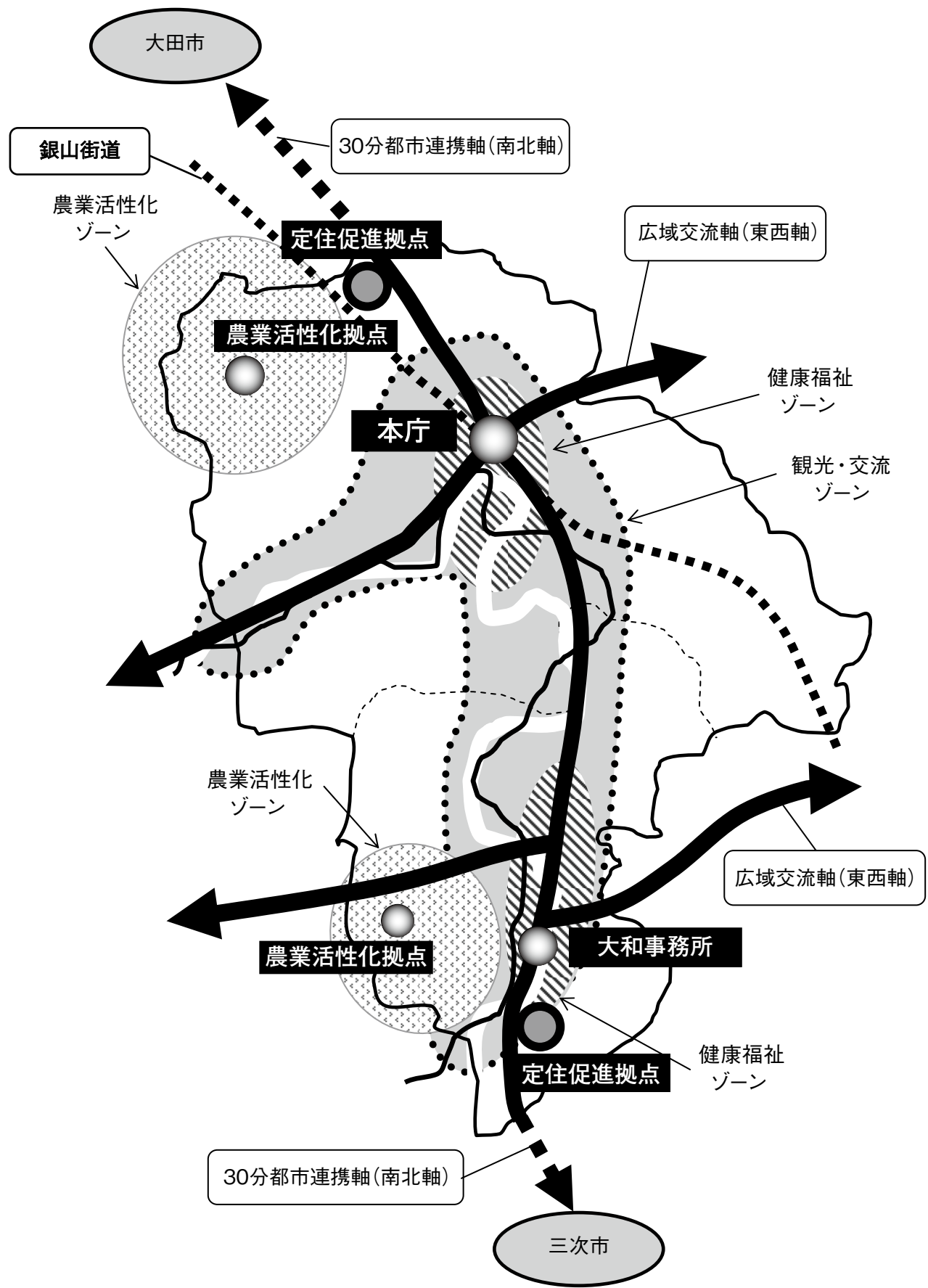
農業生産の振興にあわせて、農地や森林を活かした体験交流の推進を図り、農業をはじめとする地域産業の活性化を図ります。

□観光・交流ゾーン

自然環境や観光施設・温泉施設、郷土芸能や伝統文化等を活かした多彩な観光・交流を推進し、地域の情報発信や都市農村交流の促進を図ります。



別府トンネル



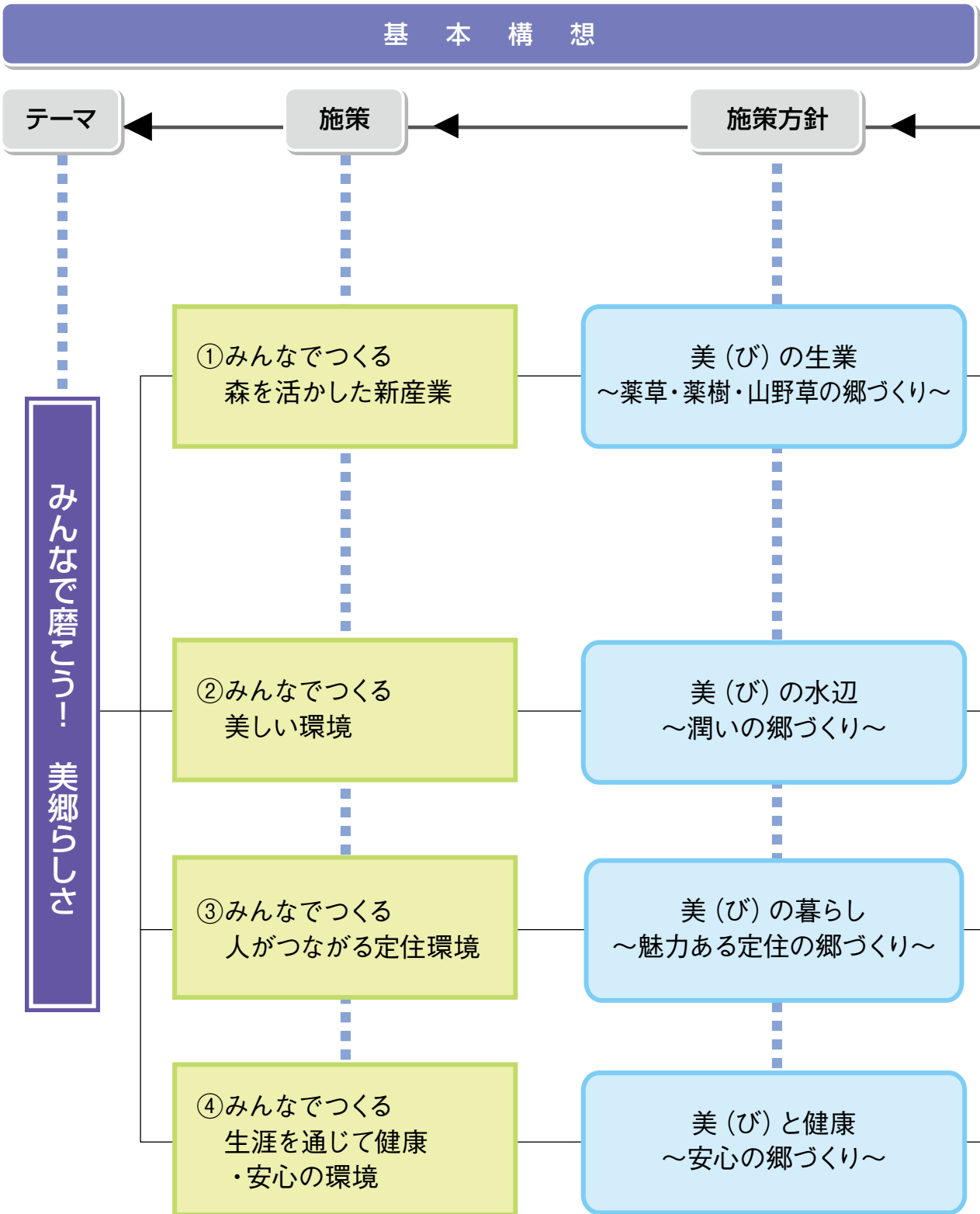
第3章

基本計画

1	重点施策の展開	74
2	基本施策の展開	84
3	地域コミュニティ計画	171

1 重点施策の展開

1 重点施策協働プロジェクトの基本計画体系図



基本計画

単位施策

主な事業

①-1. 食プロジェクト

①-1-1. 薬膳料理の開発・提供

①-2. 販売プロジェクト

①-2-1. 薬草・薬樹のガーデニング商品等開発・販売

①-3. 学びプロジェクト

①-3-1. 高齢者の知恵活用による薬草マップの作成

①-4. 体験プロジェクト

①-4-1. 森や野原での散策・発見・調理体験

①-5. 健康プロジェクト

①-5-1. 町内温泉施設への薬草湯の活用

②-1. 美しい水を守ろうプロジェクト

②-1-1. 美しい川を守る水質保全の取り組み
②-1-2. 計画的な下水道整備の推進・接続の促進

②-2. 水辺を楽しもうプロジェクト

②-2-1. 見る：水辺のみどころマップの作成 ②-2-2. 遊ぶ：子どもたちが楽しめる水辺の教室の開講 ②-2-3. 憩う：のんびりできる水辺の空間づくり

③-1. 定住の魅力向上プロジェクト

③-1-1. すくすく!げんきっずプログラム
③-1-2. 地域の人材育成・リーダー育成 ③-1-3. 結婚対策の充実
③-1-4. 田舎暮らしコーディネーター制度の充実によるUJIターンの促進

④-1. 健やかに暮らそうプロジェクト

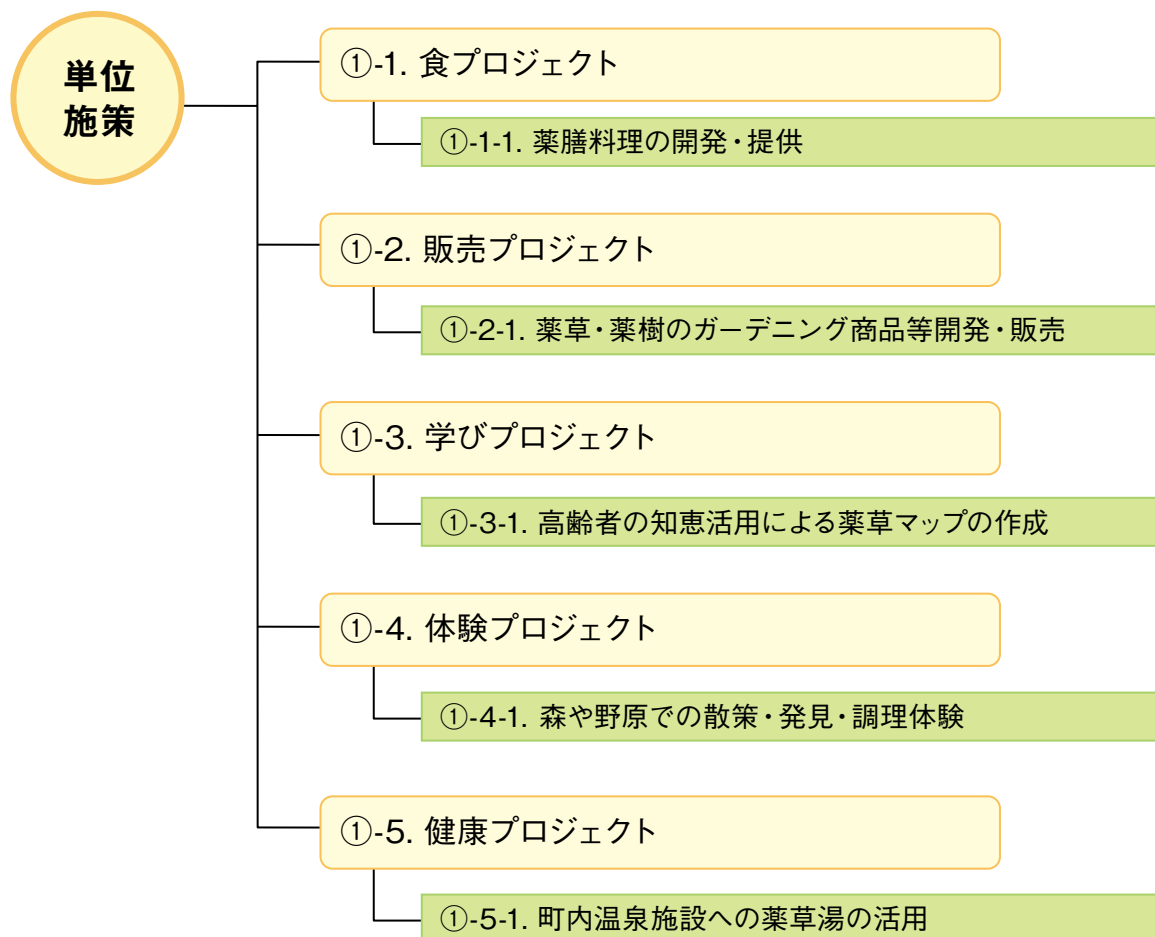
④-1-1. 食育推進計画による地産地消・食育の推進
④-1-2. 食を通じた世代間交流の拡充
④-1-3. 地域リーダー・ボランティアの育成と組織化

④-2. 生き生きと暮らそうプロジェクト

④-2-1. 美郷らしい生涯現役社会づくり
④-2-2. 地域の人材活用等による公民館活動の充実
④-2-3. 世代を通じた多様な社会参加の促進

2 協働プロジェクトの展開

① みんなでつくる 森を活かした新産業 美(び)の生業 ～薬草・薬樹・山野草の郷づくり～



〈単位施策の展開方針〉

①-1 食プロジェクト

- 薬草・薬樹をはじめ、山菜や地元の新鮮でおいしい食材を用いた薬膳料理を開発し、提供する機会をつくります。

【主な事業】

- ①-1-1. 薬膳料理の開発・提供

【役割分担のめやす】

役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

①-2 販売プロジェクト

- 薬草・薬樹・山野草を活用したガーデニング商品の企画・開発を行い、多様な販売ルートを生かし、小規模多品目の販売をめざします。

【主な事業】

- ①-2-1. 薬草・薬樹のガーデニング商品等開発・販売

【役割分担のめやす】

役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

①-3 学びプロジェクト

- 薬草・薬樹の分布状況や効能を知り、地域に伝承されてきた知恵を継承していくため、高齢者の知恵や情報を収集した薬草マップを作成します。

【主な事業】

- ①-3-1. 高齢者の知恵活用による薬草マップの作成

【役割分担のめやす】

役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	◎	○	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

①-4 体験プロジェクト

- 薬草・薬樹・山野草を森や里山を散策するなかで、発見する楽しみや、調理し、味わう楽しみを実感できる機会をつくれます。

【主な事業】

- ①-4-1. 森や野原での散策・発見・調理体験

【役割分担のめやす】

役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

①-5 健康プロジェクト

- 薬草・薬樹利用により、町内の各温泉施設等に「薬湯」の魅力を加え、温泉の魅力向上を図り、住民や宿泊者の健康づくりに活用します。

【主な事業】

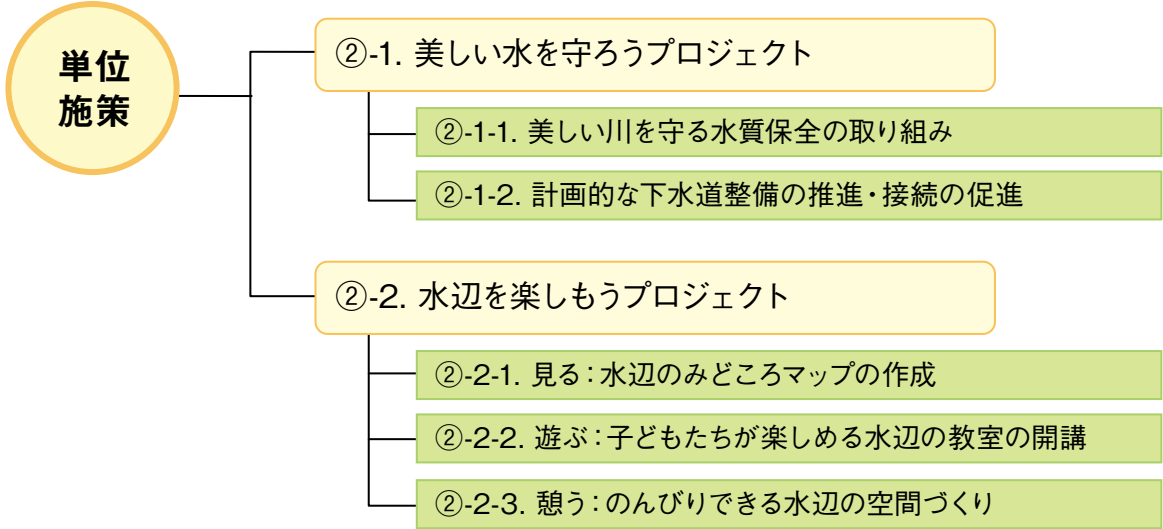
- ①-5-1. 町内温泉施設への薬草湯の活用

【役割分担のめやす】

役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○		○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

**② みんなでつくる 美しい環境
美(び)の水辺 ～潤いの郷づくり～**



〈単位施策の展開方針〉

②-1 美しい水を守ろうプロジェクト

- 美しい川を守るため、住民が率先して美化活動や啓発活動に取り組みます。
- 自然環境保全の目的から、住民活動として、各世帯の積極的な接続を促進する意識啓発等に取り組み、下水道整備の実効性を高めます。

【主な事業】

- ②-1-1. 美しい川を守る水質保全の取り組み
- ②-1-2. 計画的な下水道整備の推進・接続の促進

【役割分担のめやす】

役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

②-2 水辺を楽しもうプロジェクト

- 美しい水辺の風景を多くの人に楽しんでもらえるよう、水辺のみどころマップを作成し、水辺を楽しみ、愛する心を育てます。
- 水のまち、川のまち、美郷のすばらしさを子どもたちに体感してもらえるよう、水辺の教室を開講し、心身ともに健全な子どもたちの育成を促します。
- だれもが、のんびりと水辺で憩い、集うことのできる水辺の空間づくりを進め、住民間、地域間の交流の場とします。

【主な事業】

- ②-2-1. 見る：水辺のみどころマップの作成
- ②-2-2. 遊ぶ：子どもたちが楽しめる水辺の教室の開講
- ②-2-3. 憩う：のんびりできる水辺の空間づくり

【役割分担のめやす】

役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		○	○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

③ みんなでつくる 人がつながる定住環境
美(び)の暮らし ～魅力ある定住の郷づくり～

単位
施策

③-1. 定住の魅力向上プロジェクト

③-1-1. すくすく!げんきっずプログラム

③-1-2. 地域の人材育成・リーダー育成

③-1-3. 結婚対策の充実

③-1-4. 田舎暮らしコーディネーター制度の充実による
UJIターンの促進

〈単位施策の展開方針〉

③-1 定住の魅力向上プロジェクト

- 恵まれた自然環境を活用した、子どもの異年齢交流、世代間交流機会を広げ、地域全体で、元気でたくましい美郷の子どもたちを育んでいきます。
- 自由で、連帯感のある地域社会をつくる住民活動を展開するため、地域の人材育成、リーダー育成に努めます。
- 定住人口の増加を図る上での町内における取り組みとして、結婚対策に力を入れ少子化対策と併せた課題解決をめざします。
- 定住人口の増加を図る上での町外からの転入促進対策として、田舎暮らしコーディネーター制度を活用した取り組みと連携した住民活動を進めます。

【主な事業】

- ③-1-1. すくすく！げんきっずプログラム
- ③-1-2. 地域の人材育成・リーダー育成
- ③-1-3. 結婚対策の充実
- ③-1-4. 田舎暮らしコーディネーター制度の充実による UJI ターンの促進

【役割分担のめやす】

役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	◎	○	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

④ みんなでつくる 生涯を通じて健康・安心の環境
美(び)と健康 ～安心の郷づくり～

単位
施策

④-1. 健やかに暮らそう プロジェクト

④-1-1. 食育推進計画による地産地消・食育の推進

④-1-2. 食を通じた世代間交流の拡充

④-1-3. 地域リーダー・ボランティアの育成と組織化

④-2. 生き生きと暮らそう プロジェクト

④-2-1. 美郷らしい生涯現役社会づくり

④-2-2. 地域の人材活用等による公民館活動の充実

④-2-3. 世代を通じた多様な社会参加の促進

〈単位施策の展開方針〉

④-1 健やかに暮らそう プロジェクト

- 本町の食育活動の指針となる食育推進計画を策定し、地産地消や子どもたちの健全な食習慣の定着を図ります。
- 美郷の食材を使った旬産旬消など、地域の食を通じた世代間交流機会の拡充を図ります。
- 健康な生活習慣を普及啓発する上で、地域リーダーやボランティアの育成、組織化に取り組みます。

【主な事業】

- ④-1-1. 食育推進計画による地産地消・食育の推進
- ④-1-2. 食を通じた世代間交流の拡充
- ④-1-3. 地域リーダー・ボランティアの育成と組織化

【役割分担のめやす】

役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	◎	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

④-2 生き生きと暮らそう プロジェクト

- ゴールデンユートピアをはじめとする町内施設の活用や長寿大学などの取り組みへの参加を通じて、住民誰もが生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる地域社会づくりを進めます。
- 住民が日頃から、さまざまな趣味や地域活動に参加できるよう公民館活動の充実を図ります。
- 世代を通じて、さまざまな社会参加機会への積極的で主体的な参加を促進します。

【主な事業】

- ④-2-1. 美郷らしい生涯現役社会づくり
- ④-2-2. 地域の人材活用等による公民館活動の充実
- ④-2-3. 世代を通じた多様な社会参加の促進

【役割分担のめやす】

役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	◎	○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

2 基本施策の展開

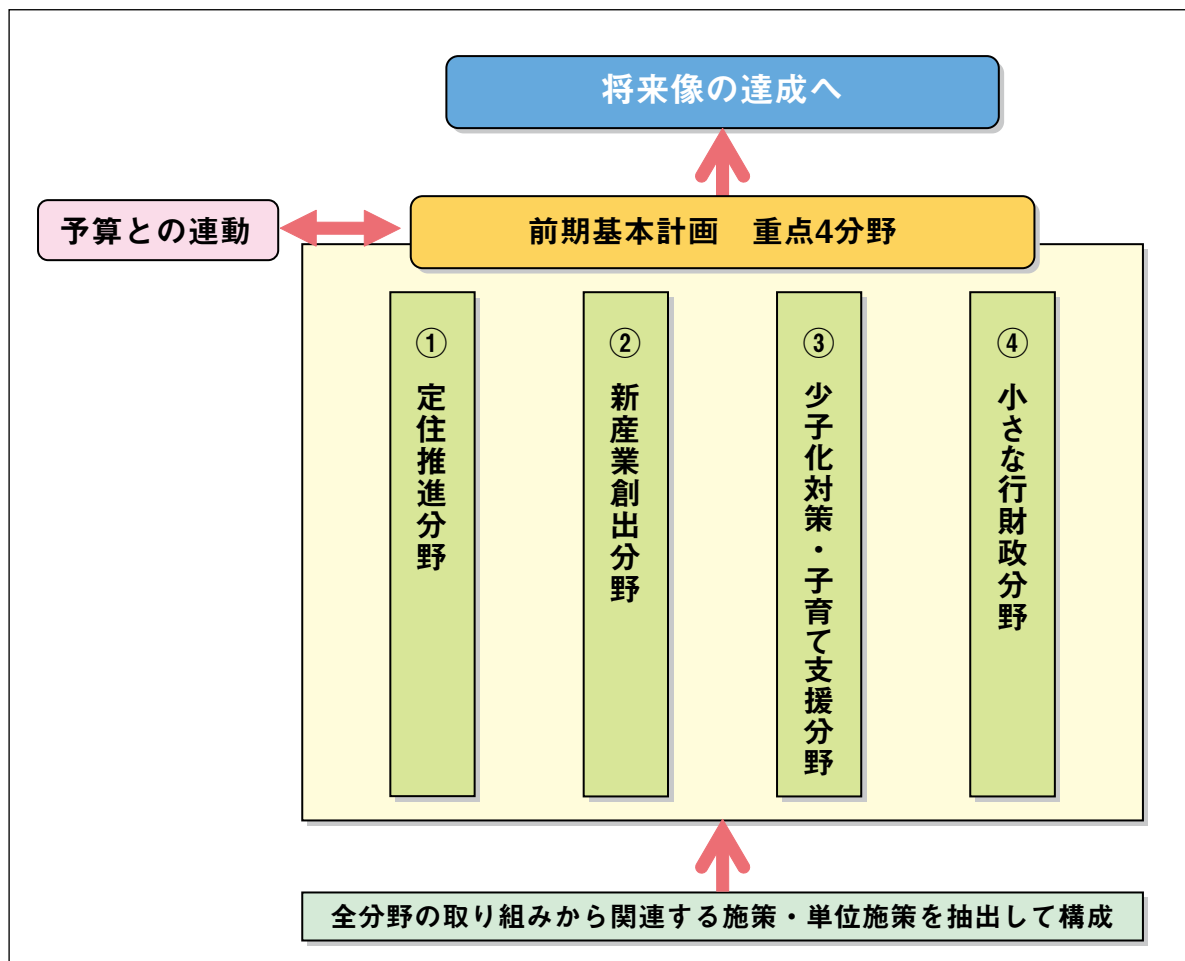
前期基本計画における重点施策の位置づけ

本計画の前期基本計画にあたる5年間は、人口減少社会の到来、少子化の進行、2007年問題など社会経済の仕組みや個々のライフスタイルの変化、三位一体改革をはじめとする行財政システムの改革など、社会全体のあり方が、大きく変わる時代の転換期にあたっています。

このような変化の激しい時代のなかで、本町が活力を維持・増進していくためには、住民・他地域との連携・民間・行政などさまざまなまちづくりの主体が、知恵、情報、各種の財を結集し、本当の意味で協働のまちづくりに取り組むことが求められます。

前期基本計画では、「美郷町の地域活力の再生」をテーマに、まちづくりの全分野を横断的に再構築し、【定住推進分野】【新産業創出分野】【少子化対策・子育て支援分野】【小さな行財政分野】の4分野を重点4分野として設定します。その上で、財政との連動を図りながら、着実な目標達成をめざすものとします。

■重点4分野の考え方



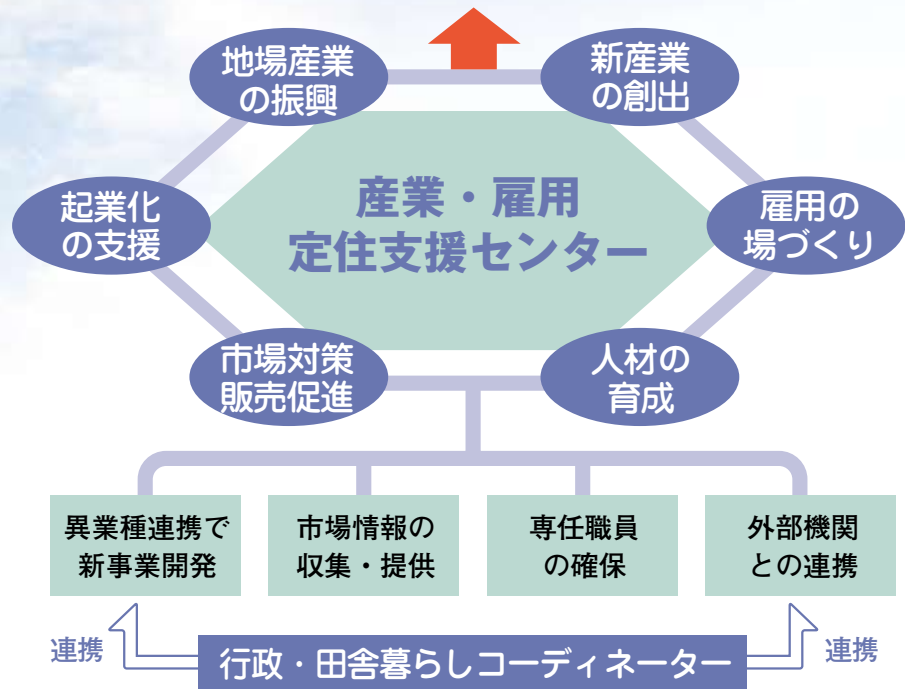
前期基本計画 重点4分野の柱となる事業

1

定住推進分野

美郷町産業・雇用・定住支援センター（官民協働組織）の開設と運営母体の創設

- ブランド化など既存の産業振興策を柱に、町内各種産業の経済連関性を高め、収益向上、雇用の場づくり定住促進を図ります。



2

新産業創出分野

3

少子化対策
子育て支援分野

美郷町子育て支援センターの開設

- 子育てしやすい環境づくりを総合的に進めることとします。
- 子育て支援活動の拠点となる美郷町子育て支援センターについては、平成21年度までの開設をめざします。

子育て支援センター



4

小さな行財政分野

美郷町行政評価制度の効果的な運用

- 平成18年度から試行をはじめた行政評価制度の定着と効果的な運用をめざします。
- 運用にあたっては、将来的な住民との協働によるPDCAサイクルの推進管理をめざします。



利便性の高い 快適な暮らしを 実感できるまち

政策

I

道路網の整備

施策

1

道路網の構築

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
町道道改良率 (%)	実績	53.4%	54.70%	55.20%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 総合的な道路ネットワークを実現します。

本町の基幹的な道路である国道 375 号の改良促進に努め、別府—湯抱間の早期改良を実現するなど、国・県・町道の適切な建設・整備促進、推進による利便性の向上、物流の促進、救急搬送体制の強化を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ



国道 375 上野地区

施策 2 道路・橋梁の維持管理

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
道路・橋梁の補修工事件数	実績	10箇所／年	10箇所／年	10箇所／年
道路舗装修繕面積	実績	3000㎡／年	3000㎡／年	3000㎡／年
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 道路・橋梁の安全な維持管理を行います。

財政事情を勘案しながら、道路・橋梁修繕・補修工事の検討を進め、適切に維持・管理を行うことで、物流の促進、救急搬送体制の強化を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

施策 3 幹線道路の整備

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
町道の改良済延長 (m)				
1級6路線 L=34.9 km	実績	L=30.1 km	L=31.5 km	L=31.8 km
2級28路線 L=50.5 km	実績	L=23.5 km	L=24.2 km	L=24.8 km
そのほか 318 路線 L=177.1 km	実績	L = 87.2 km	L = 87.8 km	L = 88.2 km
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		○	○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 地域間交流や産業振興を導く幹線道路を整備します。

国道375号線別府一湯抱間の改良、県道主要地方道川本波多線の拡幅など、住民生活の向上に資する道路の適切な整備を促進することで、物流の促進、救急搬送体制の強化を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

施策 4 生活道路の整備

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
生活道路が整備されていると感じている住民の割合 (%)	アンケート	44.3%	50%	55%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

4-1 便利な生活道路を整備します。

合併時の新町建設計画に基づき、計画的で費用対効果の視点に立った整備の推進、安心・円滑に通行できる整備を進めることで、生活利便性の向上、救急搬送、緊急車両進入可能なコミュニティ環境の充実を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

4-2 誰でも安全に歩行できる歩道を整備します。

平成17年度に実施した歩道実態調査に基づき、歩道拡幅整備、街灯整備、バリアフリー化、通学路の安全性確保からなる市街地の歩行者ネットワークの整備など、安心・円滑に通行できるよう整備を進めることで、子ども、障害者、高齢者などの交通弱者が安心して歩行できる交通環境の充実を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
歩道での事故・事件発生件数	実績	0件	0件	0件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

施策 **5** 公共交通の充実

【施策の指標とめざす値】

施 策	指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
バス利用者数		実績	36,202人	36,000人	36,000人
鉄道駅乗降者数		実績	153人	153人	153人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体	
	◎	○	◎	○	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

5-1 利用しやすい公共交通の充実を図ります。

平成20年度末をもって県立邑智高校が再編されることで、高校生の通学形態が大きく変わります。公共交通ニーズの動向を的確に把握し、コミュニティバスとJR三江線の利便性の向上に努めることで、誰もが便利に利用できる公共交通ネットワークを整備します。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

施策 6 交通安全対策

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
交通安全活動への参加者数	実績	200人	500人	700人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

6-1 交通事故の少ないまちづくりを進めます。

平成17年度の本町における交通事故の発生件数は1件（人身事故）であり、安全な町といえます。今後も住民の交通安全意識のいっそうの高揚を図り、交通事故の少ないまちでありつづけることをめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ



交通安全

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
地籍調査進捗率	実績	79.4%	88.9%	97.0%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 適切な土地利用計画を推進します。

本町の平成17年の地籍調査進捗率は79%で、順調に進んでいます。今後も計画的な地籍調査の推進に努め、適正な土地利用が行われることで、将来に渡った土地の有効利用を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
花壇設置数（花と緑の銀行関係）	実績	6件	15件	21件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	◎	○	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 美しい景観づくりを推進します。

花と緑の銀行活動の充実を図り、町内の各集落の美しい農村景観を形成・維持することで、快適な暮らしができる環境づくりを進めます。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

政策

Ⅲ

生活環境の整備

施策

1

上水道の充実

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
水道普及率	実績	94.6%	95%	96%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 水道施設の整備を推進します。

住民生活の質的な変化に伴い、一人当たりの給水量が増加しています。このため、供給量の増加に対応できる現有施設の改良を進めるなど、安全でおいしい水を供給できる施設管理により、安心して快適な生活の実現を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

1-2 安心して飲める水の安定供給を図ります。

設備の老朽化に伴う漏水の早期発見、早期対策の実施、水質の定期検査・公表の実施など、安全でおいしい水の安定的な供給体制の維持に努めることで、安心して快適な生活の実現を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
破損による断水件数	実績	8 件	3 件	3 件
水質調査に関すること	実績	水質基準	水質基準	水質基準
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○		◎	○

1-3 水道事業の健全経営に努めます。

民間委託と直営部分の適切な分担により、費用対効果の高い、効率的な業務の推進を図ること
で、水道事業の健全経営を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
維持管理業務のコスト削減額	実績	3,616 千円	8,869 千円	6,700 千円
人件費を含めた水道事業にかかる総経費	実績	183,606 千円	174,737 千円	168,037 千円
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○		◎	○

施策 2 下水道の充実

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
公共下水道・集落排水・小規模・浄化槽 などの汚水処理ができる世帯数	実績	1,484 世帯	1,604 世帯	1,684 世帯
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 下水道施設の整備を促進します。

本町の下水道整備状況は、集合処理体制については、ほぼ整備が完了しています。今後は、それ以外の小型合併浄化槽の整備を中心にした取り組みを進めます。また、未加入世帯の多くが独居高齢者であることから、生活実態を踏まえた加入対策を検討し、適切な下水の処理と自然環境・生活環境の保全に努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
下水道整備率	実績	61.4%	66.1%	70%
合併浄化処理槽普及率	実績	24.2%	32.6%	40%
環境基準の遵守	実測	基準範囲	基準範囲	基準範囲
下水道加入率	実績	52.5%	70%	80%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○		◎	

2-2 下水道施設を適正に維持管理します。

本町の下水道施設の適正な維持管理に努めることで、適切で安定した下水処理を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
放流水質の安定化	実測	基準範囲	基準範囲	基準範囲
下水処理量などに関する指数	実測	640 m ³ / 日	700 m ³ / 日	735 m ³ / 日
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○		◎	○

2-3 下水道事業の健全経営に努めます。

下水道事業の安定的で持続的な経営を図る上から、現在の経営構造の改善を進めなくてはなりません。すでに取り組んでいる、民間委託と直営方式の適正な分担の見直しによるコスト削減対策をいっそう進めた上で、料金の改定を行います。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
対前年比での下水道有収伸び率	実績	6%	5%	4%
人件費を含めた下水道事業にかかる総経費	実績	134,268 千円	128,225 千円	124,378 千円
維持管理業務のコスト額	実績	78,072 千円	74,558 千円	72,321 千円
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○		◎	○

施策 3 住宅・宅地の整備

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
耐用年数を超えた公営住宅戸数	実績	32戸	20戸	10戸
公営住宅整備戸数（改修）	実績	6戸	31戸	—
公営住宅整備戸数（新築）	実績	—	12戸	22戸
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 宅地・住宅団地の整備を推進します。

本町では、近年、民間による宅地整備が実施されており、今後も民間の事業参入を働きかけていくことで、町内への定住促進に努めます。

3-2 快適な公営住宅の整備を推進します。

本町の町営住宅には建築から50年以上を経過した老朽化の著しいものもあり、改築や設備の更新が求められており、計画的な整備を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

施策 4 公園・緑地の整備

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
適切に維持管理されている公園数 9箇所	実績	7箇所	9箇所	9箇所
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		○	◎	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

4-1 快適な生活空間を創出します。

快適な生活空間を創出することで、快適な暮らしができる環境の形成を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

施策 5 霊園・葬祭場の管理運営

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
利用者からの苦情件数	実績	1	0	0
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

5-1 火葬場の適正な管理運営を行います。

衛生的で適切に管理することで、安心して利用できる施設であるよう努めます。

5-2 霊園の適正な管理運営を行います。

適切に管理することで、安心して利用できる施設であるよう努めます。

政策 **IV** 情報通信基盤の整備

施策 **1** 情報通信基盤の整備

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
地上波デジタル受信可能世帯の割合	実数	—	—	100%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	◎	○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 情報通信基盤の整備を推進します。

地上波デジタル化に伴い、共聴組合への支援対策を進めることで、2011年度に完全デジタル化対応を図ります。また、国が進める「ユビキタス社会」づくりの指針である「U-JAPAN構想」を踏まえ、「いつでも、どこでも、誰でも、安心して」ネット接続できる環境づくりを進めます。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

施策 2 情報通信基盤の活用促進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
インターネットを利用している住民の割合	アンケート	24.4%	35.0%	50.0%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎		○	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 情報通信基盤の活用を促進します。

ICT 基盤を地域産業振興策や地域福祉、学校教育、地域活動などに活用を図ることで、多様な層の協働やビジネス機会の拡充をめざし、産業情報センターの開設などを検討します。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

2-2 地域情報化を促進します。

住民、出身者、美郷ファンを結ぶ地域 SNS（ソーシャルネットワークサービス）の提供やまめなかネットの利用促進により、地域情報化による住民生活の利便性向上をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
まめなかネット登録者数	実数	54人	200人	500人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○		◎	○

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
不法投棄通報把握件数	実数	10件	0件	0件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎		○	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 廃棄物を適正に処理します。

邑智郡広域事務組合で策定した一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの100%回収達成をめざします。また、分別収集の徹底により、循環型の地域社会づくりをめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

1-2 不法投棄を防止します。

廃棄物処理実態調査の実施、不法投棄発見時の警察との連携強化により、不法投棄の未然防止と取り締まり体制の充実を図り、地域環境の保全に努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
不法投棄防止パトロール実施日数	実績	4日	5日	6日
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	◎	◎	

施策 2 公害防止の促進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
苦情受付件数（悪臭・騒音）	実数	0件	0件	0件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎		○	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 公害の防止に取り組めます。

公害防止の啓発活動を進めることで、美しく良好な美郷の地域環境を守ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

施策 3 ゴミの減量化とリサイクル活動の推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
住民一人当たりのゴミの排出量	実績	416g/日	400g/日	380g/日
ゴミの再資源化率	実績	38.4%	43%	47%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎		○	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 ゴミ排出量の低減に取り組めます。

本町のごみ排出量の増加を踏まえ、排出抑制のための住民意識の啓発に取り組めます。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

3-2 リサイクルを推進します。

家電リサイクル法、容器包装リサイクル法などの各種法令に基づき、ごみの再資源化を進めます。また、フリー・マーケットの開催、利用促進により、再利用する生活文化の定着を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

政策 VI 消防・防災・防犯の強化

施策 1 治山・治水及び各種災害対策の強化

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
急傾斜地崩壊対策整備済み箇所数	実績	18	19	20
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 風水害・土砂災害の被害を抑制します。

合併後に策定した地域防災計画に基づき、治山事業や地すべり対策など災害に強いまちづくりを進めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
水防災対策事業整備済み箇所数	実数	4箇所	5箇所	5箇所
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

1-2 風水害・土砂災害発生時に速やかに復旧します。

災害発生時には、できるかぎり速やかな復旧を行い、二次災害の発生を防ぐため、防災機関、町内建設業者等との連携を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標設定なし

施策 2 防災対策の強化

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
災害に対する備えを実行している人の割合	アンケート	39%	55%	70%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	◎	○	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 地域防災体制を強化します。

住民に配布した防災のしおりの活用促進による防災意識の啓発を図り、円滑で迅速な避難を図ります。また、国民保護計画を策定します。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

施策 3 消防・防災体制の充実

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
火災の予防啓発回数	実績	町全体 2回 各分団 月1回	町全体 2回 各分団 月1回	町全体 2回 各分団 月1回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 消防体制の充実に図ります。

地域ぐるみの消防体制を確立するため、火災予防活動の推進、女性防火クラブの活動促進を図ります。また、老朽化した消防防災設備の更新を図るとともに、防火水槽等の計画的な設置を実施します。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

施策 4 防犯体制の充実

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
防犯ネットワークの設置	実績	—	設置	
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

4-1 地域防犯体制の整備を推進します。

犯罪の広域化、国際化や子どもや高齢者を狙った犯罪の増加を踏まえ、警察と行政、地域の連携を強化し、地域での防犯ネットワーク活動の推進、青パト隊の活動による見守り体制の充実を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

施策 5 消費者保護の推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
消費者啓発回数	実績	4回	6回	6回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

5-1 消費者保護を推進します。

消費者をねらった犯罪の多様化、インターネット利用者をねらった詐欺など、生活様式の多様化に伴い、消費者保護のニーズも高まっています。島根県や警察と連携し、啓発活動を進めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
消費者啓発回数	実績	4回	6回	6回
消費者問題ネットワーク開催回数	実績	1回	1回	1回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	○	

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
保安林面積	実績	3,856ha	3,856ha	3,856ha
国立公園面積	実績	352ha	352ha	352ha
県立公園面積	実績	1,885.6ha	1,885.6ha	1,885.6ha
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 身近な自然環境を保全します。

森林環境と河川環境に恵まれた本町の特性を守るため、保安林や自然公園の適正管理を行うとともに、希少な野生生物の保護に努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
保安林面積	実績	3,856ha	3,856ha	3,856ha
国立公園面積	実績	352ha	352ha	352ha
県立公園面積	実績	1,885.6ha	1,885.6ha	1,885.6ha
鳥獣保護区等面積	実績	4,590ha	2,732ha	2,732ha
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	◎	◎

施策 2 環境保全の推進

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
新エネルギービジョンの策定及び進捗率	実績	—	策定	推進
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 資源・エネルギーの安定確保を図ります。

新エネルギービジョンの策定により、森林環境や産業構造を生かした木質バイオマスなど、クリーンエネルギーの導入をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

2-2 環境保全施策の総合的な計画を策定します。

本町の環境保全施策を体系的、総合的に展開していくために、地球温暖化防止計画、環境基本計画を策定します。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
環境基本計画	実績	—	策定	実行
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○		◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

施策 3 森林・里山環境の保全と活用

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
広葉樹林面積	実績	11,306ha	11,360ha	11,400ha
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 森林・里山環境の保全と活用を図ります。

緑の募金活動などを通じて、美しい森林・里山環境を維持・整備に努めるとともに、交流活動や田舎ツーリズム事業との連携による活用を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
緑の募金達成額	実績	360 千円	320 千円	280 千円
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	◎	◎	○

施策 4 河川環境の保全と活用

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
汚濁事故発生件数	実績	1件	0件	0件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

4-1 河川環境の保全と活用を図ります。

河川美化条例に基づく活動、流域市町村の連携強化、オイルマットなどの常備などにより、江の川およびその支流の環境保全に努めます。また、水辺の空間に親しめる機会や場所を拡充します。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ



生き物観察

人と地域の個性を活かした
産業を創出するまち

政策

I

地域産業の活性化と新産業づくりの推進

施策

1

新産業づくりの推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
生産額（イノシシ・健康食品・特産品）	実績	5,500 千円	8,000 千円	25,000 千円
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	◎	◎	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 新しい産業づくりに取り組みます。

「山くじら（天然猪肉）」の地域ブランド化をめざした展開が全国から注目を集めています。今後、ブランド価値の向上と販売拡大をめざし、民間主導による生産供給体制づくりと販売戦略の確立による販売額の向上に取り組めます。このほか、地域資源を活かした各種ブランド対象製品の安定供給と販売拡大に努め、新事業の開発を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
産・官・学研究実施件数	実績	5 件	5 件	3 件
産・官・学研究実施件数による付加価値 生産額	実績	240 万円	500 万円	1,000 万円
視察産業観光人数	実績	220 人	300 人	300 人
ブランド開発事業へのマスコミ取材提供数	実績	20 件	10 件	10 件
視察産業観光団体件数	実績	32 団体	20 団体	20 団体
スポットプログラムメニュー開発件数	実績	1 件	3 件	5 件
大麦若葉ほか処理量	実績	0t	292.5t	292.5t

若葉関係延べ面積	実績	14.1ha	39.3ha	39.3ha
霊芝栽培面積	実績	70a	70a	70a
またたび栽培面積	実績	70a	150a	150a
桑葉栽培面積	実績	0ha	2.0ha	2.0ha
ケール栽培面積	実績	80a	80a	80a
ブランド商品開発数	実績	2件	6件	8件
ブランド対象製品の売上額	実績	300万円	300万円	1,500万円
役割分担	住民	地域	行政	民間企業団体
	○	◎	◎	◎

施策 2 異業種連携の推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値(H17)	めざす値(3年後)	めざす値(5年後)
参入企業数	実数	6社	7社	8社
役割分担	住民	地域	行政	民間企業団体
			○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 異業種連携を推進します。

農林水産畜産業を軸として、観光、商工業などとの多様な連携について、民間事業者の自発的で積極的な連携を促し、既存産業の高度化、新たなサービス価値の創出機会を支援します。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

施策 3 起業家の支援

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
農業法人数	実数	2 法人	3 法人	3 法人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		○	○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 起業家を支援します。

認定農業者の育成、法人化を促すことで、経営型農家の育成を図るとともに、異業種からの農業参入機会を促進することで、自立型の産業構造への転換と雇用の場の確保に取り組みます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
新規雇用者数	実績	0 名	5 名	5 名
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		○	○	◎

施策 4 雇用の促進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
事業利用求職者数（地域再生計画）	実績	19人	65人	65人
雇用者数（地域再生計画）	実績	15人	45人	45人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○		○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

4-1 雇用の促進と労働者支援

健康食品産業の振興、「やまくじら」など食のブランド化を進めることで、地域資源活用による自立型産業の創造を図ることで、持続的で安定した雇用を促進するとともに、就業者の労働環境の向上を促進します。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
事業企業数	実績	1件	1件	1件
健康食品産業振興 天然イノシシ肉ブランド産業創出		1件	1件	1件
事業利用求職者数	実績	13人	39人	39人
健康食品産業振興 天然イノシシ肉ブランド産業創出		6人	26人	26人
雇用者数	実績	13人	39人	39人
健康食品産業振興 天然イノシシ肉ブランド産業創出		2人	6人	6人
巡回職業相談開催の無線放送回数	実績	4回	4回	4回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	○

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
美郷町産業・雇用・定住支援センター開設	—	—	開設	充実
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

5-1 産業・雇用・定住の核となる組織をつくります。

全町的な経営資源の活用や6次産業づくりを進めるため、生産者や各種事業者が求める市場情報・販売戦略・人脈等を開拓することができる専門組織として、官民やJA等既存団体の協働による美郷町産業・雇用・定住支援センターを開設し、町産業の新しいサービスの創出を支援します。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

5-2 定住の促進

人口減少と少子化に歯止めをかける政策づくりをめざして行政に設置した、「定住プロジェクト会議」における政策立案と重点的な施策推進を基本に、田舎暮らしコーディネーターの活動、出会いの場づくり事業等結婚対策の推進、空き家活用事業、定住住宅の整備検討などに取り組むことで、総合的で効果的な定住対策を実施します。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
田舎暮らしコーディネーターが取り扱ったU・Iターン者累計数	実績	0人	15人	25人
定住団地造成区画累計数	実績	14区画	21区画	21区画
定住団地販売区画累計数	実績	11区画	16区画	19区画
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	◎	○

政策

Ⅱ

農林水産業の振興

施策

1

生産体制の構築

【施策の指標とめざす値】

施策	指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
加工施設利用人員		実績	568人 /年	600人 /年	600人 /年
集落営農の育成数		実績	7地区	10地区	12地区
役割分担		住民	地域	行政	民間 企業団体
		◎	◎	○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 生産基盤を整備します。

既存の生産加工施設などを含めた生産基盤や周辺の整備・有効活用を進めるとともに、後継者の育成に努めることで、効率的な農林業経営の実現と生産物流通の促進を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
加工施設稼働率	実績	568人／ 年	600人／ 年	600人／ 年
後継者の育成	実績	9団体	9団体	9団体
駆除イノシシの出荷率	実績	40%	60%	80%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	○	◎

〈単位施策の展開方針〉

1-2 生産体制を強化します。

農業においては、お茶、菌床しいたけ栽培、有機農業の推進など、林業においては、間伐の推進などにより、美郷の地域特性を活かした製品の品質や収量向上に努め、農林・畜産業経営の活性化と安定化を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
お茶の生産量	実績	52.0t	60.0t	60.0t
有機栽培の栽培面積	実績	8.5ha	20.0ha	25.0ha
利用間伐面積	実績	28.3ha	29.7ha	31.2ha
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	◎	◎

〈単位施策の展開方針〉

1-3 中核的な農業振興拠点を形成します。

農業振興のモデルとなる中核地域として指定した君谷・比之宮農業振興地域の振興を図り、町全域に農業経済の波及効果の創出を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
集落営農組合数及び担い手数 (比之宮・君谷)	実数	11	13	15
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	◎	○	○

〈単位施策の展開方針〉

1-4 農林畜産業経営を支援します。

各種制度に基づく経営支援の適正な活用を図り、経営の安定化を促進します。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
1等米比率	実績	61.79%	70.56%	75.00%
ハーブ米作付け面積	実績	11.58ha	30.0ha	50.0ha
利用間伐面積	実績	28.3ha	29.7ha	31.2ha
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	◎	○	◎

施策 2 農地の有効活用

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
国営土地改良事業（大邑農地）の利用率	実績	85.0%	100%	100%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 農地を有効に活用します。

国の規制緩和等に伴う、地域計画の適正な推進を基本として、秩序ある土地利用・維持を進めることで、農用地の効率的な利用を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
直接支払協定締結面積	実績	371ha	371ha	371ha
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			○	◎

〈単位施策の展開方針〉

2-2 農地保全を推進します。

有害鳥獣対策の推進、生産履歴記帳の促進、県エコロジー農産物生産指針などに基づく環境保全型の農業の推進により、安全・良質な農産物の生産と、安定した農業経営を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
獣類による水稻等の被害額	実績	2,700 千円	2,430 千円	2,180 千円
イノシシの捕獲数	実績	295 頭	350 頭	380 頭
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	○

施策 3 担い手の育成

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
新規就農者数	実績	2 名	3 名	4 名
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎		◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 担い手の育成を図ります。

現在実施している担い手育成支援事業が、平成 20 年で終了することから、引き続き自立意欲の高い就農者の育成と定着を図る取り組みを進め、将来にわたった継続性のある農業経営の実現を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標と同じ

施策 4 特産品の開発

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
特産品開発数	実績	2品	6品	8品
売上高	実績	300万円	300万円	1,500万円
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

4-1 特産品の開発に取り組めます。

本町の地域ブランドとして、重点的に取り組んでいる「やまくじら(猪肉)」の加工・販売を柱に、ねぎ、そば、自然薯などの農産品の生産と販売の拡大を図り、美郷の農産物の良さを知らせてもらうことで、安定した農業経営の実現を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
特産品グループの開発商品数	実績	2品	6品	8品
特産品売上額	実績	300万円	300万円	1,500万円
新しい産業の掘り起こし数	実績	1事業	3事業	5事業
共進会出頭数	実績	3頭	4頭	4頭
出荷用そばの作付け面積	実績	4.8ha	5.0ha	5.0ha
出荷用そばの生産量	実績	1.9t	2.0t	2.0t
出荷用そばの売上額	実績	64万円	65万円	65万円
生産量(自然薯)	実績	0.4t	0.4t	0.4t
売上額(自然薯)	実績	90万円	90万円	90万円
取扱量	実績	1.5t	2.0t	3.0t
売上額(精肉ほか)	実績	240万円	500万円	1,000万円
商品開発数(加工)	実績	1件	6件	8件

売上額（加工ほか）	実績	75万円	250万円	500万円
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	◎

施策 5 流通販売・サービスの充実

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
地場農産物の売り上げ	実績	15,000 万円	16,000 万円	17,000 万円
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	○	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

5-1 流通・販売サービスの充実を図ります。

近隣の主要市場である広島市場や県内市場への積極的な町産品のPRに取り組むとともに、都市生活者への直販など、商品別の消費特性を踏まえた効果的な流通戦略の推進により、農業所得の向上と安定化を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標と同じ

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
町有林間伐面積	実績	32.8ha	29.5ha	26.5ha
施行計画認定数	実績	44件	44件	44件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

6-1 林業の振興を図ります。

森林施業計画、森林整備計画等の関連計画の着実な推進、分収造林保育事業の推進など、森林資源の価値を高めることで、安定した林業経営の実現を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
間伐面積（公社造林を除く町全体）	実績	73.0ha	76.6ha	80.4ha
長伐期施業転換への変更契約数	実績	41件	58件	88件
長伐期施業転換への変更契約率	実績	35%	50%	75%
公社造林地の間伐面積	実績	55.5ha	58.3ha	61.2ha
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	◎

施策 7 交流型農林水産畜産業の推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
島根ふるさとフェア来訪者数	実績	173,200 人	175,000 人	175,000 人
島根ふるさとフェア売り上げ額	実績	1,570 千円	1,700 千円	1,750 千円
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

7-1 交流型農林水産畜産業を推進します。

毎年、県が広島市内で開催している「島根ふるさとフェア」などの機会を有効活用し、特産品のPR、観光紹介、誘致などを実施することで、地域経済効果、社会的効果の創出を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
島根ふるさとフェアでの来訪者数	実績	173,200 人	175,000 人	175,000 人
特産品販売額	実績	130 万円	150 万円	170 万円
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		○	○	◎

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
企業立地数	実績	1社	1社	2社
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 商工業の支援を行います。

国県等の制度に基づく各種支援の適正な活用を図り、商工業の活性化を促進します。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
工業生産出荷額	実績	2,146 百万円	2,200 百万円	3,000 百万円
新規雇用数	実績	0名	6名	6名
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	◎

〈単位施策の展開方針〉

1-2 工業団地の整備と企業の誘致を進めます。

工業団地を整備し、企業の誘致を促進することで、町内で就業できる環境の実現を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
誘致企業件数	実績	1件	1件	2件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	◎

施策 2 中心市街地の整備

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
空き店舗活用件数	実績	1件	2件	3件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 中心市街地にある拠点施設の充実を図ります。

中心市街地活性化のために、公衆トイレ等の整備を検討し、地域・民間などによる空き店舗誘導等、民間主導による賑わいのある空間づくりに取り組みます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
中心市街地のバリアフリー化率（街路）	実績	—	30%	50%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		○	◎	○

〈単位施策の展開方針〉

2-2 商店街の活性化を図ります。

地域商業活動の活力が低下しています。地元購買力の拡充と交流機会の拡大を活かした商業の活性化をめざし、基本指針となる商業活性化対策指針を立案し、商工会との連携により推進していきます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
商業活性化対策指針の作成		—	指針作成	実施
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	◎	○	◎

政策 **IV** 観光・レクリエーションの振興

施策 **1** 観光施設の連携強化

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
観光客入り込み客数	実績	115,285人	116,000人	117,000人
町内宿泊客数	実績	16,404人	17,000人	18,000人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 観光施設の連携強化

湯抱、潮、千原などの各温泉、カヌーなどアウトドア体験、歴史や伝統文化、江の川の自然景観など、食の魅力、田舎ツーリズムとの連携など、本町の観光スポットのネットワーク化を図り、相乗効果の創出をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

施策 2 地域資源の活用

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
資源活用による新たな観光スポット・プログラム開発件数	実績	1件	3件	5件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	◎	◎	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 地域資源の活用

合併により豊富になった既存の観光資源に加え、自然、歴史文化、人材などのさまざまな資源を組み合わせ、田舎ツーリズムにおけるプログラム化を図り、PRに努めるなど、新たな美郷の魅力づくりを進めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
資源活用による新たな観光スポット・プログラムの利用者数	実績	220人	220人	300人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	◎	◎	◎

施策 3 田舎ツーリズムの推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
民泊農家登録戸数	実績	2戸	8戸	10戸
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	○	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 田舎ツーリズムの推進

本町では、県の事業と連携し、地域の魅力、人の魅力を活かした都市農村交流事業である田舎ツーリズムを推進しており、着実にファンが拡大しています。今後は、受け入れ態勢の充実とPRの充実を図り、経済効果や社会的効果の創出をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ。



教育グリーンツーリズムでの稲刈り

施策 4 広域観光の推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
広域連携取組件数	実績	3件	3件	3件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		○	○	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

4-1 広域観光の推進

隣接する大田市に残されている石見銀山史跡が、2007年にも世界遺産登録されることが見込まれます。町内には、石見銀山から銀を陸路で搬出した銀山街道が残されており、関連史跡の保存とともに、テーマ型の広域観光による誘客活動を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
官民の情報連携構築		—	構築	情報共有
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	◎

政策

I

生涯教育の推進

施策

1

生涯学習社会の構築

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
自己研鑽のため、計画的に学習活動を行っている人の割合	アンケート	16.3%	18.0%	20.0%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	○	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 生涯学習社会をつくれます。

公民館活動、長寿大学など自治会との連携を図りながら、各地域で、住民が自ら進んで生涯学習に取り組む意欲をもつことのできる生涯学習環境を整えることで、住民の学習意識の向上と生きがいがづくりを支援します。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

施策

2

人権を尊重する人づくりの推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
人権に関する啓発回数	実績	3回	3回	3回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 人権を尊重する人づくりを進めます。

人権啓発活動や人権学習機会の充実など、人権について学び、意識を高めることで、誰もが生まれながらにして持つ権利について、お互いに尊重しあう地域社会をつくります。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
参加者数	実績	200人	300人	400人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	○

施策 3 社会教育施設の充実

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
図書貸出冊数	実績	2,900冊	3,000冊	3,500冊
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 社会教育施設を充実します。

社会教育施設の適正運営、維持に努めることで、社会教育施設の有効活用による学習活動を推進します。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

施策 4 青少年の健全育成

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
青少年健全育成事業参加者数	実績	290人	300人	350人
啓発回数	実績	2回	2回	2回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

4-1 青少年の健全な育成を支援します。

青少年育成美郷町民会議の活動を中心に、たくましく豊かな心が育まれ、青少年の社会参加への意欲を高めることで、郷土を築く人材の育成と、若者が生き生きと暮らせる地域社会を実現します。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ



剣道

政策

Ⅱ

学校教育の充実

施策 1 特色ある学校教育の推進

【施策の指標とめざす値】

施策	指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
活用した地域の外部講師数		実績	82人	85人	85人
役割分担		住民	地域	行政	民間 企業団体
				◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 特色ある学校教育を推進します。

邑智・大和地区の学校統合を踏まえ、地域との交流、ふるさと学習体験の推進を図ることで、児童・生徒の豊かな人間性の醸成を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

1-2 食育を推進します。

地域の農産物を活かして適正な食生活の習慣を身につける機会を増やすことで、健康な人材の育成を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
学校給食への地場産物供給量	実績	30%	35%	40%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		○	◎	◎

施策 2 教育環境の充実

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
子どもの安全を守るための地域運動や取り決め	アンケート	21.7%	30.0%	40.0%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	◎	○	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 学校教育施設の整備と管理

本町では、平成17年度に小学校プール、平成18年度には給食センターを整備し、学校施設の充実を図っています。今後は、継続して学校の耐震化を進めるなど、教育施設や物品を適正に管理することで、効果的に教育を受けられる学内環境の整備を進めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
学校施設の耐震化率	実績	50%	100%	100%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	

2-2 児童生徒の安全対策

子どもたちが安心して、通学、就学できる環境を守るため、地域との連携による見守り体制の充実に努め、児童・生徒の安全を確保します。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

2-3 児童生徒の就学の支援

児童生徒の状況に応じて、就学にかかる健康診断などの支援を行い、均等に教育を受ける機会を確保します。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
要保護・準要保護児童生徒就学援助の継続実施	実績	100%	100%	100%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	

2-4 教育支援体制の充実

本町では、概ね40分圏内を通学区域として設定し、スクールバスの運行などによる通学支援を行っています。しかし、降雪時などには、学校への通学に支障をきたすケースもあり、気象条件に応じた緊急対策やスクールバス車両の更新などを図る必要があります。今後も、児童生徒が学校へ通うための障害が低減されるよう努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
通学バスの児童生徒利用率	実績	100%	100%	100%
パソコンの配置達成率	実績	70%	90%	100%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	

2-5 心身の健康の支援

心の相談事業やスクールカウンセラーの利用を促進し、非行、いじめ、不登校などの問題の防止と発生時の問題解決に取り組み、誰もが楽しく通える学校を実現します。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
不登校児童生徒率	実績	3%	2%	1%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

2-6 教職員の資質向上

さまざまな研修機会への参加、受講の促進や住宅の提供など、教職員の能力の向上と生活支援を行うことで、多様な教員現場に対応できる教職員の確保に努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
教員一人当たりの受講回数	実績	2.9回	3回	4回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	

施策 3 家庭、地域との連携強化

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
子どもの居場所づくりへのボランティア参加者数	実績	0人	10人	30人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 家庭、地域との連携強化

本町では、地元住民が講師となり、子どもたちと地域学習などを通じて交流を図る子どもの居場所づくり事業を推進しています。今後も、保護者や地域住民のみなさんと学校の交流機会、連携強化を図ることで、家庭、地域教育に対する意識の醸成と実践活動の推進に努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

政策 III 文化 スポーツの充実

施策 1 文化・芸術活動の推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
自ら進んで文化・芸術活動に参加している住民の割合	アンケート	18.2%	19.0%	20.0%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	○	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 文化財の保存・活用

石見銀山の世界遺産登録を前に、町内の銀山街道ゆかりの史跡に注目が集まっています。町内に残る有形無形の文化財の保護、また、住民の生涯学習への活用を図ることで、後世に伝える文化遺産を継承し、郷土意識の醸成に努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
啓発活動の回数	実績	1回	3回	5回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	○

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

1-2 文化・芸術活動の推進

合併後に発足した美郷町文化協会の活動支援や町主催の文化祭などの開催などを通じて、多様な文化活動が実践される町民主体の文化活動と生涯学習の推進に努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

1-3 文化施設の活用

歌人齋藤茂吉ゆかりの齋藤茂吉鴨山記念館、郷土の伝統的な生活文化に触れることのできる、ふるさとおおち伝承館など、個性を活かした貴重な文化施設の有効活用と文化活動の推進をはかります。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
イベント開催数（鴨山記念館・伝承館）	実績	2回	3回	4回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

施策 2 スポーツ活動の推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
日頃から何か運動をしている住民の割合	アンケート	36.7%	38.0%	40.0%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	○	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 スポーツ活動の推進

各種スポーツ大会の開催をはじめ、住民誰もが、気軽にスポーツに参画できる環境を整えることで、町民主体の多様なスポーツ・レクリエーション活動を促進し、住民の健康増進に努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
日頃から何か運動をしている住民の割合	アンケート	36.7%	38.0%	40.0%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	○	○

2-2 スポーツ指導者・スポーツ団体の育成

スポーツ指導者の研修機会の提供など、指導力のあるスポーツ指導者や活動団体の育成を図り、町民主体のスポーツ・レクリエーション活動と住民の健康維持に努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
スポーツ指導者の研修回数	実績	1回	2回	3回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	○

2-3 スポーツ・レクリエーション施設の活用

町民主体のスポーツ・レクリエーション活動と住民の健康維持を促進するため、施設を有効的に活用するとともに、効果的に維持、運営します。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
住民のスポーツ・レクリエーション施設の利用回数	実績	6000回	6200回	6400回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	○	○

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
ALT 配置数	実績	1人	1人	1人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 国際交流活動を推進します。

合併前から続けてきたインドネシア・バリ島・マス村との国際交流活動を柱に、多様な国際理解の促進・意識啓発に努め、異なる文化とふれあう意識が高まることで、広い視野を持つ人材の育成機会を創出します。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

1-2 国際化に対応した環境づくりを進めます。

町ホームページの多言語対応をはじめとする情報提供環境の充実、町内に新たに設立された日本語ボランティア協会の活動支援などにより、外国人を受入れやすい住民意識づくり、地域環境づくりを進め、国際化に対応した地域社会づくりをめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
ホームステイなど外国人の宿泊を積極的に受け入れる気持ちがあると答えた住民の割合	アンケート	10%	20%	30%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	○	

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ。

政策



地域内・地域間交流の推進

施策 1 コミュニティ組織の充実

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
地域づくりの活動、ボランティア、NPO に参加している住民の割合	アンケート	43.5%	60.0%	80.0%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	◎	○	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 コミュニティ組織の充実を図ります。

これまで進めてきた「元気な集落事業」の後継として、「誇りのもてるふるさとづくり事業」を推進することにより、住民の自治意識の醸成、各種地域活動の活性化など、町民主体のまちづくりの実現をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

施策 2 コミュニティ活動の促進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
総合計画地区計画の達成度（進捗率）	実績	—	50%	100%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	◎	○	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 コミュニティ活動を促進します。

住民や町外の人たちの協力によりさまざまな地域課題の解決に取り組む地域社会をめざし、NPO 組織の設立促進、ボランティアネットワークづくりを進め、自治意識に基づく住民活動の促進に努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
地区の行事や活動に積極的に参加している人の割合	アンケート	56.8%	70%	80%
交流センターを利用した住民の割合	アンケート	65.9%	70%	80%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	◎	○	

施策 3 地域リーダーの育成

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
地域リーダー育成機会への延べ参加者数	実績	—	960 人	1,600 人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	◎	○	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 地域のリーダーを育成します。

平成 18 年度に地域や各種住民活動団体のリーダー育成をめざし、元気塾を開講しました。元気塾への参加促進を図り、地域自治の指導者育成に努めます。

施策 4 都市農村交流の推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
都市農村交流回数	実績	13回	14回	15回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

4-1 都市農村交流を推進します。

広島市西区との交流、出身者会交流などを通じて、地域内外での交流活動への参加促進に努め、人・もの・情報の交流による地域振興機会の拡充を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
出身者交流会参加者数	実績	380人	430人	450人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			○	◎

施策 5 広域交流の促進

【施策の指標とめざす値】

◆施策指標設定なし

〈単位施策の展開方針〉

5-1 広域交流を促進します。

石見銀山をテーマとする広域交流の検討など、地域内外での交流活動を促進し、地域間交流・ネットワーク化による広域的な地域振興を進めます。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標設定なし

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
男女の権利が互いに等しく認められていると思う住民の割合	アンケート	22.7%	30%	40%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○		◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 男女共同参画社会を推進します。

家庭、職場、地域において、男女平等の意識が高まる女性が活動しやすい社会の実現をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
地域審議会等への女性委員の割合	実績	23.70%	30%	40%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

政策

I

保健・医療の充実

施策

1

地域保健活動の推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
毎年、町・事業所等が行う健診または人間ドックを受けている住民の割合	アンケート	70.60%	73%	75%
基本健診受診率	実績	49.40%	50%	50%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 病気・疾患の早期発見に努めます。

平成20年に一次的な検診を簡易化する方向で、健康診断体制と内容に関する制度変更が見込まれています。元気な生涯現役生活を実現する上での基本ともなる基本健診の受診促進、乳がん検診を含めた検診体制の充実を図ることで、町民自らの努力で、病気・疾患の早期発見を促進します。



子供健診

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
基本検診年代別・地区別受診率	50歳代実績	37.7%	40.0%	45.0%
	60歳代実績	54.8%	57.0%	60.0%
	70歳代実績	65.9%	67.0%	70.0%
各種がん検診受診率	胃実績	23.1%	24.0%	25.0%
	子宮実績	23.9%	24.0%	25.0%
	肺実績	65.1%	67.0%	70.0%
	大腸実績	23.9%	28.0%	30.0%
50歳・60歳代の平均現存歯数	50歳代実績	24本	24本	26本
	60歳代実績	18.1本	18本	20本
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	◎	

1-2 病気・疾患の予防に取り組みます。

生活習慣病予防、訪問指導事業、総合健康相談、感染症対策、予防接種事業などの実施により、住民の病気予防や保健衛生の意識向上と実践を促します。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
予防接種率（各種を含めた総計）	実績	91.60%	95%	100%
基本健診要精検受診率	実績	57.30%	60%	65%
健診結果報告会参加者率	実績	64.80%	68%	70%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	◎	◎

施策 2 健康づくりの推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
日頃から健康維持のために何かに取り組んでいる住民の割合	アンケート	45.7%	50.0%	55.0%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	○	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 健康づくりを推進します。

平成18年度に策定した「健康みさと21計画」の推進を基本に、健康教育の推進、食生活改善指導、歯科保健事業などの実施により、家庭や地域での健康づくりの自主的な取り組みを促進し、「自分の健康は自分で守る」意識の普及に努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
運動習慣のある人の割合 基本健診アンケート	実績	46.4%	48%	50%
飲酒習慣（飲酒量）のある人の割合 基本健診アンケート	男性実績	48.4%	48%	48%
	3合以上実績	13.6%	12%	10%
喫煙率 基本健診アンケート	男性実績	28.3%	27%	25%
適正体重の人の割合	実績	66%	67%	68%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	◎	

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
初回訪問実施率	実績	94.70%	100%	100%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○		◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 母子保健活動を推進します。

平成 18 年度に策定した「美郷町母子保健福祉計画」の推進を基本に、母子訪問指導事業などを通じて、母親自身の健康状態に対する自己管理意識を高めることにより、安心して出産できる環境づくりを進めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
低体重児出生率（出生千対）	実績	131.6	100	60
妊婦届出状況（12 週未満）	実績	71%	80%	90%
妊婦健診受診票利用率	実績	90.2%	95%	100%
初回訪問実施率	実績	94.7%	100%	100%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎		◎	

施策 4 乳幼児・児童保健活動の推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
乳幼児健康診断受診率	実績	96%	100%	100%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎		◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

4-1 乳幼児・児童保健活動の推進

平成17年度に策定した「美郷町次世代育成支援行動計画」の推進を基本に、乳幼児の食育指導、乳幼児健診の実施など、乳幼児・児童が、健康に発育、発達するための取り組みにより、健康でたくましい子どもたちの育つ環境づくりを進めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
母乳は乳率(3ヶ月時点)	実績	56%	60%	70%
子どものう歯罹患率	実績	46%	40%	30%
子どものう歯処置率	実績	49%	50%	60%
保護者が点検磨きをしている子の割合	実績	71%	75%	80%
夜10時以降に寝る子の割合	実績	42.86%	35%	30%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎		○	

【施策の指標とめざす値】

指 標		算出方法	実績値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
一人当たり医療費					
	一般被保険者 ※1	実績	330,948 円	316,055 円	306,126 円
	退職被保険者 ※2	実績	401,946 円	383,858 円	371,800 円
	老人医療該当者 ※3	実績	747,522 円	736,309 円	728,833 円
役割分担		住民	地域	行政	民間 企業団体
		◎		◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○支援を行うことが求められる層

※1 一般被保険者 国保加入者のうち、退職被保険者を除く（0～74歳）

※2 国保加入者のうち、年金受給者（60～74歳と家族）

※3 75歳以上

〈単位施策の展開方針〉

5-1

地域医療体制の充実

どの地域でも安心して医療処置が受けられる環境を維持し、病気やケガをしたときに不安のない医療体制を確保します。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

【施策の指標とめざす値】

施 策	指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
電話相談の利用件数		実績	206 人	220 人	220 人
役割分担		住民	地域	行政	民間 企業団体
		◎		◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

6-1 国民健康保険事業を推進します。

保健師など専門職の充実、行政担当課とゴールデン・ユートピアおおちの連携の強化など、保健事業の充実により、国民健康保険医療費の抑制を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

6-2 介護保険の給付を適正に行います。

介護保険要介護認定を適正に実施するとともに、邑智郡総合事務組合との連携により、認定者に対する介護保険サービスの給付の円滑な事務手続きなどに努め、高齢者が安心して暮らせる社会づくりをめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
介護認定者数	実績	648人	583人	524人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	◎	◎	

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

6-3 老人健康保健事業を推進します。

保険制度の重要性を知ってもらい、適正に利用される高齢者が安心して健康的な生活が送れる地域の実現

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
電話相談の利用件数	実績	14件	20件	20件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎		◎	

6-4 保健・医療・福祉の連携を強化します。

さまざまな場面で、重度化の予防のための円滑な連携を図り、安心して生活が送れる地域の実現をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
検討会の開催件数	実績	69回	75回	75回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	◎

政策

Ⅱ

社会福祉の充実

施策

1

地域福祉の推進

【施策の指標とめざす値】

施 策	指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
地域保健福祉計画の策定 ※1		実績	—	策定	実施
NPO法人数（社会福祉関係）		実績	0法人	1法人	2法人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体	
		◎	○	○	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

※1 地域保健福祉計画は、3年後に策定としているが、平成18年度末には策定予定。

〈単位施策の展開方針〉

1-1 地域福祉を推進します。

平成18年度に策定予定の「美郷町地域保健福祉計画」の推進を基本に、シルバー人材センター活動の支援、小地域ネットワーク推進事業による自治会など各種住民団体の福祉ネットワーク化を図るなど、地域福祉活動への参加の促進により、住民主体の地域福祉社会の実現をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

政策 III 高齢者福祉の充実

施策 1 介護予防の推進

【施策の指標とめざす値】

施策	指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
介護予防事業への参加者数（延べ）		実績	7,707 人	8,000 人	8,200 人
役割分担		住民	地域	行政	民間 企業団体
		◎	○	○	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 介護予防を推進します。

介護保険事業計画に基づき、地域支援事業、地域包括支援センターの利用者便益を第一とした適正運営に努め、高齢者の介護予防による健康で生きがいをもって暮らせる高齢社会づくりを進めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
介護予防事業への参加者数（延べ）	実績	7,707 人	8,000 人	8,200 人
事業実施回数	実績	880 回	900 回	900 回
在宅介護サービス利用者数	実績	162 人	150 人	140 人
介護相談件数	実績	570 件	200 件	250 件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	◎	

施策 **2** 生きがいつくりの推進

【施策の指標とめざす値】

施 策	指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
生きがいをもつ高齢者の割合		アンケート	50%	55%	60%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体	
	◎	○	◎	○	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 高齢者の生きがいつくりを推進します。

敬老事業、高齢者ふれあいセンター管理事業の実施やさまざまな社会活動、経済活動への高齢者の参画機会の拡充により、健康で生きがいをもって暮らせる生涯現役社会の実現をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

施策 3 在宅福祉の充実

【施策の指標とめざす値】

施策	指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
家族介護、福祉活動に関わったことがある住民の割合		アンケート	46.5%	48%	50%
高齢者が暮らしやすい地域であると思う住民の割合		アンケート	14.1%	15%	20%
役割分担		住民	地域	行政	民間 企業団体
		◎	○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 在宅福祉支援サービスを充実します。

住み慣れた家庭で安心して暮らすことのできるよう、らくらくバスの運行、公共交通運賃の助成などを行い、高齢者が地域で安心して暮らせる社会の実現をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
公共交通運賃助成利用回数	実績	6,073回	6,300回	6,400回
らくらくバス年間利用者数	実績	584人	620人	650人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎		◎	

3-2 家族介護者の支援を行います。

介護用品支給事業の利用促進により、介護を担う家族の負担が軽減されるよう支援の充実に努め、高齢者とその家族が安心して暮らせる社会づくりをめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
介護用品支給事業利用者数	実績	39人	35人	30人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎		◎	

施策 **4** 入所施設の充実

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
介護サービス利用者数（施設）	実績	77人	77人	77人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○		◎	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

4-1 養護老人ホームを充実します。

老人福祉法で定められた老人保護措置事業の推進、入所施設の有効利用の促進により、高齢者が安心して暮らせる社会の実現をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
老人保護措置入所者数	実績	46人	50人	50人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎		◎	



養護老人ホーム まほろば大和

政策

IV

障害者（児）福祉の充実

施策

1

障害者（児）の自立支援

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
在宅の障害者のサービス利用件数	実績	89人	100人	120人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○		◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 障害者（児）の自立を支援します。

平成18年度に施行された「障害者自立支援法」を受け、平成18年度に策定した「美郷町障害福祉計画」の推進を基本に、自立に向けて積極的に社会参加する障害者（児）への支援（サービス）体制の充実を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
自立支援事業の周知割合（対象者のみ）	実績	100%	100%	100%
障害者福祉サービスの周知回数（全住民）	実績	3回	4回	5回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		○	◎	○

施策 2 障害者（児）福祉の充実

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
障害者が暮らしやすい環境が整っている地域であるとする住民の割合	アンケート	5.4%	7%	10%
障害者自立支援法による医療・サービスを受けている障害者の割合	実績	17%	30%	30%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

2-1 在宅生活支援を充実します。

地域生活支援事業と訪問系サービス、日中活動系サービスをはじめ、グループホーム等の充実などにより、入所等から地域生活への移行を推進するとともに、在宅で生活することへの不安の解消に努め、障害者（児）が、安心して生き生きと暮らせる社会の実現をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策の指標と同じ

2-2 経済的支援を充実します。

法律に基づく各種の手当てや助成の適正な実施により、障害者（児）や家族の経済的負担の軽減を図り、安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
特別障害手当制度の周知	実績	1回	1回	1回
医療助成、通院助成等利用率（対象者）	実績	50%	60%	70%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

政策 V 児童福祉の充実

施策 1 子育て支援の充実

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
子育てについて不安を持ったことがある住民の割合	アンケート	55.0%	50%	40%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 子育て支援を充実します。

平成17年度に策定した「子ども・家庭・地域が笑顔でつながる子育てのまち」を将来像とする「美郷町次世代育成支援行動計画」の計画的な推進を図り、子育ての負担を軽減することで、安心して子育てできる社会の実現をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
育児相談事業の参加率（利用率）	実績	26.30%	30.0%	40.0%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	



劇団「風の子」による劇「くるり」

施策 2 子育て活動の推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
子育て支援センターを必要と感じている住民の割合	アンケート	53%	実施	充実
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 子育て活動を推進します。

子育てに関する啓発活動を実施します。特に住民ニーズの高い子育て支援センターについては、平成21年度までに開設する予定とし、安心して子育てできる社会の実現をめざし、地域社会と行政が一体となって子育て支援サービスの充実や就業機会の整備などに取り組みます。

【単位施策の指標とめざす値】

施策 3 保育サービスの充実

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
低年齢児保育・一時保育・障害児保育実施園数及び利用人数	実数	2施設	2施設	2施設
延長・休日・病後児保育等現在未実施サービスを必要と感じている住民の割合	アンケート	57%	実施	充実
保育料が安いと思う住民の割合	アンケート	10.6%	10.6%	10.6%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 保育サービスを充実します。

少子化の進行に伴い、町内保育所の統廃合が避けられない状況となっており、前期計画期間内の実施を予定しています。一方、延長保育、休日保育など保護者の保育ニーズを踏まえた取り組みを進め、安心して子育てのできる環境の充実を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
保育サービスの周知回数	実績	1回	1回	1回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	



都賀保育園夕涼み会

政策

VI

母子父子世帯福祉の充実

施策

1

母子父子世帯福祉の充実

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
一人当たり福祉医療費助成額	実績	4,942 円	4,500 円	4,152 円
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 母子父子世帯福祉を充実します。

ひとり親家庭の自立を支援するため、子育て相談・支援体制の充実や母子家庭・父子家庭児童等入学支援支度金の支給など、経済的な困難を抱えるひとり親家庭の暮らしの負担の軽減を図ることで、安心して子育てできる社会の実現をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

政策

VII

生活困窮者福祉の充実

施策

1

生活困窮者福祉の充実

〈単位施策の展開方針〉

1-1 生活困窮者を支援します。

生活保護事業の適正な実施により、生活の不安が解消されるように努めるとともに、自立に向けた支援を行うことで、安心して暮らせる社会の実現をめざします。

政策

I

効率的な行政運営の推進

施策

1

新たな行政システムの構築

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
年度別実施計画の項目実施率	実績	95%	95%	95%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1 行政組織・機構を確立します。

平成17年度に策定した行政改革大綱に基づき、組織再編、職員数の削減など進めており、今後も同大綱の計画的な実施により行政の効率化を進め、機能的な行政組織への転換を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

1-2 本庁・支所・出張所機能を充実します。

両庁舎の情報共有・連携システムの充実や大和事務所における行政機能の充実により、本庁と支所の効率的で利便性の高い機能向上を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
交流センター利用率（沢谷・君谷・比之宮・都賀行地域の住民を対象として）	アンケート	65.9%	70%	80%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	

1-3 窓口サービスの質の向上を図ります。

住民基本台帳システムネットワークの適正運用をはじめ、住民の個人情報の適正管理に努め、円滑なサービス提供を行い、住民の信頼に応えることのできる信頼される窓口サービスの充実に取り組めます。

施策 2 効率的な行政運営

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
行政評価の取組件数	実績	90件	180件	300件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	○

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 計画的な行政システムを確立します。

本計画の計画的な推進により、施策・単位施策において設定した成果のめやす（めざす値）の着実な達成を図り、最小コストで最大成果を達成する行政システムの実現をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
総合計画における「施策」の成果指標の達成率の平均値	実績	—	95%	100%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	◎	◎	◎

2-2 事務事業の効率化を図ります。

平成18年度から試行的に導入した美郷町行政評価制度の運用と財政見通しの連携強化による事務事業の見直しを進め、効率的で効果的な行政運営の実現をめざします。

【単位施策の指標とめざす値】

◆ 施策指標に同じ

施策 3 町政情報の共有化

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
町が発行する広報誌を、関心を持って 読んでいる住民の割合	アンケート	86.3%	90%	100%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

3-1 町政情報の公開

美郷町情報公開条例に基づく情報公開制度の適正運用、読みたくなり、わかりやすく必要な行政情報入手することのできる広報誌、HPの作成・更新に努め、住民生活の利便性向上と、協働のまちづくりへの参画意識の醸成を図ります。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
町が発行する広報誌を、関心を持って 読んでいる住民の割合	実績	86.3%	90%	100%
町 HP 閲覧件数	実績	66,390 件	300,000 件	500,000 件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	◎	○	○

3-2 個人情報保護の推進

行政が保有する個人情報を適正に管理し、信頼される個人情報の取り扱いに努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
個人情報の取扱いに関する「苦情」及び「是正申出」の件数	実績	0件	0件	0件
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	

施策 4 住民との協働の推進

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
役場職員の地域担当制を知っている住民の割合	アンケート	38.1%	50.0%	80.0%
職員の意識改革が進んでいると感じる住民の割合	アンケート	10.6%	30.0%	50.0%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
		◎	◎	◎

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

4-1 協働のまちづくりの推進

積極的な広聴活動の実施、「誇りのもてるふるさと事業」の推進など、住民の行政への参画機会を拡充し、町民と行政の協働による自立をめざすまちづくりを進めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
町政懇談会への参加者数	実績	561 人	780 人	1,000 人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	◎	◎	

4-2 適正な選挙管理運営

適正な選挙管理運営を行い、国政・地方選挙への投票を促します。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
選挙投票率	実績	—	前回を上 回る	前回を上 回る
明るい選挙運動啓発回数	実績	1 回	2 回	2 回
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎	○	◎	

施策 5 広域行政の推進

〈単位施策の展開方針〉

5-1 広域行政の推進

本町では、大田広域市町村圏振興協議会、邑智郡広域振興財団などの構成自治体として、広域的な視点で相互補完しあいながら、連携による広域行政を進めており、今後も効率的で効果的な広域行政を推進します。

政策

Ⅱ

財政基盤の強化

施策

1

健全な財政運営

【施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
経常収支比率	実績	96.2%	96.0%	95.0%
実質公債費比率	実績	23.70%	22.0%	20.0%
基金残高	実績	9億7千8百 万円	9億円	9億円
起債残高(決算)	実績	118億円	100億円	87億円
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

1-1

健全な財政状態の保持

平成18年度予算から一般財源枠を設定した新たな予算編成制度を導入したことにより、歳出抑制効果があがっています。今後も引き続き、歳出の抑制と歳入の拡大に向けた努力により、美郷町の身の丈にあったスリムな財政運営に努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
起債発行額		8億円	5億4千万円	4億4千万円
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	○	○	◎	

1-2 適正な行財政を執行管理します。

監査事務の適正管理など、公正な行財政の執行管理に努め、住民に信頼される行政運営を行います。

1-3 適正な納税を推進します。

税の公平性および自主財源の確保を図るため、滞納の解消など適正な納税を推進します。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
町税の徴収率	実績	95.1%	97.0%	98.0%
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
	◎		○	

施策 2 行財政運営の効率化

【施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
定員適正化計画の実施状況	実績	134人	111人	107人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	

表の見方 ◎ 主体的に取り組むことが求められる層 ○ 支援を行うことが求められる層

〈単位施策の展開方針〉

2-1 町有財産を適切に管理します。

町が所有する不要な遊休施設の売却や財産管理台帳の整備を進め、適正な町有財産の管理と有効利用を図ります。また、公用車の全体台数の削減と低燃費車の導入により経費節減をはかります。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
低燃費公用車の導入台数	実績	0台	1台	2台
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	

2-2 公共事業を適正に管理します。

適正な入札、契約の執行を行い、無駄のない公共事業の実施に努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標設定なし

2-3 職員の能力向上を図ります。

限られた財政と人員のなか、住民の満足度を高める上で職員の資質向上のための取り組みがいっそう重要になっています。このため、研修機会への積極的な参加を促進し、職員の能力開発に努めます。

【単位施策の指標とめざす値】

指 標	算出方法	現状値 (H17)	めざす値 (3年後)	めざす値 (5年後)
研修の延べ参加者数（研修計画分）	実績	30人	50人	50人
役割分担	住民	地域	行政	民間 企業団体
			◎	

2-4 職員の適正配置と人事管理

厳しい財政状況を踏まえ、定員適正化計画の推進に努め、職員の適正化と適正配置を行います。

【単位施策の指標とめざす値】

◆施策指標に同じ

③ 地域コミュニティ計画

1 地域コミュニティ計画の位置づけ

新たにスタートする美郷町のまちづくりは、国全体が人口減少社会へと移行し、少子高齢化が本格的に進行するなど、社会経済の大きな変革期のなかで進めていくものです。

このようななかで、元気で暮らしよい美郷町をつくっていくためには、住民と行政が力をあわせて、考え、行動する「協働と補完」の考え方にたった協力体制づくりが、今まで以上に重要になってきます。

本計画では、住民と行政の協働を、NPO や生涯学習活動などの「関心のあるテーマに基づく住民活動団体等と行政の協働」と「従来からある地域的な地域コミュニティのつながりに基づく連合自治会等との協働」の双方の視点から組み合わせることで、住民生活に身近な課題とまちづくりを直結される仕組みをつくっていくこととしました。

地域コミュニティ計画においては、地域社会の基礎単位である連合自治会において、従来の取り組みを継続する一方で、まちづくりの担い手育成や、地域資源を活用した個性的で持続力のあなコミュニティづくりを目指すものです。

2 地域コミュニティ計画検討の経緯

地域コミュニティ計画は、下記の連合自治会を単位として、それぞれの地域住民が積極的に検討を行った内容をまとめたものです。計画の推進にあたっては、町・県・国等の各種助成制度や、地区担当職員制度などを十分活用することで、協働により推進するものとします。

美郷町の連合自治会（計画掲載順）

連合自治会名	世帯数	連合自治会名	世帯数
沢谷地域連合自治会	265 世帯	浜原地域連合自治会	308 世帯
粕淵地域連合自治会	433 世帯	吾郷地域連合自治会	321 世帯
君谷地地域連合自治会	191 世帯	別府地域連合自治会	129 世帯
比之宮連合自治会	142 世帯	都賀西連合自治会	101 世帯
上野連合自治会	77 世帯	都賀本郷連合自治会	126 世帯
長藤連合自治会	71 世帯	潮・曲利連合自治会	49 世帯
都賀行連合自治会	107 世帯		

世帯数は平成 18 年 3 月末時



沢谷地域 連合自治会

笑顔で安心・出会いに感動・
みんなが主役のさわだに物語

■コミュニティ計画の目標

計画の基本方針

- 沢谷らしい風景づくり
桜街道・石楠花公園・紅葉街道・蛍の川づくり・看板整備
- 沢谷らしい交流づくり
田舎ツーリズム・神楽体験・銀山街道・文化伝承館・交流センター
- 沢谷らしい産業づくり
無人市の拡大・そば道場・山菜・わら細工・注連縄
- 沢谷らしい暮らしづくり
- 安心コミュニティづくり
- 防災防犯体制づくり
- 沢谷らしいヒトづくり
名人やガイド、語り部の養成・世代間交流・サークル活動支援・自治会の活性化

主な活動

- 沿線に桜、紅葉などの植栽、川沿いのヤブの伐採、銀山街道の保護などによる地域景観美化活動
- 沢谷川の蛍、かじか、やまめなどの保護による環境保護活動
- 農家民泊、山菜採りツアーなどみんなが感動する食材の採取、調理体験、神楽体験等による田舎ツーリズムの推進
- 高齢者の力を結集した薬草、薬酒など長寿の食づくりと野菜作りによる無人市の活性化
- 香典や見舞い、祝いなどの返しの廃止による生活改善と人材育成による自治会活動の活性化
- 防災訓練や婦人消防隊組織化、集落ごとの防災防犯委員配置による暮らし安心地域づくり

地区の良いところ

- 地域全体で運動会や盆踊り、清掃活動、福祉活動などコミュニティの基礎ができつつある
- 銀山街道など歴史的遺産や神楽、はやしこなど伝統芸能が保存継承されている



九日市地区

地区の課題

- 沢谷川沿いの木が伸びて対岸集落が見えなくなつて、昔のような交流が希薄になっている
- 高齢化と担い手不足、有害鳥獣被害などにより農地が荒廃し、景観保全ができなくなっている
- 子供が少なくなり、また高齢化で自治会の世代交代が進まず、葬式などが負担になっている
- 独居家庭が増えて冬場の除雪や道路整備、防災防犯など自治会への負担が増えてきている



シャクナゲ植栽

地区のまちづくり資源

自然	千原温泉 塩の元温泉 沢谷川の蛍 カジカ ヤマメ 連水の滝 城の山
歴史	銀山街道関係の史跡 佐和華谷 八幡宮 熊見横穴群
文化	ふるさと伝承館 千原神楽 沢谷の民話
環境	三江線 美郷飯南線
産業	沢谷中央市場 千原無人市 営農組合
人	伝統的な技を持った人 千原神楽団 昔話のできる人 書道名人 そば打ち名人 野菜作り名人 森林インストラクター パソコン指導者 わら細工名人
暮らし	たんぼぼクラブ 和老会
食	そば まき 漬け物 香茸 山菜 ヤマメ 鮎 イノシシ タケノコ
景観	前川桜 桜公園 桜街道 石楠花公園 交流センターのイロハ紅葉
歳時	盆行事 祭り行事 泥落とし とらへい

地区のまちづくりポイント

- 知名度の高い千原温泉や銀山街道史跡など集客力のある資源を活用する



境木復元

- 冬季の除雪ボランティアや隣近所の声かけなど地域での相互扶助の精神を継続する
- 高齢者のいろいろな知恵を活かして地域が元気になる仕組みを作る
- 三興会青年部や酒栄会、たんぼぼクラブ、神楽団などの活動を支援、拡大する
- 地域の人が地域の宝を再認識する場を作る
- 地域の課題や情報を全員で共有し、みんなで協働して問題解決にあたる仕組みを作る



浜原地域 連合自治会

見直そうふるさと、
活かそう地域づくり

■コミュニティ計画の目標

計画の基本方針

- 歴史、文化の伝承
地域での古くからの事業「例大祭、しゃぎり囃子、盆踊り」
- 自治会の再編
- 地域の児童とお年寄りの交流により知恵と技の伝承
- 生涯スポーツを通じ健康な身体づくり
- 若者が帰って住みたくなる町づくり
- 町の木である梅を植林し梅林公園を造る
- お年寄りが安心して住めるまちづくり

主な活動

- 空き家の活用 ● 子どもの安全パトロール
- 花のある街並み「沿道花いっぱい運動の展開」
- 銀山街道の整備 ● 少子化対策 ● 八幡城跡の整備
- 地域の児童とお年寄りの交流 ● 健康づくり
- ウォークラリーの開催 ● 生涯スポーツの推進
- 独居老人対策 ● 自治会の再編 ● 知識、経験、技能の伝承
- 方言の伝承 ● ボランティアの推進 ● 特産品づくり
- 独居老人等への訪問と声かけ運動
- カヌー館等への協力と利用者増対策
- 協議による取り組み、ものづくり、行事を通じた交流・福祉への理解
- 休耕農地の有効利用



軽スポーツ大会

地区の良いところ

- 人生の知恵 ● 自然環境・景観の良さ ● 地域の助け合い
- 歴史、文化、歳事の豊富さ



浜原地区

地区の課題

- 少子高齢化、人口の減
- 雇用の場
- 商工業の衰退
- 住民の減と世帯数の減
- 水害への不安
- 空き家対策
- 自治会の再編
- 子どもとのふれあう機会、場がない
- 若者が少ない
- 農地の荒廃が目立つ（休耕農地の活用）
- 過疎を逆手に観光産業への取り組み

地区のまちづくり資源

自然	江の川自然公園 地域全体の景観
歴史	八幡城跡 青杉状跡 テレビ塔 信喜毘沙門堂 桂根八幡宮 銀山街道 佐波公園等生かした地域づくり
文化	上川戸芸能保存会（しゃぎり囃子）・地区民運動会・公民館（隣保館）活動の強化
環境	自然にやさしい環境づくり
産業	特産物 農林業 建設業 製造業 サービス業 山林資源と農地を活かした産業
人	自治会 交友会 せおう会 新星会 青杉会 保育所保護者会 小中PTA むつみ会 浜っこクラブ 婦人会 地区社協 地区民政児童協議会 郷土芸能を守る会 花の里の会
暮らし	各施設及び空き家の有効利用
食	米 山菜 野菜 鮎 お茶づくり（茶摘みの体験ツアー充実） ブラックバスの食用化 料理
景観	浜原ダム 妙用寺のさくらとツツジ 江の川と三瓶山 カヌーの里を活かした地域づくり 堤防花壇 夫婦淵周辺の紅葉
歳時	氏神さんの秋の例大祭 盆踊り 美保神社祭 親と子の夕べの集い

地区のまちづくりポイント

- 若者の就労の場の確保
- 産業の創出
- 安心して暮らせる町づくり
- 地域活動の推進
- 伝統文化の伝承
- 地域資源と社会資源の有効利用
- 方言の伝承
- 古里を愛し誇りをもつ子どもたちの育成
- 空き家の利用
- ゆとりに結びつく農業への発送
- 旅人が足を止め、若者が増えるまちづくり



妙用寺桜



粕淵地域 連合自治会

みんなで考え、
みんなで作ります、
地域活動

■コミュニティ計画の目標

計画の基本方針

- 交流人口を増やすための取り組み
 - 連合自治会、単位自治会の役割分担（人、アイデア、活動による交流の場づくり）
 - 地域特産品の開発と商品化
 - 子育て支援を通じた異年齢交流（高齢者の子育てボランティア等）
- 元気でいつまでも地域で活動するための体力、健康づくり（健康スクラム）
 - 健康ウォーキング指導者設置。時間設定の上、ある程度の人数で実施
 - わいわいサロン、ユートピアの利用
- 見回り等による防犯体制の確立や、悪徳商法、詐欺等に対する地域での警戒態勢
 - 訪問、ハガキ等で不審と思えるものは、わいわいサロンに持ち寄り対策を講じる
 - 各地域で相談員を設置。情報収集による共有化
 - 独居家庭のサポート体制づくり
- 明るい街並み作り
 - 電柱に街灯及びイルミネーションの設置、花等の植栽により明るい街並みを創る
 - 豊かな自然、景観を生かした町づくりを図る
- 地域行事への積極的な参加で、連帯感の強い地域づくり

主な活動

- ライトアップ、イルミネーション、花の植栽（季節の花に出会える散歩道）で町を明るく
- 市街地に駐車場整備（住宅の跡地利用など）
- 高齢者を中心に授産的場作り（高齢者同士が支え合う活動）
- 押し売り、電話等の勧誘等の断り方。実際に被害にあった事例発表
- 健康づくり。あいさつ運動
- 貸し農園、休耕田利用（健康増進）
- 交流会、交換会の開催（同志会、婦人会、老人会、各種スポーツ団体）
- 山野・河川を保全する
- 中国自然歩道、銀山街道などの散策道の整備
- 公民館活動の推進（若者サークル体験コーナー、農業、陶芸）
- 町内の空き店舗に集会施設となれば良い
- 駅前広場等の人が集まる施設に案内看板や観光案内があれば良い
- 街中に巡らされた井出の活用…開口部が簡単に開くと散水等ができる



粕淵遠景

地区の良いところ

- 町施設、金融機関、商店等の利便性がある
- 交通機関等の利便性がある
- 環境がよい
- 町の行事等に参加しやすい。情報が多い
- 行政との連絡がとりやすい
- 連単地なので地区の事情がよくわかる
- 連単地以外の地区は、世帯数が少なくこぢんまりしていて、お互いの日常の様子がよくわかり、プライバシーを尊重しながら生活している
- 自治会が小規模（面積、単位）なので、話がまとまりやすい
- 都会と違い他人事では済ますことができない田舎の性格が良い
- 毎月1回は皆が集まって顔を合わせる。自治会活動は何事も皆で話し合って決める
- 自然のままの山川がまだ残っている
- 個々の助け合いがよい
- 良い技能を持った方が居られる。子ども達に伝えていってほしい
- 人柄が良く、お互いに気軽に声掛けができています
- 田畑がまとまっていて、荒れ地が少ない



わいわいサロン



桜植栽

地区の課題

- 高齢化により人口減少が進み、一人住まいの方が多く労働力不足。特に除雪等に困る
- 独居老人宅が増加するため、高齢者対策が必要。(悪徳、詐欺商法等に対する地区での取り組み)
- 隣、近所で声がけ(一声)運動
- 商店が少なく、小さな店は閉店の可能性が高い。高齢者が多く、子どもが少ない
- 独身者の結婚対策(少子化対策)、独居老人のサポート体制
- 連単地、商工地であるため、共通の課題が少ない。(交流の場づくり)
- 農産物販売。自給自足
- 下地は十分あるのに活用できていない。先頭に立って行動を起こせる人、リーダーが必要
- 心の健康、体の健康づくりのためのコミュニティスポーツ、健康ウォーク等の開催
- 非常災害時対策(地域防災マップの作成、避難場所、安否確認の方法、危険箇所等)
- 夜間、街灯の未完備な場所があり、弱者の安全対策が必要
- 定住につながる就労の場が少ない(地場産業が少ない。建設工事の減少)
- 空き家対策
- 農業従事者が減り、休耕田が増える
- 針葉樹の植林地が多く、自然破壊されている。野生動物による農作物被害が多い
- 集会所が小さく、利用しづらい

地区のまちづくり資源

自然	江の川 三瓶山 天然記念物の大山椒魚 モリアオカエル・カジカ・蛍の生息地 尻無川 魚切滝付近の渓谷 滑谷川上流の滝 津和野のように水路を使っての鯉の飼育 久保ホタルの復活支援
歴史	大森銀山 銀山街道 鴨山公園 記念館 鴨山カルタ会の推進 野井明神岩
人	同志会 久保有志会 高畑興友会等ボランティア団体の育成・協力 人生経験豊富な高齢者
環境	ゴールデンユートピア(上り坂に草花を植える) わいわいサロン いきいき活動支援センター 鴨山記念館 湯抱温泉(新湯の源泉) 果瀬川親水公園 地区の空き家 高畑天満宮 高畑無人市
景観	桜公園整備
産業	稲藁(しめ縄、草履作り) 竹藪を活用(竹細工、竹炭作り) 陶芸窯元(鴨山焼)
歳時	夏祭り 盆踊り 秋祭り 祭りのシャギリ 浄土寺報恩講
食	山くじら

地区のまちづくりポイント

- 田舎の人情、助け合い、親切心からなる声かけ、あいさつを続ける
- 地区全体での交流、協働の場をつくる。若い母親の集まる場所がほしい
- 地域伝承行事（夏祭り、盆踊り、秋祭り等）への参加の方法を考える
- 健康であり続けるための活動をする。参加する
- 桜公園整備にみんなで参加する
- 非常災害時の備えをする
- お年寄りの培ってこられた知恵を大切にする。地域のすぐれた人を活かす
- 休耕田の有効活用
- わいわいサロンの活性化
- 山野・河川を保全し、自然を守る
- 温泉の活用
- 若い人の働く場所や環境をつくる
- 地区の良さをPRする
- 若者や女性が活躍できる場所を増やし、子育て支援や職場の確保等、若者や若者夫婦を増やす努力が必要
- 高齢者と子どものふれあう地域づくり
- 暗い街並みを明るくする
電柱に街灯、イルミネーションの設置



野間雲海



吾郷地域 連合自治会

みんなの知恵と和で 元気な地域づくり

■コミュニティ計画の目標

計画の基本方針

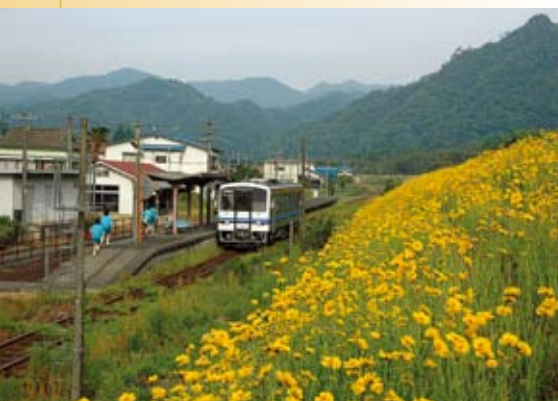
- 地域環境美化の心がけ
- 高齢者から学ぶ心がけ
- 住んでよかったという満足感
- 互いを認め合う人づくり
- 伝統文化の継承
- 地域の良さを発見し、地域づくりに活かす心がけ

主な活動

- 吾郷地域を考える会の設立
- 高齢者に学ぶ会の開催
- 地域の環境美化運動
- 軽スポーツの普及と食生活の改善による健康な身体づくり
- 伝統文化の継承
- 独居老人宅の訪問活動



グランドゴルフ



築瀬駅前花畑

地区の良いところ

- 助け合いの精神が旺盛
- 若い人の伝統文化継承意欲が旺盛
- 江の川を中心に景色がよい

地区の課題

- 吾郷小学校跡地の活用
- 独居高齢者が多い
- 空き家対策
- 交通の便が悪い
- 耕作放棄地が増えている
- 未婚者が多い



地芝居

地区のまちづくり資源

環境	旧吾郷小学校跡地がそのまま残っている
人	高齢者の技術（竹細工・炭焼き・漬け物・ちぎり絵・切り絵）
歴史文化	地芝居 神楽 シャギリ 盆踊り等の伝統芸能
自然	清流 江の川を中心とする豊かな自然（巨木・青杉遊歩道・棚田・蛍・カジカ等）
産業	大五建設の蘭栽培 栗原小菊会の菊栽培 藤田組の野菜栽培 山くじら生産組合の猪肉等加工品

地区のまちづくりポイント

- 吾郷地域を良くするための提案と実行
- 通って楽しくなる街道づくり
- 地域の伝統文化の継承と参加
- 地域行事への積極的な参加
- 地域資源を見直し活用方策を考えよう
- 高齢者の知恵に学ぶ姿勢
- 高齢者が安心して暮らせる声かけ
- 軽スポーツによる健康づくり



君谷地域 連合自治会

校区の壁を取り除いて 連帯のコミュニティを築こう

■コミュニティ計画の目標

計画の基本方針

- 地域で支え合う福祉と教育
- 健康、ふれあい、生き甲斐の郷づくり
- 文化が薫り、歴史が息づく郷づくり

主な活動

- 健康づくりで君谷路を歩いてみる活動
車の目線と車内から離れて、歩く季節を感じ、君谷再発見
早朝ウォーキングやナイトウォーキング
- 地域で高齢者や子どもに気配り、目配りしよう
声かけ、話し相手、共同作業、啓発活動
- 大森銀山に関する資料の発掘や郷土の歴史を学び、地域おこしにつなげる
- 元気な集落づくり事業による事業効果が最大限発揮できる体制づくり
- 農産物の栽培や加工について、身近に行える研修を多く行う
- 校区の壁を取り除くためにも、地域が一丸となって運動会などの催しをしよう



伝統行事「トラヘイ」



君谷地頭所地区

地区の良いところ

- 気心が知れて、安心してゆったりできる
- 義理人情に厚く、昔の共同体の良さが少しは残っている
- 自然が豊かで、空域がきれい
- 純情な人が多い

地区の課題

- 道路が狭く、公共交通の便が悪い
- 旧小学校区で自治活動が行われてきた弊害が解消されず、物事を一つにまとめにくい面がある
- 高齢化が進み、自治会活動に支障が生じたり、独居高齢者のケアについて責任がもてない状況になりつつある
- 後継者が都会地に出ており、耕地の荒廃が進んでいる。有害鳥獣の被害拡大
- 総合病院が遠く救急の事態が心配
- 携帯電話が使えない
- ダムの放流による冠水

地区のまちづくり資源

自然	豊かな自然 明神岩
歴史文化	花田植え シャギリ 神楽 トラヘイ などの古くからの芸能や文化
暮らし	高齢者の知恵や技術
産業	有機栽培野菜 健康食品 久喜原農業振興会 やなしお市
その他	石見銀山に近い地理的な優位性

地区のまちづくりポイント

- 異世代間の交流や参加者が自主的に参加でき、心温まる交流
- 今ある自然や、伝統、文化、知恵を大事に受け継ぎ、再発見し、感動する気持ちを常に持つ
- 遊び心を取り入れ、誰もが（老若男女）得意分野を生かし、主役になれる場を多く創る
- 健康増進運動と手軽にできるスポーツの普及
- 君谷発の特産物や特産品開発



伝統行事「トラヘイ」



別府地域 連合自治会

美郷で一番住みよい別府

■コミュニティ計画の目標

計画の基本方針

- 住みやすい環境づくり
- 元気な地域づくり
- 助け合う仕組みづくり
- 文化を温める暮らしづくり
- 心と体の健康づくり

主な活動

- 住民の心を一つにし、他地域の人が訪れるイベント・事業実施
秋祭り、運動会、文化祭、夏祭り、春祭り、蛍祭り、コミュニティスポーツ大会、银山街道ウォーク、体験農園開設、小動物公園開設
- あいさつ運動
お元気ですか、行ってらっしゃい、お帰り
- 全戸イルミネーション（安否確認）の継続
- ふるさとの味再発見塾 田舎暮らし体験塾 地産地消運動の推進 やなしおの里を道の駅に
- 農事組合法人で農地の有効活用と特産づくり
五百万石で地酒銀路、そば、自然薯、椎茸、餅等
- 定住条件整備
民間賃貸住宅建設、有志でコンビニ立ち上げ、お見合いパーティ企画
- 高齢者の安心安全対策
暮らしの安全・健康管理・緊急対応等の教室開催、ショートステイ整備住民自治の充実、見守り隊、公民館に提案箱設置、自治会再編、共同利用の祭壇整備、银山案内標識設置、美しい花壇コンテスト、一斉草刈清掃、カワニナの採取と放流清掃
- 美しい里づくり
- 银山街道筋に桜の植栽、四季の花街道、ゴミ拾い健康ウォーク、写真コンテスト



別府地区

地区の良いところ

- 大邑国営農地開発地があり、畜産、酪農、大麦若葉生産などが行われている
- 石見銀山街道筋の地域であり、これにまつわる歴史、民話などがある
- 自治会と各種団体との連携が強く、まとまりがある地域である
- 大田市市街地まで自家用車で10分の位置にあり、通勤、買い物が便利な地域である
- 寒暖の差が大きく、美味しい米の生産地として、酒米を生産している
- やなしおの里産直市があり、農家の生産意欲が盛んな地域である



花田植

地区の課題

- 過疎化が深刻な社会問題となり、地域活力がなくなりつつある
- 高齢化により高齢者の安否、緊急時の対処法など新たなシステムが必要になってきた
- 若者が結婚できない。結婚しないので、子供が生まれない
- 会社勤めが中心の社会となり、共通の話題が無くなり、地域連帯感が薄らぎつつある
- 大田市への国道375号改良はほぼ完了したが、粕淵への改良が進んでいない
- 耕地の荒廃が進みつつある
- イノシシ、猿の農作物被害が農業の生産意欲を妨げている

地区のまちづくり資源

- | | |
|--------|--|
| 自然 | 瓦用粘土の産地 オオサンショウウオ ゲンジボタル ヤマドリ ヤマセミ |
| 歴史 | 石見銀山街道（やなしお道 炭方六ヶ村 箱茂のお松 陰徳太平記別府小丸山の戦い 井戸公顕彰碑） |
| 文化 | しゃぎり 田植えばやし 盆踊り 別府八幡宮大元神楽 |
| 環境 | 戸風呂谷のゲンジボタル 志君川のオオサンショウウオ |
| 産業 | 良質米の産地 国営開発地での畜産 酪農 大麦若葉の生産 |
| 人・グループ | 松青会の伝統芸能継承 寺谷の農産加工グループ やなしおの里産直グループ
小松地営農倶楽部 剣道クラブ |
| 暮らし | コミュニティスポーツとしてのゲートボール グランドゴルフ 大正琴
習字教室 パソコン教室 |
| 食 | 五百万石の地酒「銀路」 寺谷の「かあちゃん味噌」 転作の手打ちそば
きねつき餅 まき おこわ |
| 景観 | 三瓶山 尾原牧場 大邑寺谷 槇の前 箱茂団地 大田原牧場の夕日
城山の朝日と夕日 |
| 歳時 | 明光寺の除夜の鐘突き 別府八幡宮初詣 春祭り（田植えばやし＋テント市＋銀路披露） 蛍祭り 夏祭り（盆踊り） 体育大会 秋祭り（しゃぎり） 産業文化祭 |



小松地営農倶楽部始動

地区のまちづくりポイント

- 今あるもの（人、文化、自然、産業）を活かす地域づくり
- やる気のある人による具体的なロードマップづくり
できることから段階的に事業を実施（小さな実績の積み重ねで自信をつける）
- フェイス・ツー・フェイスのコミュニケーション
- 心と体の健康づくり
- 参加できる人は、全員参加の地域づくり



イルミネーション



比之宮 連合自治会

ふれあって、花の咲く、
安心の比之宮里山づくり

■コミュニティ計画の目標

計画の基本方針

- みんなの支え合いで、安心比之宮ぐらし
- 世代間との交流の輪を広げ、人がふれあう郷づくり
- 自然環境を整備し、美しい里山をつくろう

主な活動

- 高齢者の見守り、支援体制の確立、声かけ、買い物支援、通院、外出支援
- 各集落に営農組合を設立し、組織の法人化につなげていく
- 里山整備、桜公園整備、花街道づくり
- 世代間の交流事業



教育グリーンツーリズム



比之宮の宮内地区

地区の良いところ

- 青壮年団体、婦人会、老人会との連携もよく協力的
- ほ場整備が完了している農業地帯
- 元気な高齢者が多い
- 公民館を中心に、室内ゲートボール場、旧宮内小学校の校庭がある

地区の課題

- 高齢化、農業の担い手不足により、荒廃農地の増加
- 独居、高齢世帯の見守り
- 子どもが少なく、世代間交流の場が少ない
- 携帯電話使用不能地域がある
- 県道の未改良部分がある

地区のまちづくり資源

自然 景勝地蟠龍峡公園 豊富な自然

歴史文化 山南城跡

歳時 祭り 楽打

環境 多くの使われていない農地

人 高齢者の経験や技術

地区のまちづくりポイント

- 今住んでいる人が、親密で助け合える近所づきあいで、暮らしやすいと思えるまちづくり
- 暮らしてみたいと思われる環境整備
- 高齢者のアイデア、経験、技術を生かす
- 美しい農村景観



サマーフェスティバル in 蟠龍峡



都賀西 連合自治会

ふれあって
よつといで

■コミュニティ計画の目標

都賀西

第1章

第2章

第3章

資料編

計画の基本方針

- 安心安全心地よく
- 農で育む協働の里
- 「よつといで」 みんなでつくる笑顔の場
- 伝統芸能でつくる交流の輪

主な活動

- 定住（U・Iターンにやさしく）の促進
空き家の利用・管理
- 安心・安全な地域づくり
災害による防災体制の組織化等
- 集落営農の組織化
集落営農への取り組み強化と組織化及び栽培教室等の開催
- 地域資源を活用した加工商品の開発
高齢者や女性の活動できる場所づくり
- 健康と笑顔あふれる場所づくり
基幹集落センターの定期的な開放とサロンの利用
- 伝統芸能と交流の輪づくり
「神楽」をシンボルタワーにした活動



子供神楽



都賀西地区

地区の良いところ

- 人情に厚く老人会・婦人会西友会との連携もよく協力的でまとまりがある
- 伝統芸能が継承、保存され大切にされている
- 地形が平坦で比較的まとまっている
- 地域に保育園、小学校があり活力源となっている
- 体育館、野球場、加工センター、育苗センター、ライスセンター等があり施設が充実している
- 水田が一本の水路系で賄われており農地を守ろうとする意識が強い

地区の課題

- 農家の高齢化が進行しており、地域の農業を支える担い手が不足しており、将来的な農地の荒廃が危惧されている
- 少子高齢化、過疎化による人口の減少に伴い空き家が増加している
- 道路幅員が狭く、歩道及びガードレールが未整備である。
- テレビ、携帯電話の難視聴地域がある



天瀬で都賀西の夏を楽しむ集い

地区のまちづくり資源

自然

雄大な江の川と天瀬

歴史文化

鉄の発掘現場 角谷取水口から導水路 用水路等の歴史は貴重な文化遺産 丁状跡 尼子陣所跡は地域の歴史は将来に引き継がなければならない歴史的文化財
都賀西神楽 お寺

産業

ヤナ漁の伝統漁法が今に引き継がれている。

暮らし

高齢者の技能と知恵

景観

大埜の展望台からの自然景観 比較的平坦な田園地帯。

歳時

祭り 楽打ち

環境

学校施設

地区のまちづくりポイント

- 若者から高齢者までが集うふれあいの場所づくり。特に高齢者の憩いの場所づくり
- 高齢者や女性ができる収入につながる仕事
- 高齢者の技能と知恵を地域に生かす方策
- 女性の活動ができる場所づくり。また、女性の和の拡充
- 各自治会とも高齢者が多い。冠婚葬祭の合理化
- U・Iターン等による定住の促進



上野 連合自治会

共に支え合い 日々笑顔の上野づくり

■コミュニティ計画の目標

計画の基本方針

- 地域全体での支え合い
- 上野ふれあい会館での活動の充実
- 高齢者の生き甲斐活動
- 文化創作活動の推進
- 地域情報誌の継続発行
- 世代間交流の促進

主な活動

- 子供や独居の高齢者等への支援や見守り活動をする
- 子供や高齢者が共にくつろげるよう上野ふれあい会館をオープンスペースとして充実する
- 休日のノー作業デーを決め、ゆとり生活をする
- 創作活動や教養講座、映画会を定期的で開催する
- 案内板の設置など地域のイメージアップを図る
- 祭りを盛り上げる
- スポーツを振興する



花壇作り



上野地区

地区の良いところ

- 新造寺川、里山、棚田、田の原展望台、ガニ山公園など自然に親しめる場所が多い
- 国道 375 号両国トンネルの開通後は、三次市街地や広島市へ美郷町内で一番近く便利な地区である
- 地区の戸数、人口が少ない反面、親近感、助け合いの気持ちは強い
- 地区内の神仏を介しての集まりが、連帯感の醸成の一助となっている

地区の課題

- 子供、若者が少ない反面、高齢者が多く独居の世帯が増えている。このため農業の担い手が減少しつつあり先々に不安がある
- 町内近隣に雇用の場も少なく、若者の定着が困難で、集落の冠婚葬祭や自治会の役員構成にも支障が出はじめている。このため集落の再編や連合自治会の役割が一層大切である
- 道路や通信施設の整備を機に就労や交流の範囲、機会の拡大と意識改革し、定住促進を進める必要がある

地区のまちづくり資源

自然 川遊びに適した新造寺川 飯谷の枝垂れ桜 後谷の大歳桜

歴史文化 お寺

景観 備北・石見を一望でき、車で頂上まで行ける田の原展望台 ガニ山公園 里山 棚田など身近な自然景観

人 わら草履作りの名人 田植え唄の名人など特技のある人

歳時 祭り 楽打ち

環境 休耕田 田の原理め立て地

暮らし 癒しのある人々の暮らし



ふれあい会館清掃

地区のまちづくりポイント

- 若者、高齢者、男性、女性の交流を活発にし、開かれた地域づくりを連帯して進める
- 高齢者の知恵、技術を大切にし、生き甲斐づくりを進める
- 恵まれた自然環境の中で生活しているので、今後も自由とゆとりの生活を大切にする



都賀本郷 連合自治会

和と輪でつながる 明るい本郷

■コミュニティ計画の目標

計画の基本方針

- 情報の共有化及び交流事業や地域の防災活動の構築
- 連合自治会の組織強化及び限界集落への支援体制の構築
- UI ターンの推進
- 伝統文化の伝承

主な活動

- 自治会機関紙を発行して地区の行事や地域の情報共有化
- 自治会内の防災マップの作成
- 伝統文化の伝承として「楽打ち」の実施
- 高齢者世帯や独居老人世帯への声かけ運動やゴミ処理事業の実施
- 限界集落への支援体制の実施
- 町とタイアップして空き家を利用した、UI ターンの誘致や地域内の誰もが気楽に集まれる場所の確保
- 料理教室を通してのコミュニケーションの場の設置と、野菜・山菜等の食材の再認識の推進



楽打ち



都賀本郷地区

地区の良いところ

- 公共施設が多いことや、三江線石見都賀駅等の交通機関や国道 375 号沿線の地区であることから利便性が高い。また、人家が比較的まとまっている
- 江の川を背景とした景観がすばらしい

地区の課題

- 人家がまとまっているが、組織力、団結力が無く、また協調性が欠けるところがある
- 少子高齢化により自治会の清掃活動や農地保全が困難になりつつある。また、集落の過疎化により限界集落がある
- 地域の交流会が少なく、会議や各種行事等への参加が少なく活気がない
- 空き家や利用されていない公共施設が多く、地域に寂しさをもたらしている。また、商店が少なくなってきた
- 高齢者世帯が多く、人手不足が心配される

地区のまちづくり資源

自然	江の川やくじら岩
文化	楽打ち等伝統文化 松尾山八幡宮
観光	鮎の友釣り等釣り場
環境	空き施設 農地の再利用 空き家や町不在農地の活用 公民館の活用
人	人材が多い
食	山菜（山が近く採取が容易）
景観	江の川荷越等は県立自然公園となっている。

地区のまちづくりポイント

- 楽打ちや伝統文化や地域の相互扶助活動、誰もが気楽に集まれる施設。また、その施設を拠点として人材バンクや情報の共有化を図ること
- 各自治会間の連携を図って、安全・安心な地域を構築する
- 誰もが参加できるイベント等を開催して、地域の交流を図る



救急蘇生法講習会



長藤 連合自治会

安心で支えあう 地域の和（づくり）

■コミュニティ計画の目標

計画の基本方針

- 防災・防犯の意識を身につける取り組み
- 高齢者の自立を促すための取り組み
- 道の駅・林業センターを核とした地域づくり
- 地域の食文化を生かした産業と交流の場づくり
- 世代間交流の推進

主な活動

- みんなが集まりやすい、参加しやすい場づくり・環境づくり
- 共同作業による野菜づくり。加工品づくりの勉強会
- 地産地消を生かした農家レストラン
野菜市との連携を図る
- 高齢化に伴い、思いやり助け合う地域環境づくりと語らいの場づくり
- 救急時の初期手当と応急対策、災害時の避難訓練についての日頃からの心構え
- 地域の若年から高齢者までが一同に参加できる行事
例：納涼祭、盆おどり、さくら祭り



グリーンロード納涼祭



原地域 道の駅周辺

地区の良いところ

- 協力と和の精神がある
- 美しい自然がある
- 集会の場がある
- 道路事情がよい



芝桜植栽

地区の課題

- 全般に指示待ち型の人が多く積極性が不足している
- 一部の人に社会的負担がかかりすぎる
- 若い人が少なく、世代間交流が希薄である
- 高齢者を含め交流、語らいの機会が少ない
- 農業後継者、担い手が不足している。今後の里山（荒廃・鳥獣対策）、農地の保全が問題である

地区のまちづくり資源

自然	江の川及び二つの支流の流れとそこに生息する生物等 (かじか、ヤマメ、蛍、ハンザケ)
歴史文化	伝説 伝統芸能の掘り起こしと継承
環境	道の駅 ゲートボール場 中学校等の施設の有効利用
産業	雑木山林の有効活用（木炭生産、燃料用薪、きのこ）
食	里山 耕作放棄地 休耕地をゆず・柿などの果実畑 山菜畑への転用
景観	手つかずの自然が多く、景観保全による住民のやすらぎと憩いの空間

地区のまちづくりポイント

- みんなが興味を持ってまちづくり、地域づくりに参加できるように、お互いに尊重し話し合いの場をつくる（交流）
- 地域コミュニティの再構築のため、住民が全員で参加できるような行事を計画する
- 高齢者対策としてお互いで見守り、サポートできる体制づくり
- 地域の歴史・文化の伝承、伝統芸能の継承（文化）



潮・曲利 連合自治会

若者も老人も共に楽しく、助け合い、
いきいき暮らせる地域にしよう
みんなの和と輪で笑顔あふれる地域づくり

■コミュニティ計画の目標

計画の基本方針

- 高齢者が病気等の災害発生時緊急避難場所の徹底、情報の共有、支援策の確認、火災水害時の対応、食住確保体制
- 自主避難や自治会長が避難号令の出せる体制づくり
- 花壇の草取りなど、美化活動作業を通じて、地域の誇りと連帯意識の共有を図る
- 潮温泉祭りを大和荘と協力して、地域のイベントから町のイベントに

主な活動

- 今行っている年始会、春の花見交流、温泉祭り、地域交流運動会、いきいきサロン、秋の収穫祭、花壇ボランティア、などの交流活動の継承
- 観光資源の発掘、大和荘の露天風呂建設提言
- 緊急時連絡網の体制づくり、緊急時活動体制をシュミレーションした訓練の実施



温泉まつり



潮地区

地区の良いところ

- 自然が豊で溪流がきれいで、蛍や川魚などが沢山生息している
- 毎月1回の常会を続け、世代間の交流が比較的スムーズに行われ、相互扶助の精神が高く、各種行事への参加率が良い

地区の課題

- 高齢化人口減少
- 未婚者が多く過疎化の進行により、集落機能や活力低下が進む
- 農林業後継者難、農業への展望が見えない
- 農地面積が少ないのに休耕田、荒廃農地が多いことが目立つ

地区のまちづくり資源

- 潮温泉（湯上がりのよさは天下一品）
 - 四季折々江の川の景観
 - きれいな星空
- ※上記3点をセットにしてPR
- 潮谷川親水公園を中心とした花のある風景
 - 農村広場ゲートボール場
 - バーベキューハウス
 - 蛍公園

地区のまちづくりポイント

- 自治会を中心とした連帯感を強め、若者や女性リーダーの意見を取り入れ、収入につながる知恵を出し合う、意見交換を活発に行える地域にする



潮桜



都賀行 連合自治会

みんなの声が聞こえる 元気な都賀行

■コミュニティ計画の目標

計画の基本方針

- 資源の有効活用による住みやすい地域づくり
- 助け合いの精神をモットーに一体感を感じる地域づくり
- 交流の推進により生き甲斐のある地域づくり
- 自ら汗をかき自らつくる地域づくり

主な活動

- 水玉山の公園化
- 公民館に工房を設置（木工、竹細工、わら細工、食品加工）
- 農産物に付加価値をつけ販売（発芽玄米、白米、もち、こんにゃく）
- 自治会内での人材センター
- 独居高齢者の見守りネットワークの構築
- 出身者会をパイプに都市交流の推進
- 集落営農による作物生産及び特産化
- 地域内の点検（道路、河川、生活環境等）
- 自治会イベントによる世代間交流
- リサイクルの推進による地域環境の保全
- 木炭生産技術の伝承
- ホタル生息の環境作り及び繁殖



クリスマス会



都賀行地区

地区の良いところ

- 公共施設が集合しているため、ふれあいの場が沢山ある
- 高齢者が元気である
- 助け合いの精神が残っており人情味がある
- 廃れていた伝統行事（盆、祭行事）を復活させ伝承している
- 公営住宅があるため比較的若い人が多い
- 下水道が整備されている
- 定例会により知恵を出し合っている。（猪谷地区）
- 江の川の鮎をはじめとする自然の恵みに恵まれている

地区の課題

- 高齢少子化が進んでいる
- 集落が維持できなくなる
- 農業の担い手がいない
- 地域の行事を行うメンバーはいつも同じ
- 行事を行うとき他団体の協力が薄い
- 集落で寄ることは不幸のとき以外はない
- 若者の働き場がない
- 鳥獣（猪、鳥）による農作物の被害が増大している



とんど焼き

地区のまちづくり資源

自然	水玉山 猪谷川のホタル 江の川
環境	公民館 隣保館 集会所 公営住宅 上下水道 ゲートボール場 給食センター
食	鮎 米 もち
人	高齢者のパワー
その他	遊休地 休耕農地 住民宅空き地

地区のまちづくりポイント

- 地域の連携及び助け合いの精神
- 地域内の資源活用

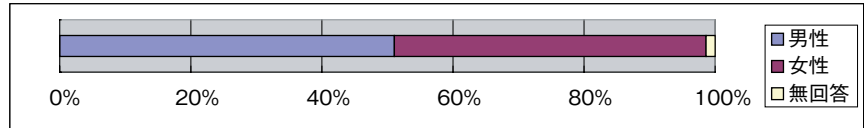
資料編

美郷町まちづくりアンケート単純集計結果……	205
「美郷町のまちづくりのための中学生アンケート」 中学校別クロス集計表	211
美郷町町づくり委員会委員……	222
美郷町総合計画審議会委員……	223
美郷町総合計画策定委員会委員……	224
美郷町第1次長期総合計画策定経過……	225
美郷町第1次長期総合計画案について（答申）	226

美郷町まちづくりアンケート単純集計結果

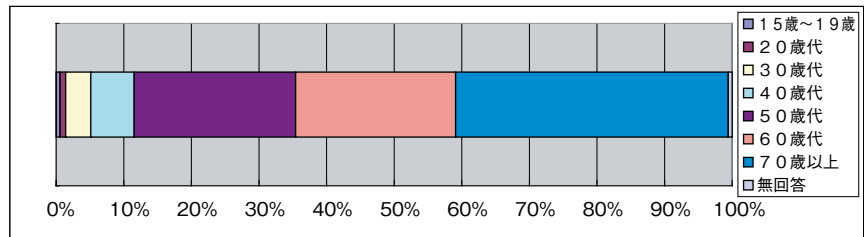
A-1 あなたの性別は

	構成比	回答数
男性	51.0%	438
女性	47.6%	408
無回答	1.4%	12
計	100.0%	858



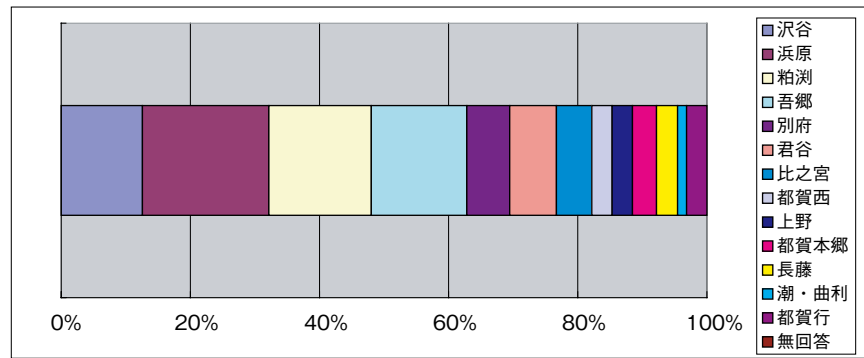
A-2 あなたの年齢は

	構成比	回答数
15歳～19歳	0.6%	5
20歳代	0.8%	7
30歳代	3.7%	32
40歳代	6.4%	55
50歳代	23.9%	205
60歳代	23.7%	203
70歳以上	40.3%	346
無回答	0.6%	5
計	100.0%	858



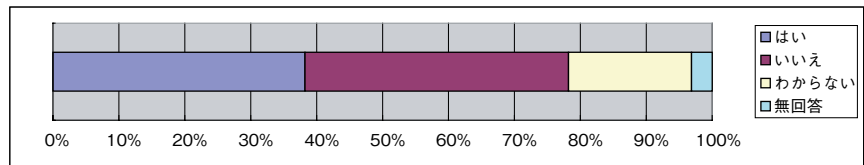
A-3 あなたがすんでいる地区は（連合自治会単位）

	構成比	回答数
沢谷	12.6%	108
浜原	19.6%	168
粕淵	15.9%	136
吾郷	14.8%	127
別府	6.6%	57
君谷	7.2%	62
比之宮	5.5%	47
都賀西	3.1%	27
上野	3.1%	27
都賀本郷	3.7%	32
長藤	3.3%	28
潮・曲利	1.4%	12
都賀行	3.1%	27
無回答	0.0%	0
計	100.0%	858



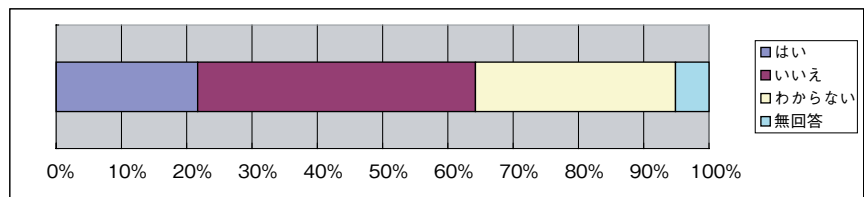
B-1 あなたの地域は、防犯上の視点から夜間も安心して出歩くことができますか。

	構成比	回答数
はい	38.2%	328
いいえ	40.0%	343
わからない	18.6%	160
無回答	3.1%	27
計	100.0%	858



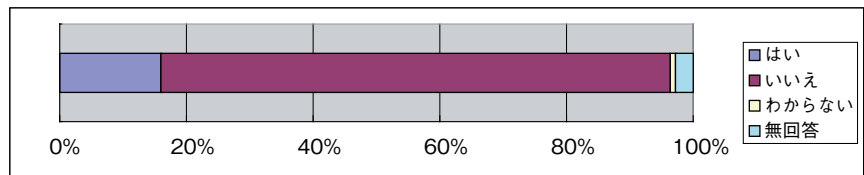
B-2 最近凶悪な犯罪が起きています。あなたの地域では、子どもの安全を守るための運動や取り組みがありますか。

	構成比	回答数
はい	21.7%	186
いいえ	42.5%	365
わからない	30.7%	263
無回答	5.1%	44
計	100.0%	858



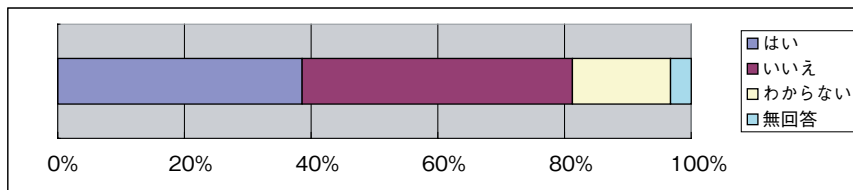
B-3 あなたの家庭では、自然災害に対して非常持ち出し袋等の備えをしていますか。

	構成比	回答数
はい	16.0%	137
いいえ	80.4%	690
わからない	0.8%	7
無回答	2.8%	24
計	100.0%	858



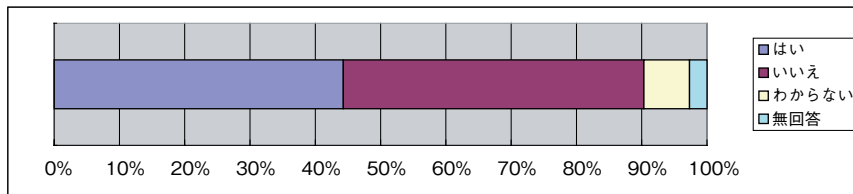
B-4 あなたは、災害時のマニュアル等による避難先や対処方法を知っていますか。

	構成比	回答数
はい	38.6%	331
いいえ	42.7%	366
わからない	15.5%	133
無回答	3.3%	28
計	100.0%	858



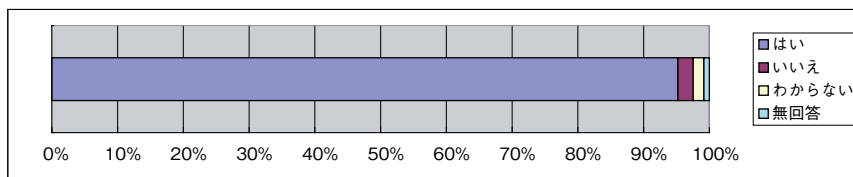
B-5 あなたの周りの生活道路は十分整備されていると思いますか。

	構成比	回答数
はい	44.3%	380
いいえ	46.0%	395
わからない	7.0%	60
無回答	2.7%	23
計	100.0%	858



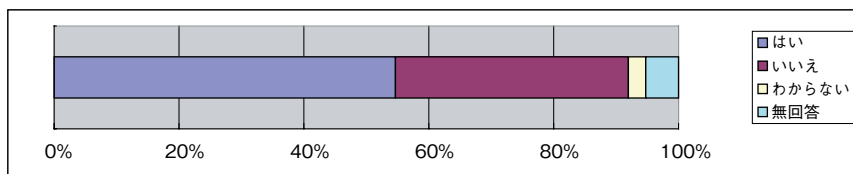
B-6 あなたは、日頃からゴミの減量や分別に気を使っていますか。

	構成比	回答数
はい	95.2%	817
いいえ	2.3%	20
わからない	1.6%	14
無回答	0.8%	7
計	100.0%	858



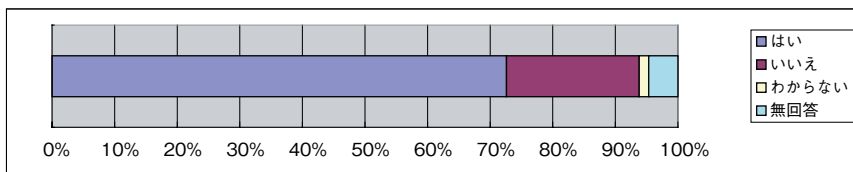
B-7 あなたの世帯では、公共下水道・集落排水・浄化槽などによる汚水処理をしていますか。

	構成比	回答数
はい	54.7%	469
いいえ	37.3%	320
わからない	2.8%	24
無回答	5.2%	45
計	100.0%	858



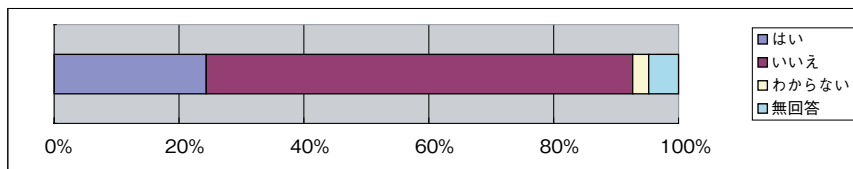
B-8 あなたは、この1年間に何らかの環境美化活動に参加したことがありますか。

	構成比	回答数
はい	72.6%	623
いいえ	21.2%	182
わからない	1.5%	13
無回答	4.7%	40
計	100.0%	858



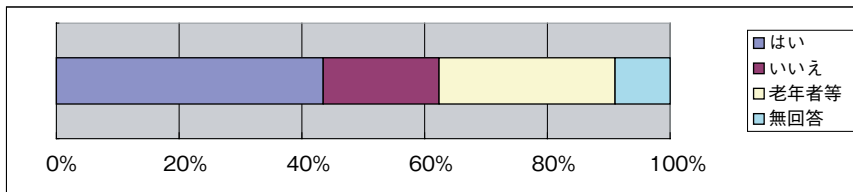
B-9 あなた、もしくはあなたの家族を含め、インターネットを利用していますか。

	構成比	回答数
はい	24.4%	209
いいえ	68.3%	586
わからない	2.6%	22
無回答	4.8%	41
計	100.0%	858



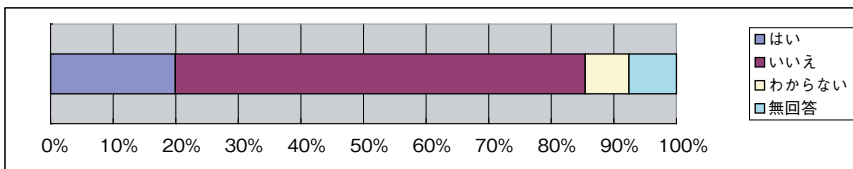
C-1 あなたは、美郷町内で働いていますか。もしくは町内で働きたいと思いませんか。

	構成比	回答数
はい	43.5%	373
いいえ	18.9%	162
老年者等	28.7%	246
無回答	9.0%	77
計	100.0%	858



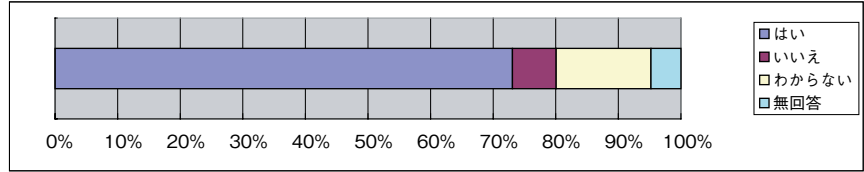
C-2 あなたは、専業で農業をしていますか。もしくは農業を専業でやってみようと思いませんか。

	構成比	回答数
はい	19.9%	171
いいえ	65.5%	562
わからない	7.0%	60
無回答	7.6%	65
計	100.0%	858



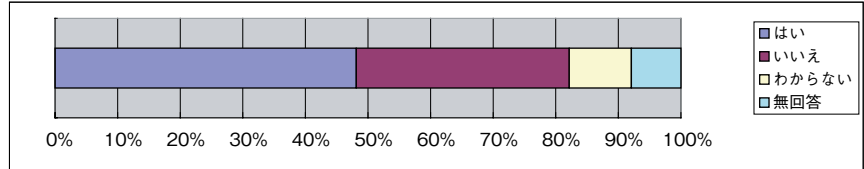
C-3 あなたは、将来にわたって美郷町に住み続けたいと思いますか。

	構成比	回答数
はい	73.1%	627
いいえ	7.0%	60
わからない	15.2%	130
無回答	4.8%	41
計	100.0%	858



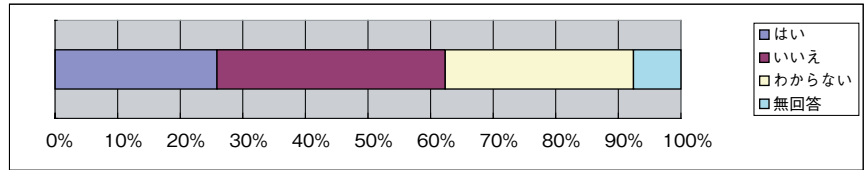
C-4 あなたは、野菜を買うとき、町内で生産された野菜を優先的に購入していますか。

	構成比	回答数
はい	48.1%	413
いいえ	34.0%	292
わからない	9.9%	85
無回答	7.9%	68
計	100.0%	858



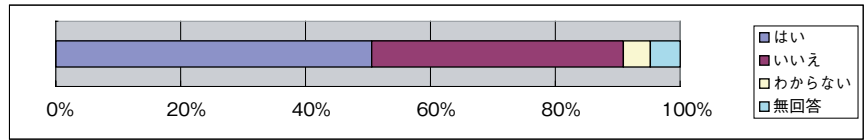
C-5 あなたは、地元商店街または、近くの商店等が魅力づくりのため頑張っていると思いますか。

	構成比	回答数
はい	25.9%	222
いいえ	36.5%	313
わからない	30.1%	258
無回答	7.6%	65
計	100.0%	858



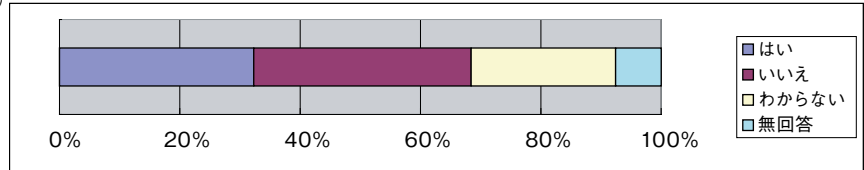
C-6 あなたは日常生活に必要な物を、美郷町内で購入していますか。

	構成比	回答数
はい	50.6%	434
いいえ	40.3%	346
わからない	4.3%	37
無回答	4.8%	41
計	100.0%	858



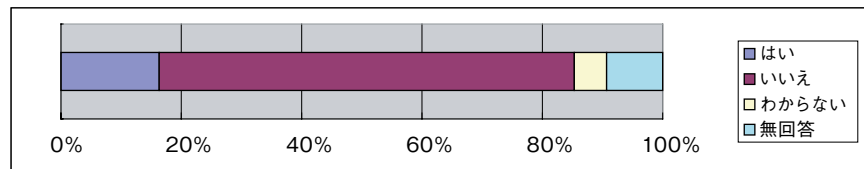
C-7 あなたは、田舎ツーリズム(グリーンツーリズム)を知っていますか。

	構成比	回答数
はい	32.3%	277
いいえ	36.1%	310
わからない	24.0%	206
無回答	7.6%	65
計	100.0%	858



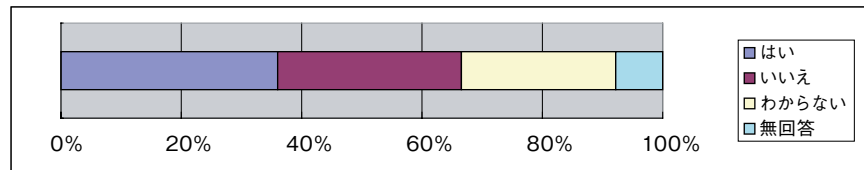
D-1 あなたは、自己研鑽のため、計画的に学習活動を行っていますか。

	構成比	回答数
はい	16.3%	140
いいえ	69.0%	592
わからない	5.4%	46
無回答	9.3%	80
計	100.0%	858



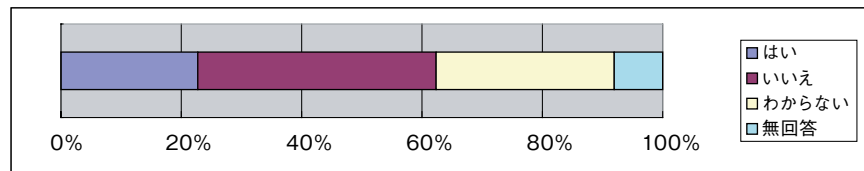
D-2 人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみ主張して他人の迷惑を考えない人が増えてきたという意見について、あなたは賛成ですか。

	構成比	回答数
はい	36.0%	309
いいえ	30.5%	262
わからない	25.6%	220
無回答	7.8%	67
計	100.0%	858



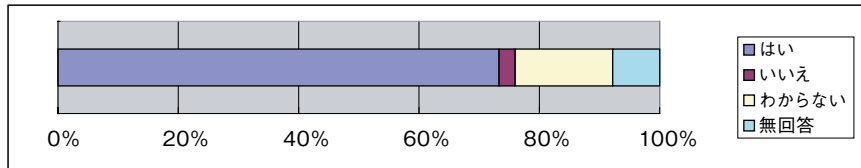
D-3 あなたは、男女の権利が互いに等しく認められていると思いますか。

	構成比	回答数
はい	22.7%	195
いいえ	39.6%	340
わからない	29.6%	254
無回答	8.0%	69
計	100.0%	858



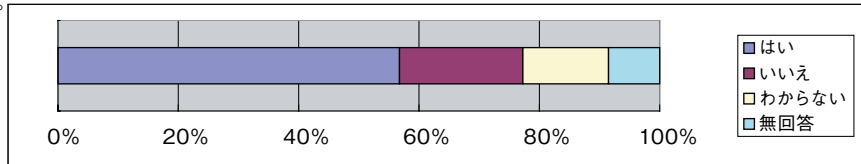
D-4 あなたは、学校での総合学習の時間を、使うさと教育を行うことはよいことだと思いますか。

	構成比	回答数
はい	73.3%	629
いいえ	2.7%	23
わからない	16.2%	139
無回答	7.8%	67
計	100.0%	858



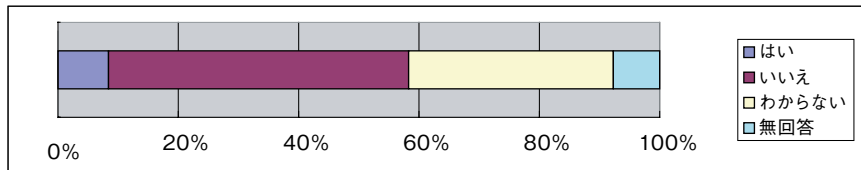
D-5 あなたは、「食育」という言葉を知っていますか。

	構成比	回答数
はい	56.8%	487
いいえ	20.5%	176
わからない	14.2%	122
無回答	8.5%	73
計	100.0%	858



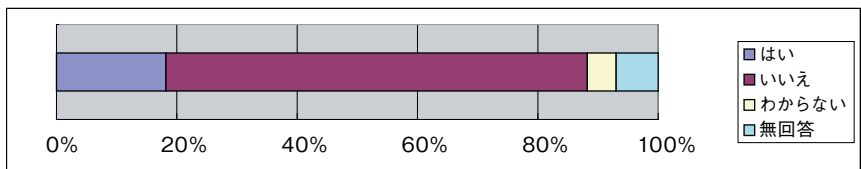
D-6 子育ては、家族や地域の連携・三世代のふれあい大切だと言われていますが、あなたの地域ではそのような運動または取り決めがありますか。

	構成比	回答数
はい	8.4%	72
いいえ	49.9%	428
わからない	34.0%	292
無回答	7.7%	66
計	100.0%	858



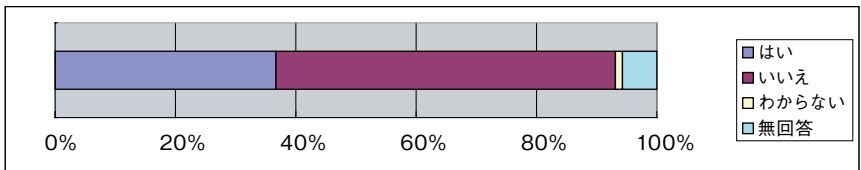
D-7 あなたは、日頃から自ら進んで文化・芸術活動(伝統芸能を含む)に参加していますか。

	構成比	回答数
はい	18.2%	156
いいえ	70.0%	601
わからない	4.8%	41
無回答	7.0%	60
計	100.0%	858



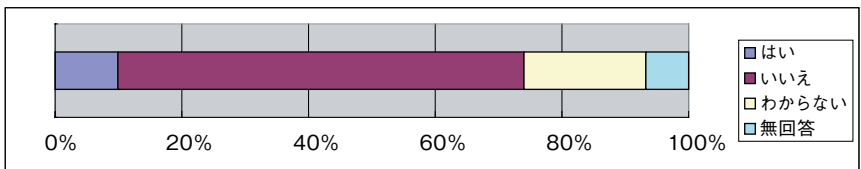
D-8 あなたは、日頃から何か運動をしていますか。

	構成比	回答数
はい	36.7%	315
いいえ	56.4%	484
わからない	1.2%	10
無回答	5.7%	49
計	100.0%	858



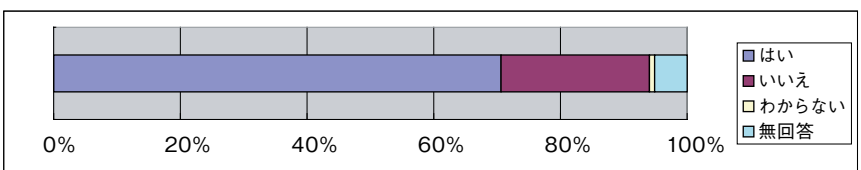
D-9 あなたは、国際交流という立場で、ホームステイなど外国人の宿泊を積極的に受け入れる気持ちがありますか。

	構成比	回答数
はい	9.9%	85
いいえ	64.1%	550
わからない	19.2%	165
無回答	6.8%	58
計	100.0%	858



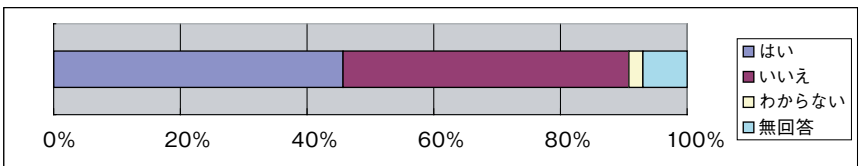
E-1 あなたは、毎年、町・事業所等が行う健診または人間ドックを受けていますか。

	構成比	回答数
はい	70.6%	606
いいえ	23.4%	201
わからない	0.8%	7
無回答	5.1%	44
計	100.0%	858



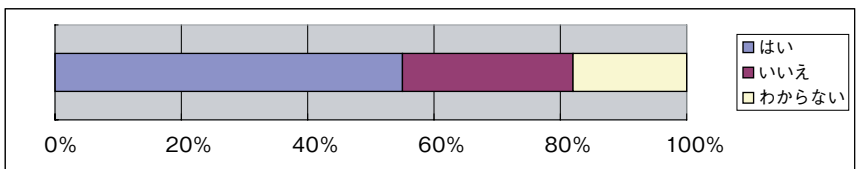
E-2 あなたは、日頃から健康維持のために何かに取り組んでいますか。

	構成比	回答数
はい	45.7%	392
いいえ	45.1%	387
わからない	2.2%	19
無回答	7.0%	60
計	100.0%	858



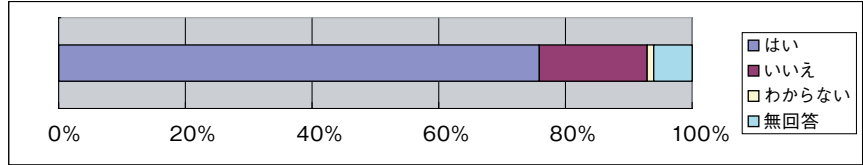
E-3 ※乳幼児・児童をお持ちの方のみお答えください。あなたは、子育てについて不安を持ったことがありますか。

	構成比	回答数
はい	55.0%	55
いいえ	27.0%	27
わからない	18.0%	18
計	100.0%	100



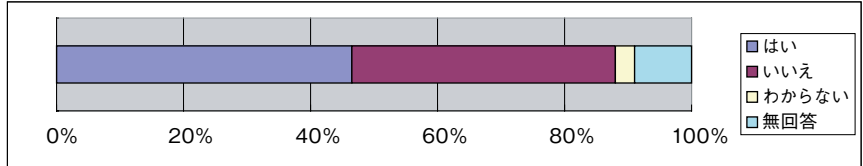
E-4 あなたは、かかりつけ医がいますか。

	構成比	回答数
はい	75.9%	651
いいえ	17.0%	146
わからない	1.0%	9
無回答	6.1%	52
計	100.0%	858



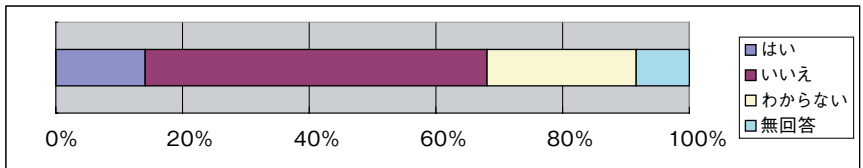
E-5 あなたは、これまでに家族の介護も含め、福祉活動に関わったことがありますか。

	構成比	回答数
はい	46.5%	399
いいえ	41.5%	356
わからない	3.0%	26
無回答	9.0%	77
計	100.0%	858



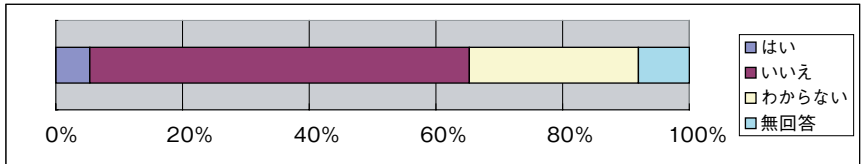
E-6 あなたが住んでいる地域は、高齢者にとって、暮らしやすい環境が整っていると思いますか。

	構成比	回答数
はい	14.1%	121
いいえ	54.0%	463
わからない	23.5%	202
無回答	8.4%	72
計	100.0%	858



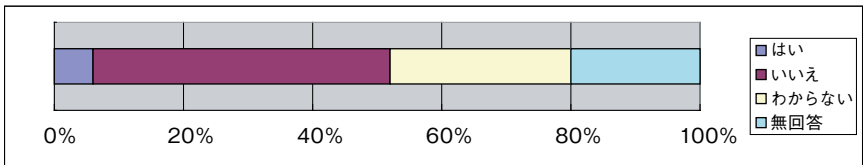
E-7 あなたが住んでいる地域は、障害者にとって、暮らしやすい環境が整っていると思いますか。

	構成比	回答数
はい	5.4%	46
いいえ	59.9%	514
わからない	26.7%	229
無回答	8.0%	69
計	100.0%	858



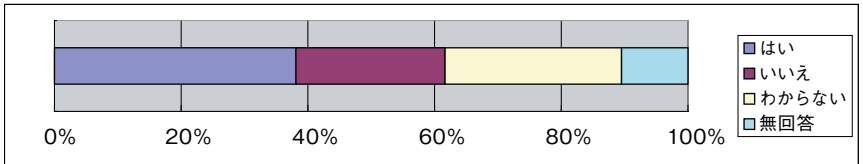
E-8 ※乳幼児・児童をお持ちの方のみお答えください。あなたは、保育料が安いと思いますか。

	構成比	回答数
はい	6.0%	6
いいえ	46.0%	46
わからない	28.0%	28
無回答	20.0%	20
計	100.0%	100



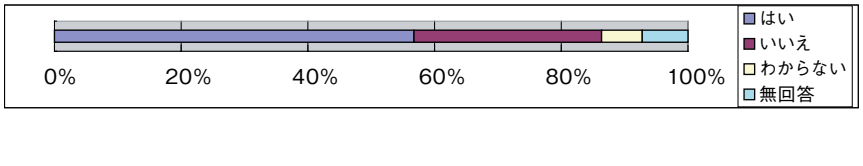
F-1 あなたは、自分の住んでいる地域に誇りを感じますか。

	構成比	回答数
はい	38.1%	327
いいえ	23.5%	202
わからない	27.9%	239
無回答	10.5%	90
計	100.0%	858



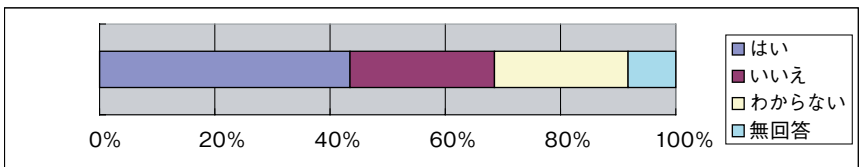
F-2 あなたは、地域の行事や活動に積極的に参加していますか。

	構成比	回答数
はい	56.8%	487
いいえ	29.6%	254
わからない	6.4%	55
無回答	7.2%	62
計	100.0%	858



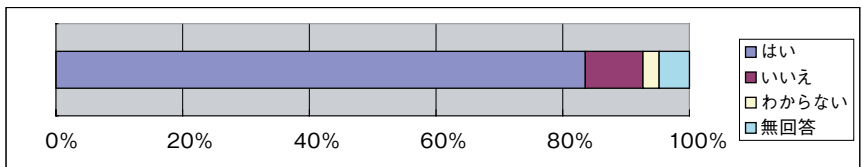
F-3 住民の手による地域づくりの活動や、ボランティア、NPOに参加する住民が増えています。あなたは、こうした取り組みに参加している。もしくは参加したいと思いますか。

	構成比	回答数
はい	43.5%	373
いいえ	25.1%	215
わからない	23.2%	199
無回答	8.3%	71
計	100.0%	858



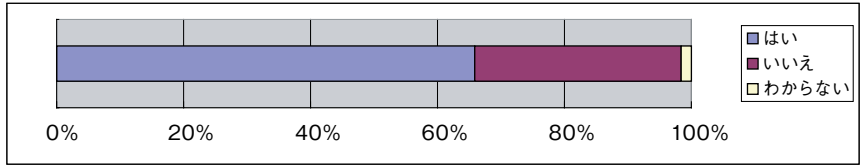
F-4 あなたは、毎月町が発行する広報誌を、関心を持って読んでいますか。

	構成比	回答数
はい	83.6%	717
いいえ	9.1%	78
わからない	2.6%	22
無回答	4.8%	41
計	100.0%	858



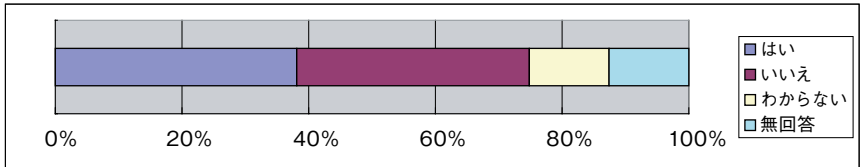
F-5 ※沢谷・君谷・比之宮・都賀行地区のかたのみお答えください。あなたは交流センターを利用したことがありますか。

	構成比	回答数
はい	65.9%	164
いいえ	32.5%	81
わからない	1.6%	4
計	100.0%	249



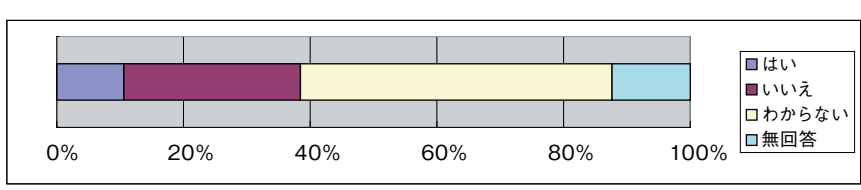
F-6 あなたは役場職員の地域担当制を知っていますか。

	構成比	回答数
はい	38.1%	327
いいえ	36.7%	315
わからない	12.6%	108
無回答	12.6%	108
計	100.0%	858



F-7 役場では、行財政改革に取り組んでいますが、職員の意識改革が進んでいると感じますか。

	構成比	回答数
はい	10.6%	91
いいえ	27.9%	239
わからない	49.2%	422
無回答	12.4%	106
計	100.0%	858



「美郷町のまちづくりのための中学生アンケート」

中学校別クロス集計表

あなたの性別は

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性	46	50.0%	27	47.4%	19	54.3%	0	
女性	46	50.0%	30	52.6%	16	45.7%	0	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	

回答者数 (合計-無回答)

92 57 35 0

あなたは、美郷町のどんなところが好きですか。

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
新鮮でおいしい食べ物	8	8.7%	4	7.0%	4	11.4%	0	
観光資源	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
人情味あふれる地域性	5	5.4%	2	3.5%	3	8.6%	0	
豊かな自然環境	45	48.9%	27	47.4%	18	51.4%	0	
四季・気候	5	5.4%	2	3.5%	3	8.6%	0	
住みやすい住環境	5	5.4%	2	3.5%	3	8.6%	0	
伝統芸能・工芸	5	5.4%	2	3.5%	3	8.6%	0	
街並みや景観(史跡・旧跡含む)	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
スポーツ施設	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
特に好きなどころはない	15	16.3%	14	24.6%	1	2.9%	0	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
無回答	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	

回答者数 (合計-無回答)

91 56 35 0

あなたは、これからも美郷町に住み続けたいと思いますか。

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
住み続けたい	27	29.3%	12	21.1%	15	42.9%	0	
住み続けたくない	9	9.8%	6	10.5%	3	8.6%	0	
どちらとも言えない	56	60.9%	39	68.4%	17	48.6%	0	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	

回答者数 (合計-無回答)

92 57 35 0

あなたは、美郷町に何が栄えてほしいですか。(2つまで)

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
農業・林業など	12	8.1%	9	9.6%	3	5.6%	0	
従来からの商工業	7	4.7%	4	4.3%	3	5.6%	0	
コンピュータ産業	17	11.5%	13	13.8%	4	7.4%	0	
医療産業(バイオテクノロジー含む)	7	4.7%	5	5.3%	2	3.7%	0	
観光・レジャー産業	32	21.6%	18	19.1%	14	25.9%	0	
介護・福祉産業	5	3.4%	3	3.2%	2	3.7%	0	
教育・研究開発産業	2	1.4%	1	1.1%	1	1.9%	0	
自然を保護する産業(リサイクルなど)	19	12.8%	15	16.0%	4	7.4%	0	
伝統芸能・工芸	17	11.5%	7	7.4%	10	18.5%	0	
世界的なイベント	27	18.2%	18	19.1%	9	16.7%	0	
その他	1	0.7%	0	0.0%	1	1.9%	0	
無回答	2	1.4%	1	1.1%	1	1.9%	0	
合計	148	100.0%	94	100.0%	54	100.0%	0	

回答者数 (合計-無回答)

146 93 53 0

美郷町の中で、他の市町村に自慢できると思う場所、または将来大切に残していかなければならないものは何だと思いますか。(自由意見)

あなたは学校の授業以外でボランティア活動に参加したことがありますか。

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ある	60	65.2%	32	56.1%	28	80.0%	0	
ない	31	33.7%	25	43.9%	6	17.1%	0	
無回答	1	1.1%	0	0.0%	1	2.9%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	

回答者数 (合計-無回答)

91

57

34

0

あなたは、どんなボランティア活動なら参加したいと思いますか。

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
環境美化行動	48	52.2%	26	45.6%	22	62.9%	0	
介護福祉活動	5	5.4%	4	7.0%	1	2.9%	0	
各種募金活動	11	12.0%	7	12.3%	4	11.4%	0	
各種イベント開催時のスタッフ	22	23.9%	15	26.3%	7	20.0%	0	
その他	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
無回答	4	4.3%	3	5.3%	1	2.9%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	

回答者数 (合計-無回答)

88

54

34

0

進学や就職で町外や県外に出て行く若い人がたくさんいますが、あなたは、若い人たちが美郷町に住み続けるためには、何が必要だと思いますか。(3つまで)

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
若者が働きたくなる職場があること	68	25.8%	41	25.0%	27	27.0%	0	
高校・大学・専門学校などの進学できる学校があること	38	14.4%	24	14.6%	14	14.0%	0	
美術館や文化に親しめる施設が充実していること	2	0.8%	2	1.2%	0	0.0%	0	
趣味などを楽しむ場所やスポーツに親しめる施設が充実していること	25	9.5%	15	9.1%	10	10.0%	0	
遊びや食事、買い物が便利にできる魅力有る場所があること	63	23.9%	36	22.0%	27	27.0%	0	
道路や交通機関が整備され、都会との交通の便がよいこと	14	5.3%	10	6.1%	4	4.0%	0	
犯罪がなく、災害への備えがしっかりしていて、安心して暮らすことができること	14	5.3%	9	5.5%	5	5.0%	0	
病院や保育所・福祉施設があって、安心して暮らすことができること	6	2.3%	5	3.0%	1	1.0%	0	
きれいな川や美しい山など自然が豊であること	8	3.0%	5	3.0%	3	3.0%	0	
高速インターネットや携帯電話などの通信回線が全世帯まで整備されていること	24	9.1%	15	9.1%	9	9.0%	0	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
無回答	2	0.8%	2	1.2%	0	0.0%	0	
合計	264	100.0%	164	100.0%	100	100.0%	0	

回答者数 (合計-無回答)

262

162

100

0

【生活満足度】…道路・歩道などの交通の便利さ

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	12	13.0%	7	12.3%	5	14.3%	0	
やや満足している	22	23.9%	15	26.3%	7	20.0%	0	
どちらとも言えない	36	39.1%	21	36.8%	15	42.9%	0	
やや不満である	11	12.0%	8	14.0%	3	8.6%	0	
不満である	4	4.3%	2	3.5%	2	5.7%	0	
わからない	6	6.5%	3	5.3%	3	8.6%	0	
無回答	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	91		56		35		0	

【生活満足度】…列車・バス・道路などの交通の便利さ

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	6	6.5%	2	3.5%	4	11.4%	0	
やや満足している	17	18.5%	11	19.3%	6	17.1%	0	
どちらとも言えない	16	17.4%	10	17.5%	6	17.1%	0	
やや不満である	30	32.6%	20	35.1%	10	28.6%	0	
不満である	18	19.6%	9	15.8%	9	25.7%	0	
わからない	4	4.3%	4	7.0%	0	0.0%	0	
無回答	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	91		56		35		0	

【生活満足度】…通学の便利さ

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	12	13.0%	4	7.0%	8	22.9%	0	
やや満足している	20	21.7%	10	17.5%	10	28.6%	0	
どちらとも言えない	34	37.0%	22	38.6%	12	34.3%	0	
やや不満である	11	12.0%	9	15.8%	2	5.7%	0	
不満である	13	14.1%	10	17.5%	3	8.6%	0	
わからない	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
無回答	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	91		56		35		0	

【生活満足度】…インターネットへの接続環境

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	10	10.9%	6	10.5%	4	11.4%	0	
やや満足している	12	13.0%	8	14.0%	4	11.4%	0	
どちらとも言えない	28	30.4%	20	35.1%	8	22.9%	0	
やや不満である	19	20.7%	9	15.8%	10	28.6%	0	
不満である	13	14.1%	9	15.8%	4	11.4%	0	
わからない	8	8.7%	3	5.3%	5	14.3%	0	
無回答	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	90		55		35		0	

【生活満足度】…日常の買い物などの便利さ

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	3	3.3%	1	1.8%	2	5.7%	0	
やや満足している	9	9.8%	9	15.8%	0	0.0%	0	
どちらとも言えない	18	19.6%	13	22.8%	5	14.3%	0	
やや不満である	26	28.3%	15	26.3%	11	31.4%	0	
不満である	34	37.0%	18	31.6%	16	45.7%	0	
わからない	1	1.1%	0	0.0%	1	2.9%	0	
無回答	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	91		56		35		0	

【生活満足度】…学校給食での地元農産物等の使用量

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	26	28.3%	13	22.8%	13	37.1%	0	
やや満足している	22	23.9%	11	19.3%	11	31.4%	0	
どちらとも言えない	32	34.8%	24	42.1%	8	22.9%	0	
やや不満である	1	1.1%	0	0.0%	1	2.9%	0	
不満である	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
わからない	4	4.3%	3	5.3%	1	2.9%	0	
無回答	4	4.3%	4	7.0%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	88		53		35		0	

【生活満足度】…街並みの美しさ

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	22	23.9%	10	17.5%	12	34.3%	0	
やや満足している	23	25.0%	12	21.1%	11	31.4%	0	
どちらとも言えない	33	35.9%	26	45.6%	7	20.0%	0	
やや不満である	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
不満である	5	5.4%	3	5.3%	2	5.7%	0	
わからない	4	4.3%	3	5.3%	1	2.9%	0	
無回答	2	2.2%	1	1.8%	1	2.9%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	90		56		34		0	

【生活満足度】…水辺や森などの自然環境とのふれあい

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	25	27.2%	11	19.3%	14	40.0%	0	
やや満足している	25	27.2%	15	26.3%	10	28.6%	0	
どちらとも言えない	30	32.6%	23	40.4%	7	20.0%	0	
やや不満である	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
不満である	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
わからない	5	5.4%	2	3.5%	3	8.6%	0	
無回答	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	90		55		35		0	

【生活満足度】…公園や広場などの遊び場の数や内容

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
やや満足している	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
どちらとも言えない	34	37.0%	20	35.1%	14	40.0%	0	
やや不満である	26	28.3%	19	33.3%	7	20.0%	0	
不満である	21	22.8%	11	19.3%	10	28.6%	0	
わからない	3	3.3%	1	1.8%	2	5.7%	0	
無回答	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	90		55		35		0	

【生活満足度】…レジャー・娯楽施設の数や内容

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	2	2.2%	1	1.8%	1	2.9%	0	
やや満足している	8	8.7%	5	8.8%	3	8.6%	0	
どちらとも言えない	34	37.0%	22	38.6%	12	34.3%	0	
やや不満である	20	21.7%	13	22.8%	7	20.0%	0	
不満である	19	20.7%	10	17.5%	9	25.7%	0	
わからない	8	8.7%	5	8.8%	3	8.6%	0	
無回答	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	91		56		35		0	

【生活満足度】…学校以外でスポーツを楽しむ機会

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	4	4.3%	1	1.8%	3	8.6%	0	
やや満足している	9	9.8%	8	14.0%	1	2.9%	0	
どちらとも言えない	34	37.0%	24	42.1%	10	28.6%	0	
やや不満である	20	21.7%	10	17.5%	10	28.6%	0	
不満である	18	19.6%	9	15.8%	9	25.7%	0	
わからない	5	5.4%	3	5.3%	2	5.7%	0	
無回答	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	90		55		35		0	

【生活満足度】…伝統芸能・祭りなどの地域文化

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	24	26.1%	13	22.8%	11	31.4%	0	
やや満足している	25	27.2%	16	28.1%	9	25.7%	0	
どちらとも言えない	29	31.5%	19	33.3%	10	28.6%	0	
やや不満である	7	7.6%	5	8.8%	2	5.7%	0	
不満である	3	3.3%	1	1.8%	2	5.7%	0	
わからない	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
無回答	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	91		56		35		0	

【生活満足度】…病院・診療所などの医療サービス

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	10	10.9%	8	14.0%	2	5.7%	0	
やや満足している	14	15.2%	9	15.8%	5	14.3%	0	
どちらとも言えない	31	33.7%	20	35.1%	11	31.4%	0	
やや不満である	16	17.4%	8	14.0%	8	22.9%	0	
不満である	10	10.9%	6	10.5%	4	11.4%	0	
わからない	9	9.8%	4	7.0%	5	14.3%	0	
無回答	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	90		55		35		0	

【生活満足度】…高齢者や障害者への福祉サービス

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	17	18.5%	11	19.3%	6	17.1%	0	
やや満足している	22	23.9%	11	19.3%	11	31.4%	0	
どちらとも言えない	27	29.3%	22	38.6%	5	14.3%	0	
やや不満である	10	10.9%	6	10.5%	4	11.4%	0	
不満である	3	3.3%	1	1.8%	2	5.7%	0	
わからない	11	12.0%	4	7.0%	7	20.0%	0	
無回答	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	90		55		35		0	

【まちづくりの重要度】…道路・歩道などの交通の便利さ

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても重要である	32	34.8%	18	31.6%	14	40.0%	0	
やや重要である	29	31.5%	18	31.6%	11	31.4%	0	
どちらとも言えない	20	21.7%	17	29.8%	3	8.6%	0	
あまり重要ではない	3	3.3%	0	0.0%	3	8.6%	0	
重要ではない	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
わからない	4	4.3%	1	1.8%	3	8.6%	0	
無回答	2	2.2%	1	1.8%	1	2.9%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	90		56		34		0	

【まちづくりの重要度】…列車・バス・道路などの交通の便利さ

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても重要である	35	38.0%	17	29.8%	18	51.4%	0	
やや重要である	34	37.0%	25	43.9%	9	25.7%	0	
どちらとも言えない	12	13.0%	8	14.0%	4	11.4%	0	
あまり重要ではない	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
重要ではない	2	2.2%	1	1.8%	1	2.9%	0	
わからない	4	4.3%	3	5.3%	1	2.9%	0	
無回答	3	3.3%	1	1.8%	2	5.7%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	89		56		33		0	

【まちづくりの重要度】…通学の便利さ

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても重要である	26	28.3%	13	22.8%	13	37.1%	0	
やや重要である	23	25.0%	18	31.6%	5	14.3%	0	
どちらとも言えない	33	35.9%	21	36.8%	12	34.3%	0	
あまり重要ではない	2	2.2%	1	1.8%	1	2.9%	0	
重要ではない	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
わからない	4	4.3%	1	1.8%	3	8.6%	0	
無回答	2	2.2%	1	1.8%	1	2.9%	0	
回答者数 (合計-無回答)	90		56		34		0	

【まちづくりの重要度】…インターネットへの接続環境

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても重要である	27	29.3%	15	26.3%	12	34.3%	0	
やや重要である	30	32.6%	19	33.3%	11	31.4%	0	
どちらとも言えない	23	25.0%	17	29.8%	6	17.1%	0	
あまり重要ではない	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
重要ではない	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
わからない	6	6.5%	2	3.5%	4	11.4%	0	
無回答	2	2.2%	1	1.8%	1	2.9%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	90		56		34		0	

【まちづくりの重要度】…日常の買い物などの便利さ

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても重要である	48	52.2%	24	42.1%	24	68.6%	0	
やや重要である	25	27.2%	20	35.1%	5	14.3%	0	
どちらとも言えない	11	12.0%	7	12.3%	4	11.4%	0	
あまり重要ではない	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
重要ではない	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
わからない	2	2.2%	1	1.8%	1	2.9%	0	
無回答	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	89		55		34		0	

【まちづくりの重要度】…学校給食での地元農産物等の使用量

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても重要である	19	20.7%	7	12.3%	12	34.3%	0	
やや重要である	26	28.3%	16	28.1%	10	28.6%	0	
どちらとも言えない	34	37.0%	26	45.6%	8	22.9%	0	
あまり重要ではない	5	5.4%	3	5.3%	2	5.7%	0	
重要ではない	3	3.3%	3	5.3%	0	0.0%	0	
わからない	2	2.2%	1	1.8%	1	2.9%	0	
無回答	3	3.3%	1	1.8%	2	5.7%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	89		56		33		0	

【まちづくりの重要度】…街並みの美しさ

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても重要である	37	40.2%	21	36.8%	16	45.7%	0	
やや重要である	31	33.7%	19	33.3%	12	34.3%	0	
どちらとも言えない	14	15.2%	9	15.8%	5	14.3%	0	
あまり重要ではない	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
重要ではない	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
わからない	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
無回答	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	89		55		34		0	

【まちづくりの重要度】…水辺や森などの自然環境とのふれあい

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても重要である	36	39.1%	19	33.3%	17	48.6%	0	
やや重要である	22	23.9%	15	26.3%	7	20.0%	0	
どちらとも言えない	24	26.1%	19	33.3%	5	14.3%	0	
あまり重要ではない	1	1.1%	0	0.0%	1	2.9%	0	
重要ではない	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
わからない	4	4.3%	1	1.8%	3	8.6%	0	
無回答	4	4.3%	2	3.5%	2	5.7%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	88		55		33		0	

【まちづくりの重要度】…公園や広場などの遊び場の数や内容

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても重要である	22	23.9%	13	22.8%	9	25.7%	0	
やや重要である	31	33.7%	18	31.6%	13	37.1%	0	
どちらとも言えない	28	30.4%	22	38.6%	6	17.1%	0	
あまり重要ではない	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
重要ではない	3	3.3%	1	1.8%	2	5.7%	0	
わからない	3	3.3%	0	0.0%	3	8.6%	0	
無回答	2	2.2%	1	1.8%	1	2.9%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	90		56		34		0	

【まちづくりの重要度】…レジャー・娯楽施設の数や内容

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても重要である	19	20.7%	8	14.0%	11	31.4%	0	
やや重要である	25	27.2%	15	26.3%	10	28.6%	0	
どちらとも言えない	28	30.4%	21	36.8%	7	20.0%	0	
あまり重要ではない	4	4.3%	2	3.5%	2	5.7%	0	
重要ではない	4	4.3%	3	5.3%	1	2.9%	0	
わからない	10	10.9%	7	12.3%	3	8.6%	0	
無回答	2	2.2%	1	1.8%	1	2.9%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	90		56		34		0	

【まちづくりの重要度】…学校以外でスポーツを楽しむ機会

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても重要である	24	26.1%	15	26.3%	9	25.7%	0	
やや重要である	25	27.2%	15	26.3%	10	28.6%	0	
どちらとも言えない	32	34.8%	22	38.6%	10	28.6%	0	
あまり重要ではない	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
重要ではない	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
わからない	5	5.4%	1	1.8%	4	11.4%	0	
無回答	2	2.2%	1	1.8%	1	2.9%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	90		56		34		0	

【まちづくりの重要度】…伝統芸能・祭りなどの地域文化

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても重要である	32	34.8%	14	24.6%	18	51.4%	0	
やや重要である	24	26.1%	15	26.3%	9	25.7%	0	
どちらとも言えない	24	26.1%	20	35.1%	4	11.4%	0	
あまり重要ではない	4	4.3%	3	5.3%	1	2.9%	0	
重要ではない	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
わからない	4	4.3%	2	3.5%	2	5.7%	0	
無回答	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	89		55		34		0	

【まちづくりの重要度】…病院・診療所などの医療サービス

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても重要である	45	48.9%	26	45.6%	19	54.3%	0	
やや重要である	25	27.2%	17	29.8%	8	22.9%	0	
どちらとも言えない	10	10.9%	7	12.3%	3	8.6%	0	
あまり重要ではない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
重要ではない	2	2.2%	2	3.5%	0	0.0%	0	
わからない	7	7.6%	3	5.3%	4	11.4%	0	
無回答	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	89		55		34		0	

【まちづくりの重要度】…高齢者や障害者への福祉サービス

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても重要である	46	50.0%	27	47.4%	19	54.3%	0	
やや重要である	23	25.0%	16	28.1%	7	20.0%	0	
どちらとも言えない	12	13.0%	9	15.8%	3	8.6%	0	
あまり重要ではない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
重要ではない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
わからない	8	8.7%	3	5.3%	5	14.3%	0	
無回答	3	3.3%	2	3.5%	1	2.9%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	89		55		34		0	

あなたは、役場がどのようなサービスや事業などの仕事をしているか関心がありますか。

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
とても関心がある	6	6.5%	2	3.5%	4	11.4%	0	
少しは関心がある	24	26.1%	16	28.1%	8	22.9%	0	
あまり関心がない	28	30.4%	19	33.3%	9	25.7%	0	
まったく関心がない	12	13.0%	9	15.8%	3	8.6%	0	
わからない	22	23.9%	11	19.3%	11	31.4%	0	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	92		57		35		0	

これからのまちづくりは、住民と行政（役場）が協力して進めていくことが必要になっています。あなたは、美郷町のまちづくりについて参加の機会があれば積極的に参加したいと思いますか。

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
参加したい	38	41.3%	28	49.1%	10	28.6%	0	
参加したくない	18	19.6%	9	15.8%	9	25.7%	0	
わからない	35	38.0%	19	33.3%	16	45.7%	0	
無回答	1	1.1%	1	1.8%	0	0.0%	0	
合計	92	100.0%	57	100.0%	35	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	91		56		35		0	

問12で「参加したい」とお答えの方にお聞きします。
どのような内容の活動に参加したいですか。（2つまで）

選択項目	総計		邑智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
自分の住んでいる身近な地域活動	15	12.1%	11	13.9%	4	8.9%	0	
まちの美化など、地域の環境をよくする活動	14	11.3%	8	10.1%	6	13.3%	0	
交通安全や防犯に関する活動	1	0.8%	1	1.3%	0	0.0%	0	
防災や災害救護に関する活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
地域でのスポーツ活動（指導や応援含む）	14	11.3%	10	12.7%	4	8.9%	0	
高齢者や障害者を支援する活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
文化・芸術に関する活動	7	5.6%	4	5.1%	3	6.7%	0	
文化財や街並み景観保存などの活動	2	1.6%	2	2.5%	0	0.0%	0	
外国の人たちとの交流活動	9	7.3%	8	10.1%	1	2.2%	0	
都市の子供たちとの交流活動	6	4.8%	5	6.3%	1	2.2%	0	
その他	2	1.6%	1	1.3%	1	2.2%	0	
わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
無回答	54	43.5%	29	36.7%	25	55.6%	0	
合計	124	100.0%	79	100.0%	45	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	70		50		20		0	

あなたは、中学生の声をまちづくりに活かしていくためにはどのようなことが大切だと思いますか。(2つまで)」の関係

選択項目	総計		呂智中学校		大和中学校		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
生徒会との意見交換の機会をつくる	23	19.7%	16	21.6%	7	16.3%	0	
まちづくりの計画づくりに中学生が意見を出す機会をつくる	12	10.3%	9	12.2%	3	7.0%	0	
中学生が議員となって町の問題を話し合う中学生議会など、意見を取り入れる機会を増やす	7	6.0%	4	5.4%	3	7.0%	0	
中学生アンケートを定期的に実施する	14	12.0%	9	12.2%	5	11.6%	0	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
わからない	8	6.8%	5	6.8%	3	7.0%	0	
無回答	53	45.3%	31	41.9%	22	51.2%	0	
合計	117	100.0%	74	100.0%	43	100.0%	0	
回答者数 (合計－無回答)	64		43		21		0	

美郷町町づくり委員会委員

No.	職	氏名	部会	所属団体等	
				団体名	役職
1		中岡 忠	産業	JA 島根おおち邑智支所	支所長
2		石田 靖		邑智郡森林組合邑南支所	支所長
3	部会長	品川喜代市		美郷町農業委員会	会長
4		伊藤 凱皓		美郷町商工会	副会長
5	副部会長	中原 忍		美郷町商工会	経営指導員
6	会長	門手 功汎		美郷町観光協会	会長代行
7		三宅 宏		久喜原農業振興会	久喜原農業振興会
8		西嶋 二郎		農事組合法人ひじきドリーム	代表理事組合長
9		澤田 明夫		住民公募	
10		藤原 修治		田舎暮らしコーディネーター	
11		吉田 義雄	地域環境	美郷町議会	議長
12		山田 史朗		邑智郡森林組合美郷支所	支所長
13		福嶋 睦夫		美郷町建設業協会	副会長
14		安田 玲子		美郷町連合婦人会	会長
15	部会長	大野 雅通		美郷町連合自治会長会	会長
16	職務代理	大利 邦雄		美郷町商工会	会長
17		藤田 司		新町建設計画 WS	ウッディ邑智
18	副部会長	竹下 敬二		新町建設計画 WS	竹下モータース
19		桐場 伸昭		フレンド比之宮	会長
20		菅原 実雄		住民公募	
21		尾原 裕子	福祉教育	美郷町教育委員会	教育委員
22		渡邊 文枝		美郷町消費者問題研究会	
23	部会長	福間 捷三		美郷町社会福祉協議会	会長
24		中原観之介		美郷町老人クラブ連合会	副会長
25		佐竹 一夫		美郷町体育協会	邑智町体育協会長
26	副部会長	布元 明子		美郷町文化団体	ろうそくの会代表
27		品川 光博		美郷町国際友好協会	会長
28		山根 芳子		子育て支援グループ	杉の子会
29		三浦 祥子		住民公募	
30		高橋 由美		住民公募	
※		香川 芳郎		美郷町議会	
※		福間 亮		美郷町農業委員会	
※		松嶋 辰巳		島根おおち農業協同組合	
※		尾田 一		美郷町建設業協会	
※		窪田サツエ		美郷町連合婦人会	

※印は、途中交代された委員

美郷町総合計画審議会委員

No.	役 職	氏 名	条例第2条第2項の区分		備 考
1	会 長	吉田 晃司	美郷町行財政改革 審議会会長	学 識 経 験 者	
2	職務代理者	林 榮毅	元邑智小学校長	学 識 経 験 者	
3	委 員	吉田 義雄	美郷町議会議長	議 会 議 員	
4		藤原 政人	美郷町教育委員会 委 員 長	教育委員会の委員	
5		品川喜代市	美郷町農業委員会会長	農業委員会の委員	
6		門手 功汎	美郷町観光協会会長	公共的団体の役職員	
7		福間 捷三	美郷町社会福祉協議会 会 長		
8		中原 泰	都賀郵便局長		
9		安田 玲子	美郷町連合婦人会長	学 識 経 験 者	
10	新田 信行	島根おおち農業 協同組合理事			

美郷町総合計画策定委員会委員

平成18年4月1日現在

No.	役職	職名	氏名	備考
1	委員長	助 役	吉 川 肇	
2	副委員長	教 育 長	田 邊 哲 也	
3	委 員	総 務 課 長	田 邊 積	平成18年3月31日まで 企画課長
4		財 務 課 長	樋 ヶ 司	
5		住 民 福 祉 課 長	山 田 康 司	平成18年3月31日まで 産業課長
6		健 康 推 進 課 長	中 原 信 登	平成18年3月31日まで 生涯学習課長
7		産 業 振 興 課 長	波 多 野 優	平成18年3月31日まで 出納室長
8		建 設 課 長	三 島 直 幸	
9		教 育 課 長	田 中 博 和	平成18年3月31日まで 福祉課長
10		大 和 事 務 所 長	三 上 博 通	平成18年3月31日まで 住民課長
11		議 会 事 務 局 長	漆 谷 武	
12		農 業 委 員 会 事 務 局 長	谷 口 安 夫	
		※総 務 課 長	土 居 哲 也	平成18年3月31日まで
		※健 康 推 進 課 長	福 島 教 次 郎	平成18年3月31日まで
		※大 和 事 務 所 長	大 林 康 成	平成18年3月31日まで
		※農 業 振 興 課 長	松 村 俊 彦	平成18年3月31日まで
		※環 境 整 備 課 長	波 多 野 康 博	平成18年3月31日まで
		※教 育 総 務 課 長	今 馳 眞 司	平成18年3月31日まで
13	事 務 局	企 画 課 長	勝 部 学	平成18年3月31日まで 行財政改革推進課長
14		企 画 課 長 補 佐	野 村 豊	
15		定 住 推 進 室 長	田 中 昭 典	
16		企 画 係 長	高 橋 武 司	
15		※情 報 政 策 室 長	岡 本 正 道	平成18年3月31日まで
16		※情 報 政 策 係 長	原 田 康 男	平成18年3月31日まで

※印は、中途退職者及び中途異動者

美郷町第1次長期総合計画策定経過

町づくり委員会

平成17年	2月24日	第1回町づくり委員会〔概要等の説明〕
	6月23日	第2回町づくり委員会〔中心課題の設定〕
	8月23日	第3回町づくり委員会〔検討テーマ部会協議〕
	10月11日	第4回町づくり委員会〔検討テーマ部会協議〕
	12月6日	第5回町づくり委員会〔検討テーマの提言まとめ〕
平成18年	2月8日	第6回町づくり委員会〔検討テーマ提言のまとめ〕
	5月10日	第7回町づくり委員会〔重点施策の検討〕
	6月15日	第8回町づくり委員会〔重点施策の検討〕
	7月13日	第9回町づくり委員会〔まちづくりフォーラムについて〕

このほか、産業部会・地域環境部会・福祉教育部会でそれぞれ部会協議を実施

地域コミュニティ会議

平成17年	9月30日	地域コミュニティ計画作成説明会
	10月1日	各連合自治会において計画立案作業の取り組み実施
	～	
平成18年	3月31日	地域コミュニティ計画立案

住民意見聞き取り

平成18年	3月	まちづくりアンケート〔全世帯を対象に実施〕
	6月	中学生アンケート〔2～3年生を対象に実施〕
	7月27日	まちづくりフォーラム〔主催：町づくり委員会〕

総合計画策定委員会

平成17年	6月23日	第1回策定委員会〔総合計画策定スケジュール等の確認〕
平成18年	2月27日	第2回策定委員会〔基本構想素案の検討〕
	6月27日	第3回策定委員会〔基本計画素案の検討〕
	8月4日	第4回策定委員会〔指標設定〕
	8月22日	第5回策定委員会〔総合計画案の検討〕

総合計画審議会

平成17年	12月6日	第1回審議会〔目的・役割・役員選任〕
平成18年	6月15日	総合計画案諮問
平成18年	7月4日	第2回審議会〔基本構想素案の検討〕
	8月4日	第3回審議会〔基本計画案・指標の検討〕
	8月22日	第4回審議会〔総合計画案の検討〕
	8月31日	総合計画案答申

議会

平成18年	9月14日	平成18年第3回定例会に議案上程
	9月22日	議案承認

業務（一部）委託

平成17年	5月20日	策定支援業務委託〔(株)シーズ総合政策研究所〕
平成18年	4月3日	策定支援業務委託〔(株)シーズ総合政策研究所〕

平成 18 年 8 月 31 日

美郷町長 沖野 健 様

美郷町総合計画審議会
会長 吉田 晃 司

美郷町第 1 次長期総合計画案について（答申）

平成 18 年 6 月 15 日付け美郷企第 123 号で諮問のあった美郷町第 1 次長期総合計画案について、当審議会でも慎重に審議を重ねた結果、別紙のとおり取りまとめましたので答申いたします。

なお、計画の推進にあたっては、当審議会の審議過程及び町づくり委員会・連合自治会・まちづくりアンケート・まちづくりフォーラムなどで提言された多くの住民の意見を尊重するとともに、特に次の事項に十分留意されることを望みます。

記

1. まちづくりの基本理念「水と緑 いきいき輝く 夢あふれる協働のまち」を実現するためには、まずトップの思いを具体的に示され、その主旨を全町民に周知徹底し、理解と賛同を得て、強力に推進されることが重要と考えます。
2. 計画の推進にあたっては、町民と行政の協働が必要であることは論を俟ちませんが、加えて庁内の各部門の連携も重要であることを認識され、一丸となった活動を推進されんことを要望いたします。
3. 町の再生をゆるぎのないものにするためには、全体の連帯感を昂揚させることが不可欠であります。全町民が、「私心を捨てて、公のために尽くす」という意識を持つことが、成功への近道と考えます。そのためには、行政のトップから末端までが、そのさきがけ（模範）となって切磋琢磨されんことを要望いたします。
4. 協働のまちづくりの要となる自治会組織は、未だ磐石とは言い難い状況であります。それぞれの地域の歴史と特色を基盤にした強力な自治会組織の確立に、行政が指導的役割を果たされることを要望いたします。
5. 町が再生し大きく発展するためには、優秀な人材を育成することが最重要課題と考えます。今は苦しくとも、将来必ず大成するために、教育行政において物心両面にわたる強力な施策を推進されますよう、強く進言いたします。
6. 何事も結果が重要であります。本計画を推進するにあたり、P.D.C.A を確実に回し、その進捗状況を広報やホームページで、常に公開されるよう要望いたします。

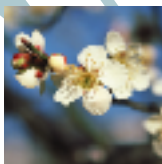
町章



町花／しゃくなげ



町木／梅



美のさと・美郷・協働プロジェクト

〒699-4692 島根県邑智郡美郷町粕淵168番地
TEL 0855-75-1211 FAX 0855-75-1218
<http://www.town.misato.shimane.jp>

印刷／(株)ぎょうせい 中国支社
広島市中区八丁堀2番6号
TEL:082(221)6711 FAX:082(223)7419

美郷町

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

